

千葉市基本計画

第1次実施計画(案)

令和5～7年度(2023～2025年度)

千葉市

目次

総論

1	第1次実施計画について.....	1
1.	計画の位置づけ.....	1
2.	計画期間.....	2
2	計画の枠組み.....	3
1.	人口の見通し.....	3
2.	財政の状況と計画事業費.....	5
3	計画の基本的な考え方.....	6
1.	策定の視点.....	6
2.	計画事業の選定.....	7
3.	まちづくりの総合8分野における政策体系.....	8
4	計画の推進にあたって.....	10

各論

1	環境・自然.....	14
2	安全・安心.....	36
3	健康・福祉.....	57
4	子ども・教育.....	80
5	地域社会.....	101
6	文化芸術・スポーツ.....	112
7	都市・交通.....	124
8	地域経済.....	160

参考資料

1.	用語解説.....	179
2.	索引.....	198

計 画 の 総 論

1. 第1次実施計画について
2. 計画の枠組み
3. 計画の基本的な考え方
4. 計画の推進にあたって

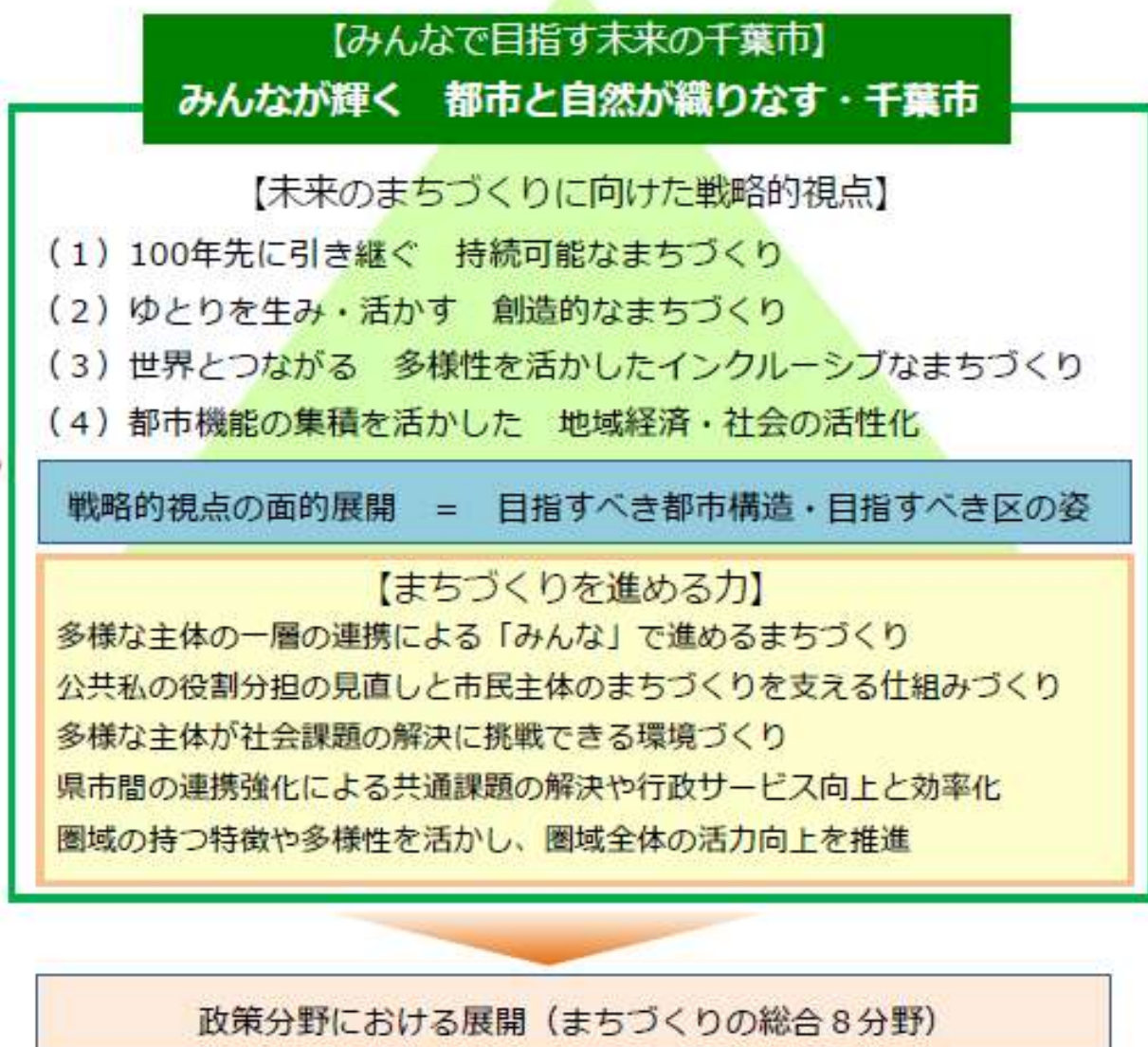
1. 計画の位置づけ

千葉市では、「千葉市基本構想」（平成11年〔1999年〕12月議決）で定める基本目標（人とまち いきいきと幸せに輝く都市）や望ましい都市の姿の実現を目指し、市政運営の中長期的な方針となる「千葉市基本計画（計画期間：令和5～14年度〔2023～2032年度〕）」を、市議会の議決を経て、令和4年（2022年）9月に策定しました。

このたびの第1次実施計画（計画期間：令和5～7年度〔2023～2025年度〕）は、基本計画に基づく最初の実施計画として、みんなで目指す未来の千葉市の姿である「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向け、千葉市ならではの特性を活かしつつ、新たな時代を切り拓く未来志向のまちづくりを進めるために、重点的に取り組む具体的な事業を明らかにする計画です。

本計画は、基本計画と地方創生の取組みとの一体的な推進を図るため、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を兼ねる計画として、総合的かつ戦略的なまちづくりを推進します。

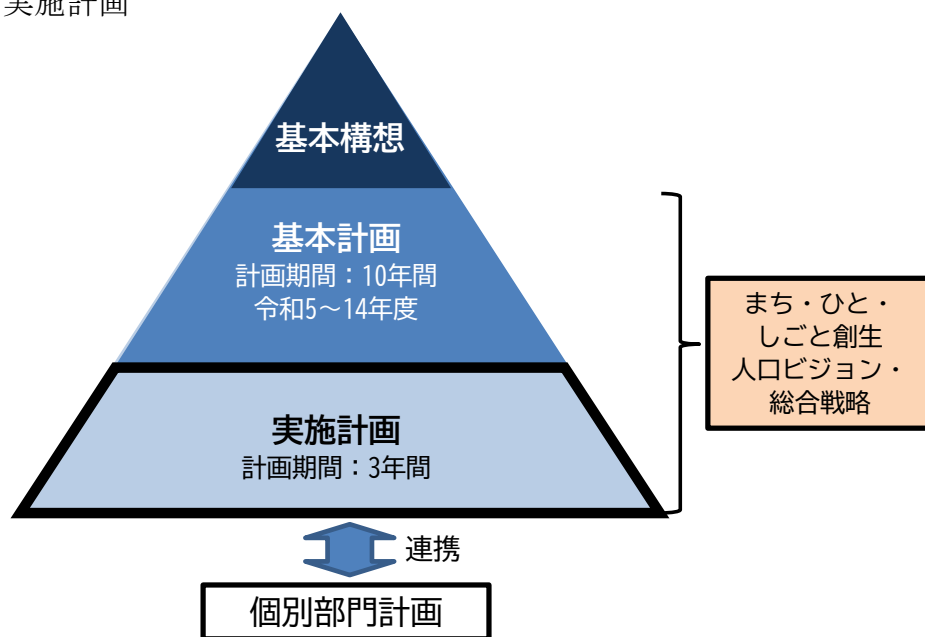
図表1 千葉市の基本計画におけるまちづくりの基本方針



図表2 千葉市の計画行政

総合計画

まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくための基本構想及びこれを具体化するための基本計画・実施計画



- **【基本構想】** 市政運営の指針として、変化の激しい時代であっても変わることのない恒久的な都市づくりの基本理念・基本目標及び望ましい都市の姿を示しています。
〔基本理念〕 人間尊重・市民生活優先
〔基本目標〕 人とまち いきいきと幸せに輝く都市
- **【基本計画】** 基本構想で定める基本目標等を実現するため、「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」や「まちづくりを進める力」などを示すまちづくりの基本方針や、今後の施策展開の方向性などを示すものです。
- **【実施計画】** 基本計画に示すまちづくりの方向性を実現するため、どのような事業に計画的に取り組んでいくかなど、新たに開始する事業や、今までより拡充する事業を中心に具体的に示すものです。
- ◆ **【まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略】** 目指すべき人口の将来展望とその達成に向けた取組みを示すものです。（2023年度から、総合計画と統合しました。）

個別部門計画

市政の特定課題等に対応するため各部局が策定する方針・計画
国土強靱化地域計画、中期財政運営方針、都市計画マスタープラン 等

2. 計画期間

令和5年度（2023年度）を初年度とし、7年度（2025年度）を最終年度とする3年間とします。

基本構想

恒久的な都市づくりの基本理念等を示す

基本計画

令和5～14年度（10年間）
（2023～2032年度）

実施計画

第1次実施計画
（令和5～7年度）
〔2023～2025年度〕

1. 人口の見通し

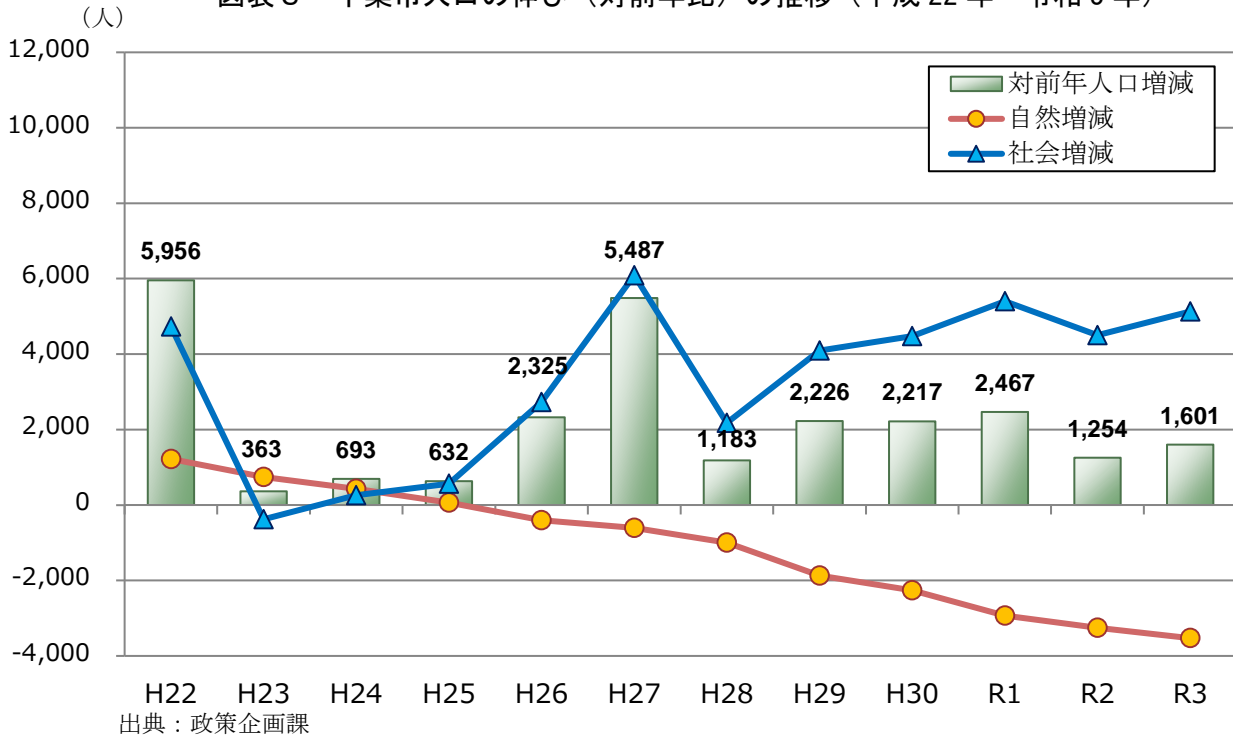
(1) 人口の推移

千葉市の総人口は、平成 22 年（2010 年）以降で見ると、短期的には東日本大震災を契機に増加ペースが大幅に抑えられたこともあり、令和 2 年（2020 年）以降では、概ね 1～2 千人程度のペースで増加しています。

出生数と死亡数の差である自然動態をみると、出生数は減少傾向にある一方、死亡数は高齢者人口の増により一貫して増加傾向にあることから、平成 26 年（2014 年）にはマイナスに転じ、その後もマイナス幅が広がっています。

転入数と転出数の差である社会動態をみると、東日本大震災の影響を受けた平成 23 年（2011 年）を除き、転入超過を維持しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和 2 年（2020 年）は、令和元年（2019 年）より転入超過数が減少しましたが、令和 3 年（2021 年）には東京都東部及び千葉県北西部からの転入増加の影響もあり、転入超過数が増加しました。

図表 3 千葉市人口の伸び（対前年比）の推移（平成 22 年～令和 3 年）



(2) 人口の見通し

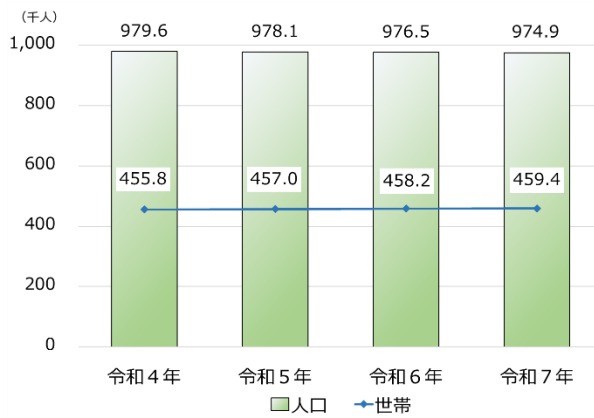
千葉市の総人口は、2020 年代前半をピークに減少に転ずる見通しです。

行政区別の人口は、中央区、緑区は増加となり、花見川区、稲毛区、若葉区、美浜区では逓減する見通しです。

また、年齢 3 区分別の人口は、令和 7 年度（2025 年度）までに 65 歳以上人口が約 2,200 人増加する見通しであり、高齢化が進行する見通しです。一方で、生産年齢人口である 15～64 歳は約 2,100 人、15 歳未満人口は約 4,800 人、それぞれ減少する見通しです。

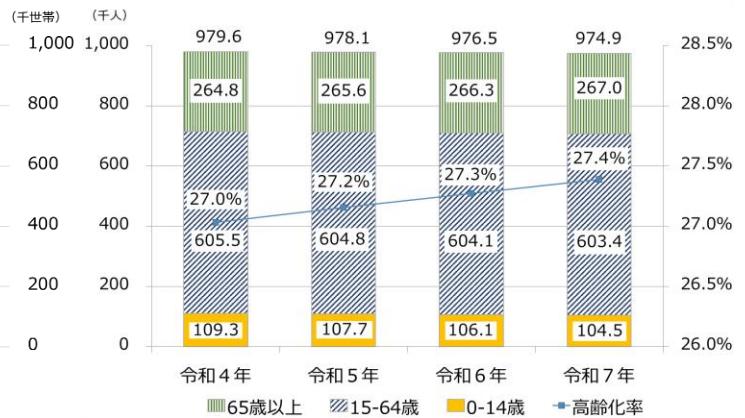
世帯数は、平均世帯人員の減少により、緩やかに増加する見通しです。

図表4 市の将来人口推計・世帯数



出典：政策企画課

図表5 年齢3区分別人口と高齢化率



出典：政策企画課

図表4 市の将来人口推計

(単位：人)

区分	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
令和4年	979,600	214,000	177,100	160,400	145,800	130,100	152,400
令和5年	978,100	214,700	176,300	160,000	144,600	130,100	152,300
令和6年	976,500	215,500	175,600	159,500	143,500	130,200	152,200
令和7年	974,900	216,300	174,900	159,100	142,400	130,200	152,100

図表5 年齢3区分別人口と高齢化率

(単位：人)

区分	15歳未満		15～64歳		65歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
令和4年	109,300	11.2%	605,500	61.8%	264,800	27.0%
令和5年	107,700	11.0%	604,800	61.8%	265,600	27.2%
令和6年	106,100	10.9%	604,100	61.9%	266,300	27.3%
令和7年	104,500	10.7%	603,400	61.9%	267,000	27.4%

図表6 世帯数及び平均世帯人員

(単位：人)

区分	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	
世帯数	令和4年	455,800	111,500	82,100	75,800	65,100	52,000	69,300
	令和5年	457,000	112,300	82,000	76,000	64,800	52,200	69,700
	令和6年	458,200	113,000	81,900	76,300	64,500	52,400	70,100
	令和7年	459,400	113,700	81,900	76,500	64,200	52,700	70,400
平均世帯人員	令和4年	2.15	1.92	2.16	2.12	2.24	2.50	2.20
	令和5年	2.14	1.91	2.15	2.11	2.23	2.49	2.19
	令和6年	2.13	1.91	2.14	2.09	2.22	2.48	2.17
	令和7年	2.12	1.90	2.14	2.08	2.22	2.47	2.16

2. 財政の状況と計画事業費

(1) 財政の状況

千葉市では、平成 21 年度（2009 年度）に「脱・財政危機」宣言を発出した後、財政健全化プラン（計画期間 第 1 期：平成 22～25 年度〔2010～2013 年度〕、第 2 期：平成 26～29 年度〔2014～2017 年度〕、第 3 期：平成 30～令和 3 年度〔2018～2021 年度〕）に基づき、財政健全化に向けて取り組んできました。

その結果、実質公債費比率*や将来負担比率*が改善したことなどから、危機的状況を脱したと判断し、平成 29 年（2017 年）9 月に「脱・財政危機」宣言を解除しました。

今後の財政運営においては、令和 3 年度（2022 年度）に策定した中期財政運営方針（計画期間：令和 4～7 年度〔2022～2025 年度〕）を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症の長期化や、原油価格・物価高騰など、社会経済情勢の変化にも対応できるよう、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指します。

(2) 計画事業費

このような財政状況の下で、普通会計*ベースでの財政収支見通しに基づく計画事業費は、1,589 億円と見込んでいます。

また、普通会計以外の会計を加えた第 1 次実施計画全体の計画事業費は 2,313 億円と見込んでいます。

図表 6 会計区分別計画事業費 (単位：億円)

区 分	計画事業費
普通会計	1, 5 8 9
普通会計外*	7 2 4
総 額	2, 3 1 3

*普通会計：地方公共団体間の財政指標の比較をしやすくするために設けられた統一的な会計区分。本市では、一般会計に都市計画土地地区画整理事業特別会計、市街地再開発事業特別会計などを加えたもの。

*普通会計外：普通会計に属さない企業会計（病院事業、下水道事業、水道事業）や介護保険事業特別会計など。

1. 策定の視点

計画の策定にあたって、計画期間に分野横断的かつ重点的に取り組むべき5つの視点（①100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり、②ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり、③世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブ*なまちづくり、④都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化、⑤まちづくりを進める力を高める）を「策定の視点」として設定しました。

(1) 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

- 2050年カーボンニュートラル*宣言を踏まえ、民間投資やイノベーションの喚起、再生可能エネルギー*の活用、市民・事業者等の行動変容促進など、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。
- SDGs*の達成に向け、市民・事業者等の行動変容を促進するとともに、環境・社会・経済の三側面が調和した取組みを多様な主体の連携のもとで取り組みます。
- 災害に強いまちづくりとして、インフラやライフラインの強靱化・老朽化対策などを推進するとともに、多様な主体の連携による危機管理・防災体制の充実強化を図ります。

(2) ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

- 充実した都市機能が生み出す利便性の高さ（＝時間のゆとり）と、身近な海辺や内陸部の自然（＝空間のゆとり）を最大限に活かし、市民生活の質的向上を図ります。
- 市民一人ひとりが最適な暮らしを実感できるまちの基盤を創るため、事業の効果と効率性を最大化する観点からテクノロジー活用を進める。活用にあたっては、スマートシティ推進ビジョン及び行政デジタル化*推進指針の考え方を踏まえるとともに、国家戦略特区制度の活用などにより、実証段階における技術の活用も含め、未来に向けた挑戦を進めます。
- 創造的で活力ある、質の高い暮らしを支える環境を整えるため、不確実性の高い未来を力強く担う人材の育成を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の経験を踏まえつつ、他分野との連携も含めた文化芸術・スポーツの一層の充実を図ります。

(3) 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくり

- 市民一人ひとりが多様性を認め合い、個性や能力を活かして活躍できる社会を実現するため、ソフト・ハード両面から取組みを進めます。
- 「誰一人取り残さない」セーフティネットを構築するため、これまでに進めてきた取組みの充実を図りつつ、既存制度の狭間にあるニーズを把握し、必要な支援・連携を行います。
- オリンピック・パラリンピックレガシー*としてボランティア文化の醸成やパラスポーツ*の推進に取り組むとともに、外国人も日本人もともに暮らしやすい多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めます。

(4) 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

- 圏域経済の中心都市としての役割を果たすため、企業立地の促進や雇用の創出、国家戦略特区*の活用、商業・観光機能の強化、農業の成長産業化などによる地域経済の活性化に取り組めます。

- 千葉市の特性はもとより、房総の多彩な魅力を活かすとともに、コロナ禍を契機に普及した多様な働き方を踏まえ、圏域*としての価値向上に向けた取組みを進めます。

(5) まちづくりを進める力を高める

- 地域活動やボランティア、支え合いの活性化に向け、新たなプラットフォーム*の構築に向けて取り組むとともに、テクノロジー活用も含めた担い手の発掘・育成、団体間の連携・発信力の強化などに取り組めます。
- 市民、団体、企業、大学等が社会課題の解決に主体的に取り組めるよう、各事業における参画機会の確保に努めるとともに、相互に連携できるための環境整備に取り組めます。

2. 計画事業の選定

100年先の将来を見据えた中長期的な市政運営の基本方針である基本計画に基づく第1期の実施計画として、計画の実現に資する事業の選定を行いました。

- 基本計画に掲げる、分野横断的かつ重点的に取り組むべき「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」及び多様な主体が連携する「まちづくりを進める力」を踏まえた事業を展開します。
- 人口減少・少子高齢化の進行、地球温暖化に伴う気候変動や新興感染症などのリスクの増大、テクノロジーの進展など、社会情勢が急速に変化する中においても、喫緊の課題への的確に対応します。
- 10年後に実現する未来の千葉市の姿を見据え、その実現に向けた道筋や、事業の発展性を考慮し、未来のまちづくりを担う人材の育成、民間の投資を喚起する仕組みづくり、地域経済の活性化につながる基盤の整備など、第1次から積極的に取り組む必要がある事業を展開します。
- 効率的・効果的な行財政産運営を図るため、緊急性や必要性はもとより、将来を見据えたまちづくりへの効果なども考慮し、総合的な観点から事業を厳選します。

3. まちづくりの総合8分野における政策体系

まちづくりの基本方針に沿った政策に応じて取り組む分野を「まちづくり総合8分野」として整理し、それぞれの分野目標を設定するとともに、分野間の連携を図りながら、総合的かつ計画的なまちづくりを推進します。

政策体系		事業数
1 環境・自然 気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します		53
政策1	脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る	
政策2	緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る	
2 安全・安心 災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します		57
政策1	災害に強いまちの基盤を整備する	
政策2	多様な主体の連携による防災力を高める	
政策3	消防・救急体制を充実・強化する	
政策4	安全・安心な市民生活を守る	
3 健康・福祉 みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します		46
政策1	健やかに暮らせる社会を創る	
政策2	高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る	
政策3	障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る	
政策4	住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる	
4 子ども・教育 夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します		46
政策1	子どもを産み・育てやすい環境を創る	
政策2	自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する	
5 地域社会 多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します		23
政策1	誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る	
政策2	多様な主体の連携によるまちづくりを進める	
6 文化芸術・スポーツ 市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します		25
政策1	文化芸術が生まれ、広がる環境を創る	
政策2	スポーツに親しむ環境を創る	
7 都市・交通 市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します		78
政策1	持続可能で魅力あるまちづくりを進める	
政策2	都市の力を底上げするネットワークを整備する	
政策3	まちの発展にテクノロジーを活かす	
政策4	暮らしを支える基盤を創る	
8 地域経済 地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します		32
政策1	地域の産業を支え・育てる	
政策2	観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める	
政策3	農林業の持続的な発展を支える	
合計		360

「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」等と計画事業の関係

千葉市基本計画では、「みんなが輝く 都市と自然が織りなす・千葉市」の実現に向け、分野横断的かつ重点的に取り組むべき4つの「未来のまちづくりに向けた戦略的視点」と、多様な主体が連携する「まちづくりを進める力」を示しており、これらを第1次実施計画における「事業選定にあたり重視すべき5つの視点」として計画を策定しました。

本計画に位置付けた事業は、この「5つの視点」を踏まえて選定したものであり、主な計画事業としては、以下のものが挙げられます。

(1) 100年先に引き継ぐ 持続可能なまちづくり

【環境・自然】都市型再生可能エネルギー*の導入、住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化の推進など

【安全・安心】避難行動要支援者*の支援体制強化、危険盛土による災害防止、耐震診断・耐震改修の促進、浸水対策の推進など

(2) ゆとりを生み・活かす 創造的なまちづくり

【環境・自然】都市における樹林地の保全と活用、河川を活用したまちづくりなど

【子ども・教育】ICT*教育の推進、不登校対策の推進など

【文化芸術・スポーツ】新市民会館の整備、次世代を担うアーティストの育成支援など

【都市・交通】先端技術を活用したモビリティサービスの実現、市役所への手続等のデジタル化の推進、デジタルデバイド*対策、スマートシティサービス実装促進など

(3) 世界とつながる 多様性を活かしたインクルーシブ*なまちづくり

【健康・福祉】重層的・包括的支援体制の構築、コミュニティソーシャルワーク機能の強化、障害者雇用の促進、発達障害への支援の推進など

【子ども・教育】ヤングケアラー*支援体制の強化、子どもの貧困対策の総合コーディネートなど

【地域社会】固定的な性別役割分担意識の解消及び女性活躍の推進、外国人市民への生活支援など

(4) 都市機能の集積を活かした 地域経済・社会の活性化

【都市・交通】ちば共創都市圏*における広域連携、3都心のまちづくり推進、広域・市内ネットワークを構築する道路整備など

【地域経済】企業立地の促進、企業の変革支援、農業者や食品関連事業者の経営力向上支援など

(5) まちづくりを進める力を高める

【地域社会】区役所を中心とした地域支援プラットフォーム*の構築、多様な主体の連携による市民主体のまちづくり推進など

【地域経済】産業人材の育成、大学との連携など

計画の推進にあたっては、計画事業の着実な遂行を図るとともに、以下の点に留意します。

(1) 市民、団体、企業、大学等、多様な主体との一層の連携

計画の推進のためには、市民や団体、企業、大学など、まちづくりに関係する多様な地域の担い手の相互連携の強化を促進し、まちづくりに関わる「みんな」が主体的に地域・社会課題の解決に挑戦できる環境をつくる必要があります。

このため、多様な主体が連携する環境づくりを進めるとともに、各事業の実施においても積極的に連携するほか、計画の周知に務め、多様な主体とまちづくりに係る認識の共有を図ります。

(2) 行財政改革の取組みとの連携

将来にわたり持続可能な行財政運営を行うため、行政改革推進指針や中期財政運営方針などと連携しつつ、デジタル化*の推進や民間活用など時代の変化も的確に捉えながら、行政運営の効率化や財政の健全性の維持・向上を図ります。

(3) 計画の進行管理及び評価

本計画に基づく取組みの効果を高めるため、データに基づき、進行管理及び評価を適切に実施します。具体的には、3年後に目指す事業量、基本目標及び重要業績評価指標（KPI）を明示するとともに、各年度の予算・決算時に計画の事業量ベースの進行管理を行います。

また、千葉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を兼ねる計画となったことを踏まえ、毎年度、市民と各分野の有識者により構成する新基本計画審議会において、基本目標及び重要業績評価指標（KPI）に基づき、取組状況の検証を行います。

さらに、本計画期間終了後に行う政策評価において、取組みの進捗状況やアンケートにより把握した市民の実感等を踏まえ、3年間の事業の振り返りを行い、課題を抽出するとともに、施策立案や事業の改善につなげます。

(4) 計画の弾力的な運用

計画事業の実施にあたっては、社会変化や施策推進上の課題を把握し、施策の検証、機動的な意思決定により、迅速かつ柔軟に必要な施策に取り組みます。

計画の各論

目次

1. 環境・自然	14
2. 安全・安心	36
3. 健康・福祉	57
4. 子ども・教育	80
5. 地域社会	101
6. 文化芸術・スポーツ	112
7. 都市・交通	124
8. 地域経済	160

●各論の見方

1 全体の構成

各論は、8つの「まちづくりの総合分野」、23の「政策」及び67の「施策」で構成し、施策ごとに「施策の展開」と「計画事業」を記載しています。



2 成果指標

政策ごとに、目標年次である令和7年度末に市として実現すべき成果を数値で「基本目標」として設定するとともに、施策ごとに、「基本目標」の達成に向けて実施する具体的な取組みの進捗状況を検証するための数値を「重要業績評価指標（KPI）」として設定しています。

（指標数：基本目標 40 指標、重要業績評価指標（KPI） 150 指標）

また、併せて、政策ごとに関連する SDGs*のゴールを記載しています。

1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

【関連する SDGs の目標】



【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
温室効果ガス排出量削減率	%	〇〇	〇〇
市民1人1日あたりの一般廃棄物総排出量	グラム	〇〇	〇〇

1-1-1 地球温暖化対策の推進

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
再生可能エネルギー等の導入量	メガワット ジュール	〇〇	〇〇
脱炭素社会の実現に向けた連携協定締結数	件	〇〇	〇〇
次世代自動車導入事業等補助金交付件数	件	〇〇	〇〇
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH） 普及促進事業補助金交付件数	件	〇〇	〇〇

計画開始時点における最新の実績

計画終了時点に
実現すべき目標

3 計画事業

計画事業とは、千葉市基本計画に示す「まちづくりの基本方針」の実現に向けて、計画期間（令和5～7年度）に実施する事業です。新たに取り組む事業や、今までより拡充する事業を中心に位置づけています。

□△の推進【新規・再掲】		○○課	
□△のため、○△□△を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
□△の調査	—	実施	完了

計画事業名

計画期間（令和5～7年度）に取り組む項目

計画期間の取組みの具体的な内容

計画期間終了時に実現している状態

- ・【新規】は、第1実施計画で新たに取り組む事業。
- ・【再掲】は、複数の施策に該当する事業。
⇒主たる施策以外の施策に掲載する場合に表記しています。
- ・担当課の名称は、令和5年（2023年）4月1日時点。

事業量の見方

新規事業又はR4年度末実績がない場合、現況は「—」

□△の導入【新規】		○○課	
□△のため、○△□△を導入します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
○△○△の導入	—	○△○△の導入	○△○△の導入

施設・道路の整備や人員の配置などは、累積値で事業量を示す

□△の強化		○○課	
□△のため、○△□△を拡充します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
○△○△の配置	2人	4人増	6人

補助事業や講座・研修の開催などは、各年度の事業量を示す

□△の推進		○○課	
□△のため、○△□△を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
○△○△の助成	10件/年	20件/年増	30件/年

継続事業の場合、計画内容は「継続」と記載

□△の支援		○○課	
□△のため、○△□△を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
○△○△の支援	10団体/年	継続	10団体/年



分野 1

環境・自然

分野目標：気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します

政策体系

1－1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

1-1-1 地球温暖化対策の推進

1-1-2 自然環境・生活環境の保全

1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理

1－2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

1-2-1 緑と水辺の活用と充実

1-2-2 緑の保全と創出

1-2-3 水辺環境の保全と活用

【関連する SDGs の目標】



EV 充電設備

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
温室効果ガス*排出量削減率	%	13.3*	25.3
市民 1 人 1 日あたりの一般廃棄物総排出量	グラム	947	921

※ 平成 30 年度（2018 年度）実績値

1-1-1 地球温暖化対策の推進

施策の展開

- 地球温暖化の進行により、災害の激甚化をはじめとした気候変動リスクが増大しています。本市においては、国による、いわゆる「2050年カーボンニュートラル*宣言」を踏まえ、令和2年11月に「千葉市気候危機行動宣言」を公表し、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。
- そこで、市全体の脱炭素化*を進めるため、市民や民間事業者等に向けて、電動車*の導入や住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化*などを推進するとともに、市の公用車への電動車の導入や市有施設の再生可能エネルギー*の活用等、市役所内部の脱炭素化を進めます。
- また、二酸化炭素の吸収源対策として、谷津田*の森林整備を推進します。
- さらに、環境教育や若者向けの参画型プロジェクトを実施するとともに、市内で開催されるイベントを活用した割りばしの再資源化等により、脱炭素化・資源循環に関する、一人ひとりの意識・行動変容を促します。

計画事業

エコ・モビリティの推進		環境保全課	
低炭素型の交通システムを構築するため、EV*等の電動車購入や充電設備の設置に係る費用を助成し、普及を促進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
次世代自動車*導入費用の助成	EV、PHV* 169 件 FCV* -	EV、PHV 405 件 FCV 18 件	EV、PHV 405 件 FCV 18 件
事業者向け充電設備設置費の助成	-	21 基	21 基
カーシェア*による EV 普及促進	-	実施	実施

住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化の推進		環境保全課	
住宅・建物からの CO2 排出削減や省エネルギー化を推進するため、ZEH*等の助成件数を拡充するとともに、ZEB*を導入する事業者への融資制度を導入します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
ZEH、ZEB 導入費用の助成	ZEH 100 件/年 省エネ最適化診断 30 件/年 ZEB プランニング 1 件/年	ZEH 継続 省エネ最適化診断 20 件/年増 ZEB プランニング 2 件/年増	ZEH 100 件/年 省エネ最適化診断 50 件/年 ZEB プランニング 3 件/年
ZEB に係る融資制度導入 (利子補給)	—	運用開始	運用開始
住宅や建築物に係る 条例整備の検討	—	条例改正	条例改正

市内事業者の脱炭素化支援・エコパートナー*の推進【新規】		環境保全課	
市内事業者の企業活動における自主的な取組みを促進するため、脱炭素経営に向けた支援を行うとともに、事業者との連携を推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
中小企業への環境経営支援	検討	実施、効果検証	実施、効果検証
連携協定の締結	—	100 者	100 者

公用車への電動車導入の推進【新規】		管財課	
脱炭素化*に向けた市の率先的な取組みとして、公用車への EV*等の導入を推進するとともに、充電設備を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
公用車への EV 等の導入	34 台	191 台増	225 台
本庁舎等における充電設備 の設置	4 基	85 基増	89 基
公用車台数の適正化	—	15 台削減	15 台削減

電動ごみ収集車の導入【新規】		収集業務課	
ごみの収集運搬における脱炭素化を進めるため、EV 等、環境にやさしいごみ収集車の導入を推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
環境事業所への電動ごみ収集車 の導入	—	1 台 効果検証	1 台 効果検証
ごみ収集事業者への次世代 自動車*の導入促進	—	研究・検討、意見交換	研究・検討、意見交換

都市型再生可能エネルギーの導入【新規】		環境保全課	
市域内での再生可能エネルギー*創出を推進するため、市有施設の建物壁面への太陽光発電設備及びカーポート充電設備の設置に向けた実証実験を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
建物壁面への太陽光発電設備の導入実証	—	モデル実施	モデル実施
市有施設へのソーラーカーポート設置	—	モデル実施	モデル実施

市有施設における電力のCO2フリー化【新規】		環境保全課	
市有施設で使用する電力に再生エネルギーを活用するため、市有施設をはじめとした電力調達方法に係る調査等を行い、電力の再生可能エネルギーの活用を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
市有施設で使用する電力の再エネ化	調達手法の検討	実施	実施
CO2フリー電力*に係る広域連携事業の検討	—	実施	実施

動物公園の環境負荷低減の推進【新規】		動物公園	
動物公園の環境負荷低減のため、飼育動物の糞尿や残餌を分解処理する消滅型有機物処理モデルを設置し検証するとともに、剪定枝等を粉砕した木質チップを燃料としたバイオマス*熱ボイラーを導入します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
有機物残渣等の生物分解処理	実証実験	モデル設置、効果検証	モデル設置、効果検証
バイオマス熱ボイラーの導入	調査	設置	設置

下水道の資源・エネルギー利用の推進		下水道経営課、下水道施設建設課	
下水道処理施設の温室効果ガス*排出量を削減するため、下水汚泥固形燃料化施設*の整備及び再生可能エネルギーの活用を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
汚泥燃料化施設の整備	—	燃料化施設 1基	燃料化施設 1基
再生可能エネルギーの活用推進	検討	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス利活用技術調査	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス利活用技術調査

脱炭素化推進に向けた谷津田の森林整備の推進		環境保全課	
CO2の吸収源対策としても谷津田*の自然を活用するため、谷津田内の樹木の更新や県産材などを使用した施設整備を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
森林整備	4地区/年	継続	4地区/年
標識の設置	8地区	6地区増	14地区
大草谷津田木製階段の更新	—	改修	改修

カーボンニュートラルちば理解促進		環境保全課	
市民をはじめとした多様な主体と連携し、市全体で脱炭素化*に取り組む社会を実現するため、千葉市地球温暖化対策実行計画を周知するとともに、様々な主体の意識醸成・行動変容を促します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地球温暖化対策実行計画の周知	実施	継続	実施
脱炭素アドバイザーの派遣	検討	実施	実施
イベントの開催	啓発イベント 1回/年 エコチャレンジの実施	啓発イベント 1回/年増 新規啓発事業の実施	啓発イベント 2回/年 新規啓発事業の実施

CO2 排出量可視化による脱炭素型ライフスタイルへの転換【新規】		環境保全課	
多様な主体の脱炭素化への意識醸成・行動変容を促すため、新庁舎における ZEB 化*の効果やカーボンフットプリント*の周知など CO2 排出量の可視化に努めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
CO2 排出量の可視化	—	普及啓発	普及啓発

環境教育の推進		環境総務課、環境保全課	
誰もが自分ごととして環境問題を正しく理解し、解決に向けて協力して取り組む社会を実現するため、環境教育を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
環境マイスター*制度の創設	—	実施	実施
学校・公民館における環境教育の推進	市立小中学校 各 12校 公民館 10 講座	継続	市立小中学校 各 12校 公民館 10 講座

ユース脱炭素参画プロジェクトの実施【新規】		環境保全課	
次世代を担う若者の脱炭素化に係る意識醸成を図るため、植樹体験やプログラミング等のコンテストを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
植樹体験・環境ポスターコンクールの実施	—	実施	実施
キャラクターコンクール・プログラミングコンテストの実施	—	実施	実施
市への事業提案コンテストの実施	—	コンテスト実施 優秀提案事業の事業化	コンテスト実施 優秀提案事業の事業化

イベントを活用した域内エネルギー循環の創出【新規】		廃棄物対策課	
地域の脱炭素化*を推進するため、イベントを活用した割りばしの再資源化により資源循環に係る意識醸成を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
イベントを活用した割りばしリサイクル	—	実施 3件/年	実施 3件/年

モノレール施設の脱炭素化及びグリーンインフラ*の推進【再掲】		交通政策課	
モノレールの脱炭素化を実現するため、回生電力*を有効活用できる新型車両の導入支援等を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
回生車両への更新	—	2編成更新	2編成更新

営農型太陽光発電における農業生産技術の研究【再掲・新規】		農業生産振興課	
農業への再生可能エネルギー*の導入と農業生産力の両立を目指すため、農政センターにおいて営農型太陽光発電*と両立した農業生産技術を研究します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
営農型太陽光発電による栽培実証	検討	実証実験実施 営農型太陽光発電設備の設置	実証実験実施 営農型太陽光発電設備の設置

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
再生可能エネルギー等の導入量	ペタジュール	0.85	1.2
脱炭素社会の実現に向けた連携協定締結数	件	0	100
次世代自動車*導入事業等補助金交付件数	件	87	158
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH*）普及促進事業補助金交付件数	件	43	100

施策の展開

- 本市には、古来より続く豊かな自然が残されており、東京圏において貴重なこの自然を次世代に繋いでいく必要があります。
- そこで、市民や市民団体等の多様な主体と連携しながら、谷津田*をはじめとした自然環境を保全するとともに、その活用を進めます。
- また、市民が健康に安心して暮らせるまちをつくるには、大気や水が清浄で安全なものであることが必要です。本市の大気や水質の状況については、直近の調査では河川に関する測定項目で環境目標値を達成しておりますが、一方で、大気や海域における一部の測定項目は未達成の状況が続いており、今後もさらなる施策の推進が必要であることから、引き続き、工場等からの排出ガス・排水状況の監視及び指導を継続するとともに、上水道布設や浄水器の設置に係る費用を助成します。
- 加えて、羽田空港の再拡張に伴う航空機騒音問題について、市民の良好な生活環境を確保するため、引き続き騒音の実態を調査するとともに、騒音の軽減に向け、国への申し入れ等を行います。

計画事業

生物多様性の理解促進と普及啓発		環境保全課	
生物多様性*に富んだ生態系を保全するための環境学習の機会を創出するとともに、市民への意識啓発を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
生物多様性の普及啓発	—	リーフレット 環境教育教材等作成	リーフレット 環境教育教材等作成
市民参加型生き物調査	実施	継続	実施
谷津田の保全と活用の推進		環境保全課	
自然豊かな谷津田を保全するため、谷津田の保全区域を拡大するとともに、保全団体等を確保し、谷津田の魅力発信等により活用を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
魅力発信と次世代の担い手の育成	—	プロモーション動画作成 出張授業等 3校/年	プロモーション動画作成 出張授業等 3校/年
保全協定の締結	61.87ha	6ha 拡大	67.87ha
保全団体等の確保	6 団体	2 団体増	8 団体
上水道配水管布設等の促進		環境規制課	
地下水汚染が確認された井戸を飲用として使用する市民に安全な飲料水を確保するため、上水道布設や浄水器の設置に対する費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
上水道配水管布設助成	2 件/年	継続	2 件/年
浄水器設置費助成	15 件/年	継続	15 件/年

大気保全対策の推進		環境規制課	
空気のきれいさを確保するため、大気汚染物質を常時モニタリングするとともに、法令等に基づく工場・事業場への規制・指導や自動車の排出ガス対策を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
立入検査の実施	60件/年	継続	60件/年
大気汚染物質のモニタリング調査	測定・成分分析 計34地点 常時モニタリング 28測定局	継続	測定・成分分析 計34地点 常時モニタリング 28測定局

水質保全対策の推進		環境規制課	
川・海・池のきれいさを確保するため、公共用水域における水質を常時モニタリングするとともに、法令等に基づく工場・事業場への規制・指導を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
立入検査の実施	70件/年	継続	70件/年
公共用水域モニタリング調査	30地点/年	継続	30地点/年

航空機騒音問題への対応		環境規制課	
騒音等を低減し静けさや心地よさを確保するため、航空機騒音の状況を常時モニタリングし、市民向けの情報提供を速やかに行うとともに、国に改善を要請します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
航空機騒音の測定	4地点/年	継続	4地点/年
市民への情報提供	1回/週	継続	1回/週

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
谷津田*の保全活動等の参加者数	人	167	290
大気環境目標値（健康項目）達成率	%	95.5	100.0
水質環境目標値（健康項目）達成率	%	100.0	100.0
水質環境目標値（生活環境項目）達成率	%	72.2	100.0

施策の展開

- 本市では、家庭ごみ手数料徴収制度の導入や、古紙等の分別回収・再資源化など、市民及び事業者との協働により、ごみの減量・再資源化に取り組んできたことから、総排出量は減少傾向にあります。
- しかし、市民一人あたりの総排出量をみると、首都圏政令市の中では相対的に多い状況であり、さらなるごみの減量・再資源化につなげるため、環境教育等による啓発を実施するとともに、家庭用生ごみ減量処理機購入に係る費用への助成件数を増やすほか、安定したごみ処理体制を構築するため、清掃工場等のごみ処理施設の整備を推進します。
- また、不法投棄を防止し適正なごみ処理を推進するため、監視カメラの設置により早期発見・早期是正を図ります。

計画事業

3R教育・学習の推進		廃棄物対策課	
循環型社会の構築に向け、3R*のうち発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）を優先するごみ減量の意識づけを促すため、未就学児、児童や学生等を対象とした啓発活動を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
へらそうくんルームの実施 (未就学児)	12 か所/年	継続	12 か所/年
ごみ分別スクールの実施 (小学4年生)	108 校/年	継続	108 校/年
ワークショップの実施 (高校生以上の学生)	2 回/年	継続	2 回/年

ごみの発生抑制・再資源化の推進【新規】		廃棄物対策課	
ごみの発生抑制・再資源化を推進するため、家庭用生ごみ減量処理機の購入費助成件数を増やすとともに、食品ロス*、プラスチックごみの削減に資する市民の行動を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
生ごみ減量処理機購入費の助成	350 基/年	50 基/年増	400 基/年
生ごみ肥料化容器購入費の助成	350 基/年	継続	350 基/年
乾燥処理物の再資源化	—	拠点回収協力店舗等 3 か所	拠点回収協力店舗等 3 か所
食品ロス・プラスチックごみ削減に向けた普及啓発	イベント等実施	継続	イベント等実施

廃棄物処理施設の整備推進		廃棄物施設整備課		
将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、清掃工場、リサイクル施設、最終処分場等の整備を推進します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
清掃工場の整備	北谷津用地	工事	継続	整備完了
	新港用地	基本計画策定	事業者契約 環境影響調査	事業者契約
リサイクル施設の整備		調査	基本計画策定 PFI等導入可能性調査	基本計画策定 PFI等導入可能性調査
最終処分場の整備	浸出水処理施設	事業者契約	工事	整備完了
	最終処分場	候補地選定	基本計画策定 用地測量	基本計画策定 用地測量

監視カメラによる不法投棄対策		産業廃棄物指導課		
不法投棄多発地区での不法投棄防止及び行為者を特定し、早期是正を図るため、監視カメラを設置します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
赤外線照射カメラの設置		—（非公表）	台数増	—（非公表）

マイクロプラスチック実態調査の実施		廃棄物対策課		
市民に対してマイクロプラスチック*の現状と問題点を発信し、市民のプラスチックごみ削減に向けた行動変容を促すため、マイクロプラスチック実態調査を実施します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
実態調査		—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	
		令和3年度末	目標値 令和7年度末
焼却処理量	トン	232,690	227,000
再生利用率	%	33.3	33

1-2

緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

【関連する SDGs の目標】



稲毛海浜公園（リニューアル後パース）

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
緑と水辺のまちづくり活動への参加度	%	29.6*	34.80
緑被率	%	48.6	現水準を保つ（±1%）

※ 令和4年度（2022年度）実績値

1-2-1

緑と水辺の活用と充実

施策の展開

- 本市の市民一人あたりの都市公園面積は、首都圏政令市において第1位となっており、市民の憩いの場として親しまれています。
- 千葉公園をはじめとする大規模公園*については、引き続き、積極的な民間活力の導入等により活性化を図るとともに、適切な機能更新を実施し、魅力の向上を図ります。
- 動物公園については、集客観光施設として、リスタート構想に基づき、動物科学館の展示をリニューアルするとともに、新たに湿原ゾーンの整備を推進します。また、みなと公園については、市役所本庁舎周辺の魅力あるまちづくりを進めるため、多様な主体の参画により、公園全体の再整備の方向性を整理します。
- 市民の日常生活に密着した身近な公園を整備するとともに、快適性向上のため、トイレ等の施設の機能更新を行います。
- また、生活に近い市街地にある身近な農地について、計画的な保全と活用を図り、農と住の調和したゆとりある良好な都市環境の形成を推進します。

計画事業

千葉公園の再整備		緑政課	
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
賑わいエリア整備	—	整備	供用開始
やすらぎゾーン整備	—	整備	供用開始
水辺ゾーン整備	—	整備	整備

オオガハスの魅力発信			緑政課	
オオガハス*を活かしたまちづくりを進めるため、イベントの充実及び情報発信の強化を図るとともに、千葉公園を系統保存管理の拠点とし、市内の展示場所の整備及び栽培管理の人材育成を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
イベントの充実	大賀ハスマつり YohaS	開催	継続	開催
	サイン設置	—	千葉公園通りに設置	千葉公園通りに設置
情報発信の強化		蓮華亭リニューアル	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査
鑑賞環境の整備	系統保存維持管理	系統保存維持管理	継続	系統保存維持管理
	プランター展示	7か所	1か所増	8か所
	学校分根	42校	15校増	57校
	ハス守りさん*講座	53人	30人増	83人
	ハス守りさん フォローアップ講座	—	10名	10名
	文化伝承事業	—	実施	実施
	コンパクトな拠点	—	整備	整備

千葉市蘇我スポーツ公園の充実			公園管理課	
市民のスポーツやレクリエーション活動の拠点として適切な管理運営を行うため、長寿命化計画を策定するとともに、フクダ電子アリーナの音響施設や運動施設等の改修を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
長寿命化計画の策定		—	策定	策定
フクダ電子アリーナの充実	改修	照明設備、 音響設備（実施設計）	音響設備	音響設備
魅力向上	ヒルスコート （テニスコート）	人工芝張替 10面	人工芝張替 10面	人工芝張替 20面
	スクエア （人工芝広場）	—	防球ネット改修	防球ネット改修
	ランニングコース	—	舗装改修	舗装改修
	バックヤード	—	倉庫設置	倉庫設置

花島公園の魅力向上		花見川・稲毛公園緑地事務所	
花島公園の持つ資源を有効に活用した魅力向上のため、老朽化した施設の整備を行うとともに、自然観察会等のイベントを開催します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
施設更新	園路・散策路修繕 木製デッキ修繕 池循環ポンプ更新	園路・散策路修繕 樹林地再生 長寿命化計画見直し	園路・散策路修繕 樹林地再生 長寿命化計画見直し
イベント等の充実	自然観察会 3回/年 写真展 1回/年 健康づくり講習会 1回/年	継続	自然観察会 3回/年 写真展 1回/年 健康づくり講習会 1回/年

泉自然公園の魅力向上		若葉公園緑地事務所	
泉自然公園の豊かな自然を活かした魅力向上のため、老朽化した施設の改修や自然環境の質の向上に取り組むとともに、民間事業者と連携したイベントを開催します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
園内インフラ設備改修	トイレ改築等	園路、給水管路 電気設備改修	園路、給水管路 電気設備改修
園内サインリニューアル	—	設置	設置
民間事業者との連携によるイベントの開催	9回/年	4回/年増	13回/年
ボランティア団体との連携	ヤマユリの名所づくり	継続	ヤマユリの名所づくり
園内樹林地の転換	倒木処理	樹木の伐採 外来樹木の間伐 在来種の補植	樹木の伐採 外来樹木の間伐 在来種の補植

都川水の里公園の整備		公園建設課	
緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
用地取得	12.1ha	1.3ha	13.4ha
施設整備	—	基本計画の修正	基本計画の修正

昭和の森の魅力向上			緑公園緑地事務所	
昭和の森の魅力を向上し、公園の価値とポテンシャルを高めるため、老朽化した施設の更新や新たな花の名所づくり、森林の再生を進めます。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
森の再生と健全化		一部実施	森の再整備計画策定 森づくり活動育成支援 危険木の処理等	森の再整備計画策定 森づくり活動育成支援 危険木の処理等
花の名所づくり		一部実施	菖蒲田水路改修 湿性植物園の再整備 新たな花の名所づくり	菖蒲田水路改修 湿性植物園の再整備 新たな花の名所づくり
施設の 長寿命化	長寿命化計画	—	見直し	見直し
	遊具・四阿 ^{あずまや}	—	更新	更新
	水道・電気・ 下水道・放送施設	調査	改修	改修

幕張海浜公園の活性化【新規】			緑政課	
幕張海浜公園の賑わい創出による更なる活性化を図るため、民間活力の導入による事業を行うとともに、定期的なイベント開催の検討などを行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
民間活力導入		民間事業者の公募検討	民間事業者による 活性化施設整備	民間事業者による 活性化施設整備
イベントの実施		—	民間事業者との連携検討	民間事業者との連携検討

稲毛海浜公園のリニューアル【再掲】			緑政課	
海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
民間事業者 による施設 リニューアル	花の美術館	一部実施	改修	供用開始
	温浴施設	—	整備	供用開始
	グランピング*施設	—	整備	供用開始
	稲毛記念館	—	改修	改修

有料公園施設の改修			公園管理課	
有料公園施設の利用者の安全安心や快適性の向上を図るため、青葉の森スポーツプラザ等の施設の適切な更新を推進します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
青葉の森スポーツプラザ	公園施設改修設計	施設改修	施設改修	
スポーツ施設の改修	ZOZO マリン スタジアム	施設改修	施設改修	
	花島公園	—	テニスコート改修	テニスコート改修
教養施設の改修	亥鼻公園集会所	あり方検討	建替	建替

動物公園リスタート構想の推進			動物公園	
市民に身近な動物園としての存在価値を高め、都市の活性化に繋げる集客観光施設としての再生を図るため、老朽化した動物科学館の展示改修を行うとともに、新たに湿原ゾーンの整備を推進します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
展示のリニューアル	一部実施	動物科学館展示改修 湿原ゾーン実施設計 森林ゾーン基本設計 大池測量・実施設計	動物科学館展示改修 湿原ゾーン実施設計 森林ゾーン基本設計 大池測量・実施設計	
快適な園内環境の整備	一部実施	トイレ改修 園路改修 授乳室整備 駐車場キャッシュレス対応 混雑状況等配信	トイレ改修 園路改修 授乳室整備 駐車場キャッシュレス対応 混雑状況等配信	
動物福祉に配慮した既存施設改善案策定	検討	策定	策定	

動物公園の施設改修			動物公園	
安全で快適な公園利用を確保するため、動物公園内の老朽化した施設整備を改修します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
長寿命化計画に基づく整備	長寿命化計画策定	動物病院補修 正門補修	動物病院補修 正門補修	
給排水設備の更新	実施設計	実施	実施	
運営設備の整備・更新	—	放送設備再整備計画策定 ホイールローダー*の購入	放送設備再整備計画策定 ホイールローダーの購入	

みなと公園の再整備【新規】			公園管理課	
バリアフリー化など、公園の機能を増進するため、みなと公園全体の再整備に係る基本的な考え方を整理します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
多様な主体の参画による再整備の方向性の作成	意見聴取、検討	バリアフリー化に係る 特定事業計画策定 民活導入調査・検討 再整備の方向性(案)作成	再整備の方向性(案)作成	

身近な公園のエリアリノベーション*【新規】		緑政課	
多様化するニーズに対応した公園づくりを推進するため、公園再編計画策定や、公園の柔軟な管理運営を行えるよう新たな運営方式の検討を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
公園の再編計画策定	人流データ*取得 調査研究	公園再編計画策定 モデル実施 3件	公園再編計画策定 モデル実施 3件
中間支援組織*の発掘・育成	—	実施	実施

身近な公園の整備		公園建設課	
魅力ある公園づくりを推進するため、市民の日常生活に密着した身近な公園を整備するとともに、市民が主体となって計画から整備・管理まで行う「手づくり公園」の設置を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
身近な公園の施設整備	街区公園* 1か所	近隣公園* 1か所 街区公園 1か所	近隣公園 1か所 街区公園 1か所
手づくり公園の設置促進	—	計画案策定支援	計画案策定支援

身近な公園のリフレッシュ推進		公園管理課	
公園の安全性や快適性の確保のため、老朽化した施設の更新や出入口等のバリアフリー化を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
長寿命化計画の策定・見直し	—	策定	策定
公園施設の更新	遊具	一部実施	232基
	遊具以外の施設	一部更新	6施設
	照明灯LED化	3,730灯	3,760灯
出入口等のバリアフリー化	実施設計 2公園	実施設計 6公園 改修 6公園	実施設計 8公園 改修 6公園

身近な公園における新たな滞在環境の創出【新規】		公園管理課	
身近な公園の居心地の良さを高めるため、ベンチ等の休憩施設の改善や広場の芝生化などの取組みをモデル的に進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
モデル事業 (ベンチの設置、芝生化等)	候補地選定	モデル実施 3か所 整備ガイドライン(案) の作成	整備ガイドライン(案) の作成
保育所と公園広場の一体的な整備	関係者との協議・調整	実施設計、整備完了	整備完了

公園トイレの快適化			公園管理課	
公園トイレの快適性の向上のため、便器の洋式化を進めるとともに、老朽化したトイレの建替えや設備等の改修を行います。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
(仮称)公園トイレ快適化計画の策定	調査	策定	策定	
大規模公園*の トイレ建替等	泉自然公園	トイレ浄化槽整備	トイレ浄化槽整備	
	昭和の森	トイレ建替え	トイレ建替え	
	稲毛海浜公園			
身近な公園の トイレの充実	洋式化	洋式化 20 か所	60 か所	完了
	建替え	—	2 か所	2 か所
	改修	—	6 か所	6 か所

水(水辺)の特性を活かした公園の魅力向上【新規】			公園管理課	
身近な公園において、居心地のよい緑と水辺の充実を図るため、遊具やトイレ等の施設改修を行います。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
大百池公園 の施設改修	誰もが遊べる 広場整備 トイレ整備等	モデル実施	モデル実施	
		改修	改修	
丹後堰公園 の施設改修	湿地整備 ウッドデッキ	関係者との協議	護岸沿い湿地の環境改善	護岸沿い湿地の環境改善
			改修	改修

農と住の調和したまちづくりの推進			都市計画課	
農と住の調和したまちづくりを推進するため、農地保全にかかる都市計画手法の検討及び生産緑地制度の周知・啓発を行います。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
農地保全に係る都市計画手法 の検討	土地利用誘導方針(案)・ 用途地域指定基準(案)作成	土地利用誘導方針・ 用途地域指定基準策定 都市計画手法検討 住民等意向調査	土地利用誘導方針・ 用途地域指定基準策定都 市計画手法検討 住民等意向調査	
生産緑地制度の周知・啓発	実施	継続	実施	

動物公園の環境負荷低減の推進【再掲・新規】			動物公園	
動物公園の環境負荷低減のため、飼育動物の糞尿や残餌を分解処理する消滅型有機物処理モデルを設置し 検証のするとともに、剪定枝等を粉碎した木質チップを燃料としたバイオマス*熱ボイラーを導入します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
有機物残渣等の生物分解処理	実証実験	モデル設置、効果検証	モデル設置、効果検証	
バイオマス熱ボイラーの導入	調査	設置	設置	

だれもが遊べる広場づくり【再掲・新規】			公園管理課	
インクルーシブ*なまちづくりを推進するため、公園において、障害があってもなくても共に遊べる広場 を整備します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
広場の整備	調査・協議	モデル整備 1 か所	モデル整備 1 か所	

良好な街並みの景観形成を図るため、大径木化、老木化した街路樹の植栽環境の適正化を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
危険木・支障木の伐採及び間伐	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
大規模な公園の利用者数（有料施設）	万人	2,924	3,011
老朽化した遊具の更新数	基	727	1,007
生産緑地地区の新規・追加指定地区数	地区	2	2
動物園入園者数	千人	689	659

1-2-2

緑の保全と創出

施策の展開

- 公有地の緑地が拡大している一方、生産緑地*や保存樹林*等の民有地における緑地は減少が続いており、市民が身近に緑を感じる環境の整備が必要です。
- 都市における緑を保全・活用するための取組みを進めるとともに、市民活動団体の支援や建築物の屋上壁面の緑化により、緑と花との関りを通じてまちの魅力を高める取組みを実施します。

計画事業

斜面緑地の保全		公園管理課	
公園・緑地内において、良好な自然環境を有する斜面緑地を維持するため、安全対策工事を行うとともに、適正な樹木管理等による法面の保全を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
急傾斜地*の安全対策	調査検討	詳細設計 2か所 工事 2か所	詳細設計 2か所 工事 2か所
斜面緑地の適正管理	若葉区 7か所実施	若葉区 継続 緑区 2か所実施	若葉区 7か所完了 緑区 2か所完了

都市における樹林地の保全と活用		公園管理課	
都市における樹林を保全・活用するため、特別緑地保全地区*内の用地取得や、緑地保全方針の策定に取り組むとともに、保全すべき樹林の更新など質の向上に資する事業を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
用地取得	20.2ha	0.7ha	20.9ha
緑地保全基本方針の策定	調査検討	策定	策定
緑地別管理計画の策定	—	計画に基づく管理開始 1か所 計画策定 2か所	計画に基づく管理開始 1か所 計画策定 2か所

緑と花を楽しめるまちづくり		緑政課	
都市において、潤いをもたらす「緑」と彩りを与える「花」のまちづくりを進めるため、花に関わる活動団体の支援やコンテスト等を開催するとともに、屋上壁面緑化の取組みを支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
花いっぱい市民活動の推進	496団体	6団体増	502団体
緑と花のコンテスト	60団体	6団体増	66団体
屋上壁面緑化への助成	4件	3件増	7件

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
公園の管理・運営に関わる市民・企業による団体数	団体	317	321
花いっぱい市民活動団体数	団体	498	502
オオガハス*関連イベント来場者数	人	15,900	30,000

施策の展開

- 日本一の長さを誇る人工海浜（稲毛の浜、検見川の浜、幕張の浜）の魅力を最大限に活かすため、平成28年に策定した「海辺のグランドデザイン」に基づく取組みを、これまで進めてきました。
- 今後も、海辺の活性化を推進するため、稲毛海浜公園において、民間活力の導入によるリニューアルを進めるとともに、イベント等を開催します。
- 県立幕張海浜公園において、関係団体と連携し、賑わい施設を導入するとともに、イベントを開催し、幕張の浜の利活用を進めます。
- また、千葉中央港地区のまちづくりを推進するため、防犯カメラやベンチの設置等により、安全・安心かつ快適に港を利用できる環境を整備するとともに、地区内の関係事業者等と連携し、「さんばしひろば」のさらなる活性化に向けたイベントの実施や、クルーズの充実を図ります。
- 今後は、これまで重点的に行ってきた海辺の魅力向上の取組みに加え、海辺と内陸部を繋ぐ川辺の魅力向上に向けた取組みを加速させる必要があります。
- 花見川、都川、鹿島川において、それぞれの特性を活かした保全活用の取組みを進めます。
- 特に花見川においては、花島公園や花見川団地といった周辺地域も含めた一体的な魅力の創出を図るため、花見川利活用のための施設を整備するとともにイベント等を実施します。

計画事業

海辺の活性化		緑政課	
海辺の活性化を推進するため、稲毛海浜公園検見川地区において、賑わいを創出する施設の導入を検討するとともに、市民と協働でイベントを実施します。また、県立幕張海浜公園へのにぎわい施設導入やイベント開催など、関係機関等と連携し、幕張の浜の利活用を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
稲毛海浜公園検見川地区の活性化	調査、協議・調整	事業者決定 イベント実施	イベント実施
県立幕張海浜公園における海辺の利活用	協議・調整	賑わい施設導入 イベントの開催	賑わい施設導入 イベントの開催

稲毛海浜公園のリニューアル		緑政課		
海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
民間事業者による施設リニューアル	花の美術館	一部実施	改修	供用開始
	温浴施設	—	整備	供用開始
	グランピング*施設	—	整備	供用開始
	稲毛記念館	—	改修	改修

幕張海浜公園の活性化【再掲・新規】		緑政課	
幕張海浜公園の賑わい創出による更なる活性化を図るため、民間活力の導入による事業を行うとともに、定期的なイベント開催の検討などを行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
民間活力導入	民間事業者の公募検討	民間事業者による 活性化施設整備	民間事業者による 活性化施設整備
イベントの実施	—	民間事業者との連携検討	民間事業者との連携検討

千葉中央港地区まちづくりの推進			交通政策課	
賑わいや憩いのある港づくりのため、ベンチや電気・音響設備等を整備するとともに、イベントの開催や更なるさん橋の活用を推進します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
施設整備	防犯カメラ	3台	1台増	4台
	バナー看板	イベント開催時設置	継続	イベント開催時設置
	ベンチ	—	整備	整備
	電気・音響設備	—	整備	整備
イベント・旅客船事業促進	補助金交付	継続	補助金交付	

河川を活用したまちづくり			都市政策課	
河川沿川エリアの魅力向上を図るため、都川、花見川、鹿島川を中心に河川沿いの豊かな緑や田園風景などを保全するとともに、水辺空間や地域資源を活用したまちづくりを推進します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
かわまちづくりビジョンの策定	—	策定	策定	
先導的事業（魅力発信イベント等）	—	実施	実施	

花見川の利活用			緑政課	
花見川の魅力を活用したまちづくりを推進するため、花見川利活用のための整備やイベント等の実施により、花見川の河川空間、花島公園周辺における一体的な魅力創出を図りつつ、花見川サイクリングコース等の充実を図ります。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
花島公園における活性化事業	調査 協議・調整	花見川利活用のための整備	花見川利活用のための整備	
花見川サイクリングコース等の充実	検討	千本桜緑地周辺での 花畑づくり サイン・案内版の設置	千本桜緑地周辺での 花畑づくり サイン・案内版の設置	

都川水の里公園の整備【再掲】			公園建設課	
緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
用地取得	12.1ha	1.3ha	13.4ha	
施設整備	—	基本計画の修正	基本計画の修正	

水(水辺)の特性を活かした公園の魅力向上【再掲・新規】			公園管理課	
身近な公園において、居心地のよい緑と水辺の充実を図るため、遊具やトイレ等の施設改修を行います。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
大百池公園の施設改修	誰もが遊べる 広場整備 トイレ整備等	モデル実施	モデル実施	
		改修	改修	
丹後堰公園の施設改修	関係者との協議	護岸沿い湿地の環境改善	護岸沿い湿地の環境改善	
		改修	改修	

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
多自然川づくりの整備延長	m	9,719	11,759



分野2

安全・安心

分野目標：災害など様々なリスクに対応し、安全・安心に暮らせるまちを実現します

政策体系

2-1 災害に強いまちの基盤を整備する

2-1-1 風水害対策の推進

2-1-2 地震等に対応した生活インフラの適切な整備・管理

2-2 多様な主体の連携による防災力を高める

2-2-1 災害対応体制の強化

2-2-2 市民の防災意識と地域防災力の向上

2-3 消防・救急体制を充実・強化する

2-3-1 消防力の充実・強化

2-3-2 救急需要への対応強化

2-3-3 火災予防の推進

2-4 安全・安心な市民生活を守る

2-4-1 防犯対策の推進

2-4-2 交通安全の推進

2-4-3 消費生活の安定・向上

2-1

災害に強いまちの基盤を整備する

【関連する SDGs の目標】



無電柱化の推進

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
耐震性のある住宅の割合	%	91	95
雨水重点地区整備率	%	0	31

2-1-1

風水害対策の推進

施策の展開

- 近年、地球温暖化等の影響により災害が激甚化しており、本市においても令和元年の台風や大雨により、これまで経験したことのない多様で甚大な被害が発生しました。この経験を踏まえ、災害に強いまちづくりを推進する必要があります。
- そこで、土砂災害の予防及び被害軽減のため、急傾斜地*の崩壊防止工事を進めるとともに、危険ながけ地付近に居住する市民の移転に係る費用を助成します。
- 浸水被害軽減のため、地域における浸水リスクの高さに応じて、雨水管渠や排水路の整備及び河川の改修を進めるとともに、雨水浸透施設の設置等に係る費用について、助成を行います。
- 台風等の強風による住宅屋根の被害を防止するため、瓦屋根の耐風診断・耐風改修に係る費用を助成します。
- 土砂風水害等の大規模災害に対し、迅速かつ効率的に消防活動を実施し被害を最小限に抑えるため、消防隊の装備等の充実を図ります。

計画事業

土砂災害の予防		防災対策課	
土砂災害に対する被害を最小限に抑えるため、土砂災害（特別）警戒区域*等の周辺住民に防災情報を周知します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
土砂災害ハザードマップの配布	土砂災害（特別）警戒区域内及び基礎調査予定箇所の全世帯	新たに区域指定された世帯を含む土砂災害（特別）警戒区域内の全世帯	新たに区域指定された世帯を含む土砂災害（特別）警戒区域内の全世帯
土砂災害啓発チラシの配布	土砂災害（特別）警戒区域内及び基礎調査予定箇所の全世帯	継続	土砂災害（特別）警戒区域内の全世帯

急傾斜地崩壊対策の推進		総合治水課		
市民の生命を保護するため、急傾斜地*崩壊危険区域に指定された箇所での崩壊防止工事を行います。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
急傾斜崩壊防止施設の整備	整備完了 13箇所	整備 9箇所	整備完了 22箇所	
危険ながけ地付近からの移転助成		都市安全課		
危険ながけ地付近からの住宅の移転を促進するため、危険住宅の撤去及び移転先住宅の取得に係る費用を助成します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
住宅移転助成	1件/年	継続	1件/年	
危険盛土による災害防止【新規】		都市安全課		
危険な盛土による土砂災害から市民の生命や財産を守るため、基礎調査を実施し規制区域を設定することで、危険な盛土を規制します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
規制区域の指定	—	基礎調査、区域指定	基礎調査、区域指定	
浸水対策の推進		雨水対策課、下水道施設建設課		
近年の局地的な大雨などに対して浸水被害を軽減するため、地域の状況に応じた効率的な雨水・排水施設の整備を推進します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
雨水施設	雨水管渠等の整備	重点地区 一般地区 6か所	重点地区 4地区 一般地区 9か所	重点地区 4地区 一般地区 15か所
	下水道施設の耐水化	—	3か所	3か所
排水施設	一般排水路の整備	幹線整備工事 0.40km	0.40km	0.80km
		面的整備工事	1.77km	1.77km
		設計 1.50km	3.75km	5.25km
	都市下水路の整備	浚渫工事 250 m ³	500 m ³	750 m ³
		管理用通路整備工事	—	0.14km
	設計 0.02km	0.14km	0.16km	

流域治水*の推進		総合治水課	
近年の大雨などの影響により頻発化する浸水被害を軽減するため、雨水管や排水路の流末となる河川の改修等を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
支川都川の改修	暫定改修 3,540m	河道整備 2,040m	一次改修完了
坂月川の改修・予防保全	一次改修 2,926m 浚渫工事 500m	橋梁外実施設計 浚渫工事 2,400m 樋管改修工事 15か所	橋梁外実施設計 浚渫工事完了 樋管改修工事 15か所
生実川（二級）の改修	一次改修 2,073m	函渠布設工事 90m	函渠布設工事 90m
生実川（準用）の改修・予防保全	暫定改修 1,190m 浚渫工事 740m	基本設計 浚渫工事 400m	浚渫工事完了
流域貯留施設*	31か所	1か所	32か所

雨水貯留浸透施設等の設置促進		下水道営業課	
雨水の流出を抑え浸水被害の軽減を図るため、市民による雨水貯留浸透施設*や防水板の設置に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
雨水貯留浸透施設設置助成	3,529件	190件増	3,719件
防水板設置助成	39件	17件増	56件

屋根耐風診断・耐風改修助成事業		建築指導課	
台風等による住宅の安全性向上を図るため、既存住宅の瓦屋根の耐風診断及び耐風改修に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
耐風診断助成	30件/年	継続	30件/年
耐風改修助成	30件/年	継続	30件/年

大規模土砂風水害・震災を見据えた消防力の強化		警防課	
大規模災害の被害を最小限にするため、消防隊への新たな資機材の導入や防災設備を増設します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
土砂風水害対応資機材の導入	—	ベルトコンベアー 12台 崩落監視システム 2台	ベルトコンベアー 12台 崩落監視システム 2台
震災対応設備の増設	耐震性貯水槽	126か所	3か所増 129か所
	防災器具 収納庫	78か所	3か所増 81か所
	小型動力 ポンプ一式	78か所	3か所増 81か所

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
急傾斜崩壊防止施設の整備延長	m	1,562	2,262

施策の展開

- 本市は、首都直下地震によりマグニチュード7クラスの地震が発生する可能性が高いとされており、例えそのような災害が起こったとしても、生活に必要なインフラを維持するため、計画的な整備と適切な維持管理を行う必要があります。
- そこで、地震に強く、持続可能な公共インフラを確保するため、計画的な整備により道路施設等の長寿命化を図るとともに、橋梁や上下水道施設等の耐震化を進めます。
- 地震等の災害発災時の、避難・救助や物資供給における車両の通行を確保するため、無電柱化を推進するとともに、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進します。
- また、住宅の倒壊等の被害を防ぐため、木造住宅及び分譲マンションの耐震化を促進します。

計画事業

道路施設の長寿命化

土木保全課

道路利用者の安全・安心を確保するため、個別施設計画に基づき、道路施設の計画的な点検・補修を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
道路施設の定期点検	橋梁 55 橋 (令和4年度事業量)	209 橋	209 橋
	歩道橋 13 橋 (令和4年度事業量)	47 橋	47 橋
	舗装 84km (令和4年度事業量)	252km	252km
	のり面・擁壁 74 か所 (令和4年度事業量)	226 か所	226 か所
	道路照明等 2,000 基 (令和4年度事業量)	6,000 基	6,000 基
	道路施設 一式 (令和4年度事業量)	一式	一式
道路施設の補修・更新	橋梁補修 11 橋 (令和4年度事業量)	38 橋	38 橋
	歩道橋補修 4 橋 (令和4年度事業量)	8 橋	8 橋
	モノレールインフラ 施設更新・改良 一式 (令和4年度事業量)	一式	一式
	のり面・擁壁 4 箇所 (令和4年度事業量)	34 か所	34 か所
	道路施設補修 一式 (令和4年度事業量)	一式	一式
個別施設計画の更新	—	4 計画	4 計画

舗装・側溝の新設・改良			土木管理課	
道路を安全で快適に通行するため、舗装・側溝を新設及び改良します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
舗装	新設	1.0km (令和4年度事業量)	2.1km	2.1km
	改良	23.0km (令和4年度事業量)	54.0km	54.0km
側溝	新設	1.0km (令和4年度事業量)	4.2km	4.2km
	改良	約4.9km (令和4年度事業量)	14.4km	14.4km

橋梁の耐震化・架替			土木保全課	
震災時の救命活動や物資輸送のための交通路を確保するため、橋梁の耐震補強を行うとともに、老朽化した橋を架け替えます。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
耐震化	耐震補強	整備完了 137 橋	整備完了 1 橋 工事 1 橋	整備完了 138 橋 工事 1 橋
	耐震レベル 引き上げ	—	(メッセ大橋 (上・下))	設計 2 橋 (メッセ大橋 (上・下))
架替	柏井橋	護岸工、仮橋撤去	護岸工	完了
	亥鼻橋	橋梁下部工	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁下部工完了 橋梁上部工

水道管路の耐震化			水道事業事務所	
地震発生時の安定給水を確保するため、水道管路の耐震化を進めます。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
管路の耐震化		—	4.5km	4.5km

下水道施設の耐震化			下水道整備課、下水道施設建設課	
大規模地震発生時においても、下水道の流下機能や処理機能を確保するため、管渠及び処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
管渠の耐震化		701.0km	59.2km	760.2km
処理場・ポンプ場の耐震化		1 か所	5 か所	6 か所

無電柱化の推進			土木保全課	
災害に強いまちづくりを推進するため、緊急輸送道路等における電線類の地中化を推進します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
青葉町地区		本体工事、 引込連系工事	継続	完了
幕張地区		本体工事、引込連系工事 支障物件移設	本体工事、引込連系工事	完了
椿森地区		—	測量・設計 支障物件移設	測量・設計 支障物件移設

緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成		建築指導課	
地震発生時における緊急輸送道路の通行を確保するため、沿道建築物の耐震診断や改修費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
耐震診断費用助成	4件	6件増	10件
耐震改修等費用助成	3件	3件増	6件

耐震診断・耐震改修の促進		建築指導課	
地震発生時における住宅の安全性向上を図るため、木造住宅や分譲マンションの耐震診断及び耐震改修に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
耐震診断費用助成	木造住宅 555戸	35戸増	590戸
	分譲マンション 12管理組合	3管理組合増	15管理組合
耐震改修費用助成	木造住宅 504戸	60戸増	564戸
	住宅除去 1戸	15戸増	16戸
	分譲マンション（設計） 3管理組合	3管理組合増	6管理組合
	分譲マンション（工事） 3管理組合	3管理組合増	6管理組合
	耐震シェルター 1戸	3戸増	4戸

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
下水道管の耐震化率	%	74	90
上水道管の耐震化率	%	42.7	45.4
高速道路のICから災害拠点病院を結ぶ区間の 無電柱化された道路延長	km	0	3.4

2-2

多様な主体の連携による防災力を高める

【関連する SDGs の目標】



避難所開設訓練

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
自主防災組織結成率	%	59.9	65.1

2-2-1

災害対応体制の強化

施策の展開

- 多様化、激甚化する災害に対応するためには、地域の防災力を支える行政の防災体制の強化を図る必要があります。
- そこで、災害発生時における緊急情報を、迅速かつ的確に市民に伝えるための新たな情報伝達の手段の検討を進めます。また、避難生活の向上を図るため、避難所のトイレ環境改善や非常用電源の整備を進めるとともに、防災備蓄品を適切に保管するための防災備蓄倉庫を整備し、備蓄品を計画的に更新するほか、被災者の状況に応じた避難先の確保を推進します。
- 災害からの早期復旧・早期復興に向けて、地震被害想定の見直しを行い防災・減災対策の最適化を図るとともに、市街地復興の計画を事前に策定するほか、道路や民地の境界を確定する地籍調査*や道路情報のデータ化及び一元化を推進します。また、緊急輸送道路への倒木等を早急に撤去するため、土木事務所の防災体制を強化します。
- 大規模災害発生時にも、迅速な救助活動を行うため、タブレット端末を活用した映像伝達による情報共有の体制を強化します。

計画事業

災害情報の発信強化

防災対策課

災害発生時における緊急情報を迅速かつ的確に市民に伝えるため、多様な緊急情報の伝達手段を確保します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
情報発信手段の普及啓発	ちばし安全・安心メール 多言語防災メール 電話・FAX 災害時緊急 情報配信サービスの 周知・啓発	継続	ちばし安全・安心メール 多言語防災メール 電話・FAX 災害時緊急 情報配信サービスの 周知・啓発
防災ラジオ等の新たな緊急 情報伝達手段の調査・検討	自治会、保育所等への 配布	調査・検討 制度設計	制度設計

避難所の環境整備		防災対策課、下水道整備課	
災害時における避難所の生活環境向上のため、マンホールトイレ*及び蓄電池を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
マンホールトイレの整備	160 か所	28 か所 公民館への設置検討	188 か所 公民館への設置検討
蓄電池の整備	—	51 か所	51 か所

防災備蓄品の更新体制構築		防災対策課	
避難所における防災備蓄品を適正な状態に保つため、適切かつ効率的な更新体制を構築します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
更新時期を迎えた備蓄品の利活用の推進	利活用先の開拓	継続	利活用先の開拓
更新時期を迎えた備蓄品の再配置計画策定等	—	計画策定等	計画策定等

防災備蓄倉庫の整備及び更新		防災対策課	
備蓄品を適正な状態に保つため、防災備蓄倉庫を整備するとともに、老朽化した倉庫を更新します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
防災備蓄倉庫の整備	291 棟	127 棟	418 棟
分散備蓄倉庫の更新	応急修繕	16 か所	16 か所

避難先の確保		防災対策課	
被災者の状況に応じた避難生活環境に対応するため、分散避難先の確保を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
車中泊避難先の確保	避難施設の新規確保	継続	避難施設の新規確保
ホテル避難先の確保			
ペット同行避難先の確保			
地域避難施設の制度推進	85 件	45 件増	130 件
帰宅困難者用一時滞在施設・備蓄品の整備	一時滞在施設の新規指定、備蓄品の配備・更新	継続	一時滞在施設の新規指定、備蓄品の配備・更新

地震被害想定調査の見直し（防災アセスメント調査）		危機管理課	
地域の実情に応じた地震防災・減災対策の基礎資料とするため、最新の知見等に基づき地震被害想定調査を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
防災アセスメント*調査の実施	—	調査実施、結果公表	調査実施、結果公表

市街地復興の事前準備の推進【新規】		都市安全課	
災害が発生した際、早期に復興まちづくりに着手するため、復興体制や復興手順等を明記した市街地事前復興計画を策定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
市街地事前復興計画の策定	—	策定	策定

地籍調査の推進		路政課	
被災後における道路や市民の財産を保全し、迅速なインフラ復旧を実現するため、地籍調査*を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地籍調査（美浜区）	—	測量 3.2 ㎥	測量 3.2 ㎥

道路管理システムの高度化		路政課	
適正に道路を管理するとともに、市民や事業者にとって利便性の高い情報提供を実現するため、道路情報のデータ化及び一元化を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地番図のデータ更新及び座標データ化	データ化（道路以外）	データ化（道路）	データ化（全域）
道路境界確定情報の電子化・一元管理	電子化 4 区	電子化 2 区	電子化 全 6 区

道路防災力の充実強化		土木管理課	
災害時緊急輸送道路等の啓開において燃料不足による作業の停滞を防ぎ、円滑な活動を可能とするため、各土木事務所への燃料備蓄庫の設置及び緊急輸送道路の沿線民有地の樹木伐採費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
土木事務所への燃料備蓄庫の設置	1 事務所	3 事務所	完了
道路沿い樹木伐採費用の助成	—	モデル実施 2 路線	モデル実施 2 路線

先端技術を用いた災害時の情報共有強化【新規】		警防課	
大規模災害時に迅速に対応し、被害を最小限にするため、防災用タブレット端末に、映像伝送により情報共有を行うアプリケーションを導入します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
映像伝送アプリケーションの導入	—	1 アカウント/署	1 アカウント/署

救助実施市の指定【新規】		危機管理課	
大規模災害発生時における円滑かつ迅速な復旧・復興を行う体制を整備するため、救助実施市*の指定を目指します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救助実施市の指定	—	指定	指定

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
マンホールトイレ*整備数	箇所	140	188

施策の展開

- 災害に強いまちをつくるためには、市民一人ひとりの防災意識と、地域における防災力の向上を図る必要があります。
- そこで、災害発生時の避難にあたり、支援が必要な高齢者や障害者の安全を確保するため、それぞれの状況に応じた避難計画の作成を進めます。
- また、防災をテーマとした講演会や研修会を開催するとともに、地域の住民や防災関係団体と連携した防災訓練を実施します。

計画事業

避難行動要支援者の支援体制強化

防災対策課

災害発生時における高齢者や障害者等の避難行動要支援者*の安全を確保するため、一人ひとりの状況に応じた個別避難計画の作成を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
個別避難計画の作成	モデル実施 134 件	本格実施 1,000 件	本格実施 1,000 件

稲毛区地域防災力の推進

稲毛区地域振興課

地域における防災力の向上のため、区民や地域防災組織を対象とした講習会・研修会を開催します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
講習会の開催	1 回/年	継続	1 回/年
研修会の開催	—	2 回/年	2 回/年
防災物品の貸出	2 団体/年	6 団体/年増	8 団体/年

緑区災害対応合同訓練

緑区地域振興課

地域における防災力の向上のため、地域住民・防災関係機関と連携した訓練を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
災害対応合同訓練の実施	1 回/年	継続	1 回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
避難所運営委員会*設置率	%	98.5	100
避難所運営委員会の女性委員率	%	28.9	35.0
防災ライセンス講座受講者数	人	1,371	1,771
個別避難計画作成数	件	34	1,134

【関連する SDGs の目標】



バイスタンダー育成

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
人口 1 万人当たりの建物火災の出火件数	件	1.4	1.5
心肺機能停止傷病者の救命率	%	11.1	15.7

2-3-1 消防力の充実・強化

施策の展開

- 近年、災害の大規模化・複雑化が進んでおり、今後も災害リスクの増大が見込まれています。
- そのような中でも、市民の命や財産を守るため、消防活動拠点である消防署の整備を進めるとともに、消防隊員の訓練環境を整えるほか、近隣自治体と共同で運用する、ちば消防共同指令センターの指令システムを更新し、機能強化を図ります。また、より効果的・効率的に消防・救急救助活動を行うため、消防救急デジタル無線機や関係機関の間での映像伝達により被災状況を把握する画像伝送システムの更新を行います。
- 迅速な消防・救急救助活動を行うため、消防ヘリコプターの機体等を計画的に更新します。
- 地域の防火・防災力を強化するため、市民一人ひとりの事情に応じて柔軟に消防団活動に参加していただけるよう、機能別消防団員*制度を導入するとともに、消防団が使用する器具置場の建替えや消防車両の更新を行います。

計画事業

消防署・所の整備（花見川消防署畑出張所の建替え）

施設課

地域における消防防災力の充実強化を図るため、消防活動拠点である消防庁舎の建替えを行います。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
花見川消防署出張所の建替	基本設計	実施設計 工事	工事

消防教育訓練環境の整備		消防学校	
消防職員の教育訓練環境を充実させるため、訓練資機材を更新します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救急高度シミュレーター*の更新	—	1器	1器
ちば消防共同指令センター指令システムの更新【新規】		指令課	
消防指令業務の安定的運用のため、指令システムの更新を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
指令システムの全体更新	—	更新	完了
消防救急デジタル無線機更新		指令課	
消防活動における情報伝達と隊員間の意思疎通を確実にを行うため、消防救急デジタル無線機の更新を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
無線機の更新	—	317機	完了
災害画像伝送システムの更新		指令課	
災害発災直後の被害把握及び関係機関への映像伝達を確実にを行うため、画像伝送システム（防災情報カメラ、多重無線設備、地球局設備*）の更新を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
防災情報カメラ更新	—	更新	完了
多重無線設備更新	—	更新	完了
地球局設備更新	—	更新	完了
航空消防防災体制の充実【新規】		航空課	
消防ヘリコプターの安全運航を確保するため、機体の更新を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
おおとり2号の機体更新	—	機体更新 資格取得 操縦士4人 整備士3人	完了
ヘリコプターテレビ電送システム地上設備更新	—	更新	完了
機能別消防団員制度の導入【新規】		消防局総務課	
消防団員の確保を図るため、仕事や家庭の都合などで全ての消防団活動への参加が難しい場合に、特定の消防団活動を行う機能別消防団員*制度を導入します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
機能別消防団員制度の導入	検討	導入	導入

消防団活動体制の充実		消防局総務課	
消防団の装備の充実強化を図るため、消防団器具置場の建替及び消防団車両の更新を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
器具置場の建替え	—	建築 3 棟 設計 3 棟	建築 3 棟 設計 3 棟
消防団車両の更新	3 台 (令和4年度事業量)	8 台	8 台

泡消火薬剤の整備		警防課	
高い消火性能を保有し、環境へ配慮した消火剤を導入するため、消防車両に積載する泡消火薬剤を更新します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新たな基準に適合した泡消火薬剤への更新	—	更新	完了

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
消防団員の充足率	%	84.9	85.0

2-3-2

救急需要への対応強化

施策の展開

- 本市の救急出動件数は増加が続いており、同時に救急隊の現場到着時間も伸び続けています。救急需要は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少に転じたものの、高齢化の進行に伴い今後も増え続けると見込まれており、対応できる体制を整備する必要があります。
- 傷病者の命を救うため、先端技術を活用し、救急搬送時の情報共有の強化を図ることで、効率的かつ効果的な救急業務を行う体制を整えるとともに、高度な救命知識・技術を持った救急救命士の養成を推進します。
- また、救急車が到着するまでに応急手当を実施することで救命率向上を図るため、市民を対象とした救命講習を実施し、バイスタンダー*の育成を推進します。

計画事業

ICTを活用した救急業務の推進		救急課	
傷病者を医療機関へ搬送するまでの時間を短縮し、救命率向上を図るため、ICT*を活用した効率的で効果的な救急情報システムに更新します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救急情報共有システムの更新	—	更新	完了
救急救命士の養成		救急課	
救命率向上を図るため、高度な知識及び技術を有する救急救命士を養成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救急救命士新規養成	4人/年	継続	4人/年
応急手当の普及啓発		救急課	
地域の自主救護能力を高め、救命率向上を図るため、救命講習を実施し、心肺蘇生をはじめとした応急手当を実践できるバイスタンダーを育成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救命講習の実施	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
救急隊の平均現場到着時間	分	9.4	9.4
心肺停止傷病者に対する市民による応急手当実施率	%	44.7	55.0

施策の展開

- 地震により発生する火災の出火原因においては、電気火災の占める割合が大きいことから、密集住宅市街地等での延焼拡大を防ぐため、地震の揺れを感知し電気を止める感震ブレーカー*の設置を推進します。

計画事業

感震ブレーカーの設置推進		予防課	
大規模地震時等における電気火災の発生や延焼を防止するため、密集住宅市街地等の特に危険性の高い地域に対して、感震ブレーカーの設置に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地元説明会等の実施	実施	継続	実施
感震ブレーカー設置費用の助成	要改善市街地 784世帯	密集住宅市街地 900世帯	密集住宅市街地 1,684世帯

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	
		令和3年度末	目標値 令和7年度末
住宅用火災警報器の設置率	%	83	90
感震ブレーカーの設置率	%	8.4	25.0

2-4

安全・安心な市民生活を守る

【関連する SDGs の目標】



通学路の安全対策

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
交通事故死傷者数	人	2,576 ^{※1}	2,200 ^{※2}
刑法犯認知件数	件	5,829 ^{※1}	5,100 ^{※2}

※1 令和 3 年末（2021 年末）時点

※2 令和 7 年末（2025 年末）時点

2-4-1 防犯対策の推進

施策の展開

- 市内の刑法犯認知件数は段階的に減少しており、平成 26 年から令和 3 年にかけて半減していますが、引き続き減少傾向を維持するため、さらなる防犯対策を推進する必要があります。
- 市民が身近な場所での安全・安心を実感できるよう、引き続き、防犯パトロール隊の活動を支援するとともに、町内自治会等が設置する防犯カメラへの助成や、主要な鉄道駅周辺等への防犯カメラの設置を進めます。また、市民の防犯意識向上を図るため、町内自治会等を対象とした、地域安全マップの普及啓発講座等を実施します。
- 中央区富士見地区及び J R 海浜幕張駅地区において、来街者の安全・安心な歩行環境を確保するため、「千葉市客引き行為等の防止に関する条例」に基づき、引き続き指導員による巡回指導を実施するとともに、千葉県警察や地域団体等と連携した、より効果的な客引き対策の検討を進めます。
- また、犯罪被害に遭われた方が被害から回復し再び平穏な日常生活を営むことが出来るよう、日常生活の支援等を行うとともに、犯罪被害者等支援に関する市民理解の醸成を図ります。

計画事業

市民主体の防犯活動促進		地域安全課	
地域の防犯力向上のため、防犯パトロール隊が継続的に活動できるよう、必要な物品を配布します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
防犯パトロール隊への物品支援	190 団体/年	継続	190 団体/年

防犯対策の強化		地域安全課	
地域の安全を確保するため、町内自治会等が設置する防犯カメラへの助成を行うとともに、J R 主要駅周辺等に防犯カメラを設置します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
自治会に対する防犯カメラ設置助成	184 台	150 台増	334 台
J R 主要駅周辺等への防犯カメラ設置	67 台	24 台増	91 台

地域安全に関する講座等の実施		地域安全課	
地域安全に関する市民意識の醸成のため、安全・安心メールを配信するとともに、町内自治会を対象とした、地域安全マップの普及啓発講座等を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地域安全マップ作成講座の実施	—	各区1講座実施	各区1講座実施
ちばし安全・安心メールの配信	実施	継続	実施

繁華街客引き対策		地域安全課、中央区地域振興課	
市民や来街者が安心して通行できる環境を確保するため、客引き行為等禁止区域（中央区富士見地区、JR海浜幕張駅地区）において、指導員による巡回及び指導を実施するとともに、中央区富士見地区における地域団体による自主パトロールを支援するほか、千葉県警察や地域団体等と連携した、より効果的な客引き対策を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
周知啓発	実施	継続	実施
指導員による指導の実施	実施	継続	実施
富士見地区における地域住民との合同パトロールの実施	2回/月	継続	2回/月
富士見地区における活動周知パネル展の開催	2回/年	継続	2回/年
より効果的な客引き対策の検討	検討	実施	実施

犯罪被害者等支援		地域安全課	
犯罪被害者を支援するため、条例を制定し市民理解を醸成するとともに、日常生活の支援等、それぞれの状況に応じた支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
犯罪被害者等の支援に関する条例制定	—	制定	制定
日常生活の支援	—	実施	実施
講演会の開催	—	2回/年	2回/年
犯罪被害者等遺児のプロスポーツの試合等への招待	—	5組/年	5組/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
市民が治安が良いと感じる割合	%	—	87
防犯カメラ設置支援台数	台	144	334

施策の展開

- 本市の交通事故死傷者数は逡減傾向にありますが、内訳を見ると、子どもや高齢者の減少幅は小さいことから、引き続き、道路交通環境の改善や、市民の交通安全意識の向上を図る必要があります。
- 市民が安全・安心に通行できる環境を整えるため、歩道の整備や踏切道の改良等を進めます。また、児童生徒の通園・通学時等の安全を確保するため、通学路における路肩のカラー化等を進めるとともに、保育園等の園児の園外活動時の安全対策を行うキッズガード*を配置するほか、主要な駅周辺にキッズゾーン*を整備します。
- 市民の交通ルールへの遵守やマナー向上を図るため、先端技術を活用しながら、中高生や高齢者等を対象とした交通安全教室等を実施します。

計画事業

歩道の整備		道路計画課	
歩行者の安全性を確保するため、歩きやすい歩道を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
調査・設計	2路線(令和4年度事業量)	9路線	9路線
用地取得	9路線(令和4年度事業量)	10路線	10路線
整備	9路線(令和4年度事業量)	12路線	12路線 (供用開始3路線)

踏切道の改良		道路計画課	
踏切道における歩行者等の安全性を確保するため、踏切道の改良を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
中広踏切(拡幅)	—	工事	完了
生浜踏切(拡幅)	—	工事	完了
第一鎌取踏切(拡幅)	—	調査・設計、工事	調査・設計、工事
八幡台踏切(待機所の整備)	—	工事	整備
土気踏切(周辺整備)	—	調査設計、用地取得	調査設計、用地取得

交通安全施設の充実		土木保全課	
道路利用者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図るため、通学路の路肩カラー化、防護柵等の設置などの交通安全対策を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
通学路の安全対策	路肩のカラー化 116km	30km	146km
	区画線・防護柵等設置	継続	区画線・防護柵等設置
安全施設の設置	整備	継続	整備
区画線引き直し	75km(令和4年度事業量)	225km	225km
駅前広場の改良	一部実施	工事(3か所)	工事(3か所)

保育園等の園外活動時の安全対策		幼保運営課	
保育園等に入所している園児の園外活動時の安全対策のため、キッズゾーン*整備（路面標示）や、キッズガード*（保育支援者）配置費用の助成を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
キッズゾーンの整備	J R 稲毛駅周辺 12 か所	主要駅 7 駅周辺 96 か所増	主要駅 8 駅周辺 108 か所
キッズガード配置費用の助成	18 園	50 園増	68 園

交通安全に関する普及啓発		地域安全課	
交通事故を防止するため、先端技術を活用した啓発等を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スケアード・ストレイト教育技法*による自転車交通安全教室の開催	3 校/年	2 校/年増	5 校/年
VR*ゴーグル等先端技術を活用した交通安全推進	—	調査・検討 実施	実施

バス停車帯の整備【再掲】		道路計画課	
バスの停車による交通阻害を解消するため、バス停車帯を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
バス停車帯の整備	—	3 か所	3 か所

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
自転車による交通事故死傷者数	人	597 ^{※1}	470 ^{※2}

※1 令和3年末（2021年末）時点

※2 令和7年末（2025年末）時点

2-4-3

消費生活の安定・向上

施策の展開

- 成年年齢引き下げによる消費者被害の若年化や、SNS*をきっかけとした消費者トラブルの増加など、近年、消費者問題は多様化・複雑化しています。
- そのような中でも、市民の消費生活の安定と向上を図るため、SNS等のインターネットを活用した情報発信や講座内容の充実により、幅広い層に向けた消費者教育を行うとともに、SNS等を活用した消費者相談の体制を整えます。

計画事業

消費者教育の推進

消費生活センター

消費生活の安定・向上を図るため、オンラインを活用して消費者向けの講座を開催するとともに、SNS等を活用し、消費生活に関する情報を発信します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
オンライン等による講座の開催	2回/年	10回/年増	12回/年
SNS等を活用した消費生活情報の発信	3回/年	9回/年増	12回/年

消費生活相談の充実

消費生活センター

利便性の向上を図るため、SNS等を活用し、消費生活相談の体制を整えます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
SNS等を活用した消費生活相談体制の構築	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
消費者教育に係る各種講座回数	回	126	135

分野3

健康・福祉



分野目標：みんながいきいきと、健やかに安心して暮らせるまちを実現します

政策体系

3-1 健やかに暮らせる社会を創る

- 3-1-1 健康づくりの促進
- 3-1-2 医療提供体制の充実
- 3-1-3 安全・安心な生活衛生環境の整備

3-2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

- 3-2-1 生きがいづくりと社会参加の促進
- 3-2-2 地域で安心して暮らせる環境の整備
- 3-2-3 認知症とともに生きる社会の構築
- 3-2-4 介護保険サービス提供体制の整備

3-3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

- 3-3-1 障害のある方への理解促進と社会参加の促進
- 3-3-2 地域で自立して暮らせる環境の整備
- 3-3-3 障害のある子どもとその家族への支援の充実
- 3-3-4 心の健康づくりへの相談・支援体制の充実

3-4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる

- 3-4-1 とともに支え合い、活力ある地域づくりの推進
- 3-4-2 包括的な支援体制の構築

3-1

健やかに暮らせる社会を創る

【関連する SDGs の目標】



新病院完成パース図

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
健康寿命*の延伸	年	健康寿命 男性 80.04*・女性 84.78* 平均寿命 男性 81.45*・女性 88.10*	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

※ 令和 2 年（2020 年）調査数値

3-1-1 健康づくりの促進

施策の展開

- 本市では、市民の健康の保持・増進を総合的・効果的に推進するため、平成 25 年度に健やか未来都市ちばプランを策定し、市民や行政、関係機関・団体等が一体となって健康づくりに取り組んでおりますが、令和 2 年（2020 年）の本市の平均寿命は、男性が 81.45 歳、女性が 88.10 歳と「人生 100 年時代」を迎える中、健康寿命の延伸が一層重要になっています。
- そこで、ウォーキングや食育*の推進などにより、幅広い世代の健康づくりを推進します。
- また、生涯を通じていきいきと活躍するため、フレイル*の恐れがある高齢者を対象に、介護予防教育等を行い、フレイルの高齢者に対してはリハビリによる機能回復等を支援します。
- さらに、がん検診・特定健康診査*の受診率向上に向けた取組みにより、市民が自身の健康状態を把握し、健康増進に向けた行動変容を促すとともに、がんや生活習慣病などの病気を早期に発見し、治療につなげることで、病気を患っても治療と社会参加の両立が図れるよう、ニーズを捉えた支援を行います。
- 加えて、喫煙、受動喫煙による健康被害低減のため、受動喫煙対策を推進するとともに、禁煙治療費用を助成します。

計画事業

次期健康増進計画の策定		健康推進課	
市民の健康づくりを総合的かつ計画的に推進するため、健やか未来都市ちばプランの次期計画を策定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
次期健康増進計画の策定	—	策定	策定
次期食育推進計画の策定		健康推進課	
市民が食の大切さを考え、行動することで健全な食生活を実現するため、次期食育推進計画を策定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
次期食育推進計画の策定	—	策定	策定

健康づくりの取組み支援		健康推進課	
市民の主体的かつ継続的な健康づくりを推進するため、個人の状況に応じ、健康づくりに取り組むことのできる環境を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新たな健康インセンティブ事業の検討	—	検討	検討

フレイル改善		健康推進課	
高齢者の健康寿命*延伸を図るため、リハビリ専門職による機能回復及び日常生活の活動を高める支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
個別機能訓練プログラムの実施	—	全区実施	全区実施

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施		健康推進課	
高齢者の健康寿命の延伸を図るため、各区に医療専門職を配置し、フレイル*の恐れがある後期高齢者に対して、疾病の重症化予防と心身機能低下予防のための保健指導及び生活機能改善のための介護予防教育への参加を促す取組みを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
医療専門職の拡充	2区配置	4区配置	全区配置

がん検診・特定健康診査*の受診率向上につながる環境づくり		健康支援課	
がん及び生活習慣病等の早期発見・重症化を予防するため、検診会場における子の見守りやウェアラブル端末を活用した特定保健指導等により、市民が受診しやすい環境をつくりまします。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
がん集団検診時の受診環境の充実（子どもの見守り）	4回/年	46回/年増	50回/年
ウェアラブル端末による特定保健指導	—	120人/年	120人/年
効果的な受診勧奨	実施	継続	実施

がん患者支援の充実		健康推進課	
がん患者の治療と社会参加の両立を図るため、当事者のニーズや課題を調査のうえ、必要な支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	取組項目	令和7年度末目標
新たながん患者支援の実施	—	調査・実施	調査・実施

受動喫煙対策の推進及び禁煙の支援		健康推進課	
喫煙、受動喫煙による健康被害を低減させるため、公共の場所や職場等における受動喫煙を防止するための対策を推進するとともに、禁煙に挑戦する市民に対する支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	取組項目	令和7年度末目標
市民に対する受動喫煙対策の周知・啓発	実施	継続	実施
施設等への巡回・指導	実施	継続	実施
禁煙の支援	実施	継続	実施

中央区若い世代からの生活習慣病予防		中央区健康課	
糖尿病等の生活習慣病を予防するため、就学時健診時などに配布する小冊子を作成し、普及啓発を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
啓発小冊子の作成・配布	区内 19 か所	1 か所増	区内 20 か所
健康教育の実施	区内小学校 10 校	9 校増	区内小学校 19 校

花見川糖尿病0プロジェクト（花見川けんこうウォーキング等の開催）		花見川区健康課	
区民の糖尿病等の生活習慣病を予防し、健康への関心を高めるため、花見川サイクリングロードを活用したウォーキングイベントを開催するとともに、健康づくりに関する普及啓発を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
花見川けんこうウォーキングの開催	—	1 回/年	1 回/年
啓発標語の募集	1 回/年	継続	1 回/年
花見川糖尿病0プロジェクトの普及・啓発	実施	継続	実施

稲毛区健康づくりウォーキング（稲毛健康ウォーキング等の開催）		稲毛区健康課	
区民の生活習慣病予防及び介護予防への意識向上を図るため、健康ウォーキングイベントを開催します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
健康づくりウォーキングの開催	1 回/年	継続	1 回/年

美浜ベジ・アクティブ宣言（若い世代からの野菜摂取等の促進）		美浜区健康課	
生活習慣病予防や健康づくりに取り組むきっかけをつくるため、小学生を対象としたクッキングレポートの募集や、野菜の摂取を軸とした健康づくりの情報提供を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
小学生を対象としたクッキングレポートの募集	1 回/年	継続	1 回/年

学校における食育の推進【再掲】		保健体育課	
広く市民に本市の学校給食や食育*の現状を知ってもらうため、地場農産物を使った学校給食の試食会を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学校給食の試食会の実施	6 回/年	継続	6 回/年

産婦健康診査費用の助成【再掲・新規】		健康支援課	
産婦の産後うつや早期発見や新生児への虐待予防等を図るため、産婦健康診査の費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
産婦健診の費用助成	—	15,000件	15,000件
産科医療機関・助産院の現地調査	関係機関への説明	産婦健診実施後アンケートの実施	産婦健診実施後アンケートの実施
周産期メンタルヘルス研修	産後うつ治療対応可能な医療機関との協議	実施	実施

乳幼児健康診査の拡充【再掲】		健康支援課	
弱視の早期発見と早期治療のため、3歳児健康診査において全対象者に対し、屈折検査*を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
視力検査及び屈折検査の実施	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	
		令和3年度末	目標値 令和7年度末
特定健康診査*実施率	%	31.6	40.0
特定保健指導実施率	%	15.6	38.0
がん検診受診率	%	54.8	60.0
低栄養（BMI18.5以下）の後期高齢者の割合の増加の抑制	%	8.50	8.49

3-1-2

医療提供体制の充実

施策の展開

- 本市ではこれまで、地域における必要な医療提供体制を確保するため、青葉病院・海浜病院それぞれにおいて特色ある医療の充実・強化を図ってきたところですが、市民の安全・安心を守るため、引き続き医療提供体制の充実に取り組んでいく必要があります。
- そこで、将来にわたって市民に安心で質の高い医療を提供し、市立病院に期待される機能や役割を果たしていくため、海浜病院に代わる新病院の整備に向けて取り組むとともに、市立病院の医療機器を更新します。
- また、市民が夜間・休日でも持続的に医療を受けられる環境を確保するため、医師の働き方改革等を踏まえつつ、持続可能な救急医療体制に向けた見直しを行います。

計画事業

新病院の整備		経営企画課	
市の西部地域において胎児から高齢者まで切れ目のない総合的な医療を提供するため、現海浜病院の機能を基盤とした新病院を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新病院の整備	実施設計、用地取得	実施設計・工事	実施設計完了・工事
新病院への交通アクセス環境の確保	—	バス事業者との意見交換	バス事業者との意見交換

市立病院の医療機器の更新		青葉・海浜病院事務局	
市民が必要とする安全・安心な医療を継続的に提供するため、市立病院の医療機器を更新します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
医療機器の更新（青葉病院）	超音波画像診断装置 等	全身用X線CT撮影装置、MRI装置等	全身用X線CT撮影装置、MRI装置等
医療機器の更新（海浜病院）	X線血管撮影装置 等	新生児・小児用人工呼吸器、大動脈バルーンパンピング装置 等	新生児・小児用人工呼吸器、大動脈バルーンパンピング装置 等

救急医療体制の見直し		医療政策課	
市民が夜間・休日でも持続的に適切な医療を受けられる環境を確保するため、医師の働き方改革等を踏まえつつ、救急医療体制を見直します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救急医療体制の見直し	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
入院が必要な患者の積極的な受入れ (両市立病院の新規入院患者数)	人	14,891	15,800

施策の展開

- これまでの新型コロナウイルス感染症に関する経験等を踏まえ、健康危機管理体制を強化するとともに、医療機関等と連携し、新たな感染症に備えた協力体制を構築します。
- また、本市では、人と動物が共生できる社会づくりに取り組んでおり、ボランティアの協力も得ながら、収容動物の譲渡などを行っています。今後も、継続的に動物愛護の周知・啓発に取り組むとともに、本市の動物行政のあり方を策定のうえ、動物保護指導センターの再整備やボランティアなど多様な主体との連携・協働を推進します。
- さらに、引き続き、平和公園の拡張整備や斎場周辺の環境整備に取り組むとともに、高齢化社会の到来に伴う市民の墓地需要に対応するため、老朽化した桜木霊堂を更新するとともに、斎場のあり方を検討します。

計画事業

健康危機管理体制の強化【新規】

医療政策課

新たな感染症から市民の生命・健康を守るため、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて新型インフルエンザ等対策行動計画を見直すとともに、医療機関等と感染症対応訓練を共同実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉県新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し	—	実施	実施
医療機関等との感染症対応訓練共同実施の再開	—	実施	実施

動物愛護の推進

生活衛生課

人と動物が共生できる社会づくりを推進するため、動物行政のあり方を検討するとともに、あり方を踏まえた動物保護指導センターの再整備に向けた検討を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
動物行政のあり方策定	検討	策定	策定
収容動物の馴化 ^{じゅんか} *環境整備	—	馴化部屋整備・ 馴化トレーニングの外部委託	馴化部屋整備・ 馴化トレーニングの外部委託
動物保護センターの再整備	—	基本計画策定	基本計画策定

斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備

生活衛生課

斎場及び平和公園周辺の良好な環境づくりのため、道路、親水広場及び公園緑地の整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
道路整備	3路線供用開始	道路整備 3路線	1路線供用開始
親水広場の整備	用地取得、設計等	実施設計・工事	工事
緑地の整備	用地境界立会測量	継続	用地境界立会測量

平和公園の拡張・整備		生活衛生課	
墓地を安定的に供給するため、平和公園を拡張・整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
墓園の整備	工事	工事・一部供給開始	工事・一部供給開始

桜木霊堂の更新【新規】		生活衛生課	
利用者の墓参環境を整備するため、老朽化した桜木霊堂を更新します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
納骨堂の建替	—	実施設計・工事等	建替完了

斎場のあり方検討【新規】		生活衛生課	
高齢化のさらなる進行に対応するため、今後の斎場のあり方について調査研究を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
調査・研究	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
適正飼養のための講習会等受講者数	人	68	300（延べ人数）

3-2

高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る

【関連する SDGs の目標】



あんしんケアセンター

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
介護・支援を必要としない高齢者の割合 (75歳以上85歳未満)	%	81.9	82.2
高齢者の有業率(65歳以上)	%	22.4*	25.7

※ 平成29年度(2017年度)調査数値

3-2-1

生きがいがづくりと社会参加の促進

施策の展開

- 本市の高齢者人口は、令和4年9月末時点で256,789人、高齢化率が26.3%となっており、今後も継続的な増加が見込まれます。市では、これまでも高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するため、生涯現役応援センターなどを通じて、様々な活動の場を提供するとともに、生涯学習活動の促進に取り組んできたところです。
- 今後、少子高齢化が一層進行する中においては、シニア世代もまちづくりの主体として、長年にわたり培ってきた知識・技能・経験を活かし、生きがいの充実や地域課題の解決に取り組める環境をつくることが重要です。
- そのため、引き続き高齢者がこれまで培った知識等を活かし、活躍できる機会の創出に取り組むとともに、生涯現役応援センターによる出張相談を拡充するなど、多くの方が相談しやすい環境を整えます。

計画事業

生涯現役応援センターの充実

高齢福祉課

高齢者の就労や地域活動など多様な社会参加ニーズに対応するため、情報提供・相談・紹介などを行うとともに、高齢者に適した就労・ボランティア等の活動先を新たに開拓します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
セミナーの開催	5回/年	1回/年増	6回/年
活動先の新規開拓	—	実施	実施
出張相談	100回/年	継続	100回/年

【重要業績評価指標 (KPI)】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
生涯現役応援センターにおける就労・ボランティア等のマッチング件数	件	131	136

施策の展開

- 本市では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるまちを目指し、あんしんケアセンターの拡充や、地域住民や地域団体による支え合い活動の促進に取り組んできたところです。
- 今後、高齢者人口の増加が見込まれる中においても、地域で安心して暮らし続けられるよう、引き続き高齢者人口の増加や分布に応じてあんしんケアセンターの専門職員を増員するなど体制強化を図るとともに、医療介護専門職による多職種連携を推進し、地域包括ケアシステム*の構築・強化を進めます。
- また、自宅で家族をケアしている介護者を支援するため、家族介護者に対する研修や訪問レッスンを充実し、介護に関する悩みの解消に取り組みます。
- さらに、高齢者の地域との交流機会などを確保するため、エレベーターのない団地等に入居する高齢者の移動手段を確保し、外出を支援します。
- 加えて、全ての高齢者が、本人が望む人生の最終段階を迎えられるように、市民への周知・啓発及び医療・介護専門職の育成に取り組みます。

計画事業

あんしんケアセンターの機能強化		地域包括ケア推進課	
地域における高齢者やその家族への相談支援体制の充実を図るため、地域包括ケアシステムの中心的役割を担う、あんしんケアセンターの体制を強化します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
専門職員の拡充	149人	16人増	165人
生活支援コーディネーターによる支援体制の強化		地域包括ケア推進課	
高齢者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、住民主体の通いの場等の地域資源を把握し、住民と共に地域づくりを行う生活支援コーディネーター*による支援体制を強化します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
生活支援コーディネーターの拡充	あんしんケアセンター 圏域配置（28人）	出張所への配置 （4人増）	出張所を含む全圏域 配置完了（32人）
在宅医療・介護連携の推進		在宅医療・介護連携支援センター	
医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくるため、切れ目のない医療・介護の相談支援体制を強化するとともに、人生の最終段階における医療に関する市民への普及啓発及び意思決定支援等に携わる専門職を育成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
在宅医療・介護連携支援センターの体制強化	コーディネーター2名 週5日開設 講演会等の開催支援 90件/年	コーディネーター1名増 講演会等の開催支援 20件/年増	コーディネーター3名 週6日開設 講演会等の開催支援 110件/年
ACP（意思決定支援）*の推進	シンポジウム2回/年 専門職向け研修会1回/年 リーフレット配布等	シンポジウム1回/年増 専門職向け研修会1回/年増 リーフレット配布等	シンポジウム3回/年 専門職向け研修会2回/年 リーフレット配布等

介護者支援の強化		高齢福祉課	
家族介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、介護に関する基礎的知識を学習する研修を開催するとともに、オンラインを活用した訪問レッスンや介護の悩みに関する相談受付を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
家族介護者向け研修	7回/年	1回/年増	8回/年
訪問レッスン	65回/年	5回/年増	70回/年
家族介護者向け相談窓口	実施	継続	実施

高齢者の身近な移動手段の確保		高齢福祉課	
エレベーターのない団地やアパートに居住する高齢者などの外出を支援するため、訪問介護事業者などの階段昇降機の導入及び維持管理に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
福祉有償運送事業者への助成	立上支援 運営支援 2団体/年	1団体/年 3団体/年増	立上支援 1団体/年 運営支援 5団体/年
訪問介護事業者等の階段昇降機導入等に対する助成	3団体	3団体増	6団体

フレイル改善【再掲】		健康推進課	
高齢者の健康寿命*延伸を図るため、リハビリ専門職による機能回復及び日常生活の活動を高める支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
個別機能訓練プログラムの実施	—	全区実施	全区実施

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施【再掲】		健康推進課	
高齢者の健康寿命の延伸を図るため、各区に医療専門職を配置し、フレイル*の恐れがある後期高齢者に対して、疾病の重症化予防と心身機能低下予防のための保健指導及び生活機能改善のための介護予防教育への参加を促す取組みを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
医療専門職の拡充	2区配置	4区配置	全区配置

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和4年度末	目標値 令和7年度末
あんしんケアセンター包括3職種*配置数	人	146	162

施策の展開

- 本市において、認知症の人は令和2年（2020年）時点で約24,000人と、65歳以上の高齢者の約11人に1人が認知症の人であり、団塊の世代が75歳以上となる令和7（2025）年には、認知症の人が約30,000人となる見込みです。
- 認知症になっても、本人やその家族が希望を持って暮らし続けられるよう、認知症への社会の理解を深め、認知症の人も社会の一員として活躍できる地域共生社会を目指します。
- 認知症の重症化を予防するため、認知症の疑いがある方を対象に「もの忘れチェック」を実施し、早期発見・早期対応につなげるとともに、医療福祉の専門職による認知症の人及びその家族への支援体制を強化します。

計画事業

認知症の人や家族への支援

地域包括ケア推進課

認知症の人や家族に対する支援の充実を図るため、医療機関との連携により、認知症の早期発見・早期対応の体制を整備するとともに、看護師・作業療法士などで構成する認知症初期集中支援チームの機能を強化します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
もの忘れチェック事業の実施	—	2,000件/年	2,000件/年
認知症初期集中支援チームの充実	—	人員体制の強化	人員体制の強化

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
認知症サポーター*数	人	82,830	113,570
認知症初期集中支援チーム支援者数	人	108	151

施策の展開

- 本市では、高齢化の進行に伴う要介護者の増加に対応するため、介護保険施設を計画的に整備するなど、介護保険サービスの充実に取り組んでいます。
- 今後も要介護者は継続的に増加することが見込まれることから、引き続き、特別養護老人ホームの整備や、老朽化した高齢者施設への修繕助成を行うなど、介護需要への対応に取り組めます。
- また、住み慣れた地域で暮らし続けたいというニーズに対応するため、（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備を進めます。
- さらに、安定した介護サービスを持続的に提供するため、引き続き介護人材の確保や定着支援に取り組むとともに、介護職員の負担を軽減するため、介護ロボットの普及促進を図ります。

計画事業

特別養護老人ホームの整備

介護保険事業課

介護が必要な高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームの整備に助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
特別養護老人ホームの整備	58か所	6か所増	64か所

養護・軽費老人ホーム大規模修繕への助成

介護保険事業課

利用者の利便性低下を防ぐため、老朽化した養護・軽費老人ホームの施設修繕に助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
施設修繕への助成	1施設/年	継続	1施設/年

（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備

介護保険事業課

介護の必要な高齢者が住み慣れた地域で安定した生活を営むことができるようにするため、（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備に助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
（看護）小規模多機能型居宅介護事業所の整備	20圏域	5圏域増	25圏域

介護人材の確保・定着の支援

介護保険管理課

介護人材不足を解消するため、学生等若い世代への周知・啓発や外国人人材の活用の検討を進めるとともに、介護職員としてのスキルアップ等に繋がる研修費用を助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
合同就職説明会等の実施	合同就職説明会2回/年・ 介護入門研修2回/年・ 外国人介護人材受入セミナー 1回/年	継続	合同就職説明会2回/年・ 介護入門研修2回/年・ 外国人介護人材受入セミナー 1回/年
外国人職員向け日本語教室	1回/年	継続	1回/年
学生向け人材確保の取組み検討	—	検討	検討
研修費用助成	100人/年 研修費用半額助成	10人/年増 研修費用全額助成	110人/年 研修費用全額助成
中堅職員向けキャリアアップ研修の開催	—	1回/年	1回/年

介護ロボットの普及促進		介護保険管理課	
介護職員の負担軽減のため、介護ロボットの普及に向けたセミナー等の周知・啓発を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
セミナー等の実施	1回/年	継続	1回/年
介護事業者と開発事業者の新たな連携方法の検討	—	検討	検討

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
小規模多機能型居宅介護サービス*その他の地域密着型サービスの利用者数	人	945	1,219
介護保険サービス事業所数	か所	3,207	3,351

3-3

障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る

【関連する SDGs の目標】



パラアスリート学校訪問

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
地域で生活するようになった障害のある人の数	人	28	33
障害のある人が市民に理解されていると感じる障害者の割合	%	25	30

3-3-1

障害のある方への理解促進と社会参加の促進

施策の展開

- 本市では、障害のある人もない人も一緒に活動できる共生社会の実現に向けて取り組んできたところですが、令和3年度に市民1万人を対象に実施したアンケートでは、「市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じますか」の設問に肯定的な回答が30.2%、否定的な回答が30.4%と否定的な回答をした方の割合が多い結果となりました。そのため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市としての経験を活かし、障害のある人への更なる理解促進と社会参加の促進に取り組んでいく必要があります。
- そこで、障害者や障害への理解を促進し、障害者への差別を解消するため、引き続き、市民への周知・啓発に取り組めます。
- また、障害者が自立して暮らすためだけでなく、達成感や生きがいを得られるよう、企業と障害者のマッチングによる雇用促進を図るとともに、農業体験を通じた農福連携*の推進など、多様な就業機会の確保に取り組めます。
- さらに、障害者を支える家族の悩みや不安を解消するため、家族介護者向けの支援を充実します。

計画事業

障害者への理解促進		障害者自立支援課	
障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を実現するため、講演会を開催し障害・障害者に対する理解を促進するとともに、障害者差別の解消に努めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
市民向け講演会の開催	1回/年	継続	1回/年

障害者雇用の促進		障害者自立支援課	
障害者の雇用を促進するため、実習事業の拡充や企業に対する研修会等の開催により、企業と障害者のマッチングを促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
実習事業によるマッチング促進	実習 10 件/年	実習 10 件/年増	実習 20 件/年
市内企業向け研修会等の開催	—	検討・実施	検討・実施

農福連携の推進		障害者自立支援課	
障害者の就労や生きがいがいづくりの場を生み出すため、農家等と障害福祉サービス事業所等のマッチングに係る支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
障害者の農業体験	—	3 回	3 回
障害福祉サービス事業所等に対する研修等の実施	検討・実施	継続	検討・実施
農福連携*に係る先進事例の調査・研究	—	実施	実施

障害者ケアラー等への支援		障害者自立支援課 精神保健福祉課 こころの健康センター	
在宅で障害者を介護する家族が、日常の介護での悩みや不安などを解消するため、障害者やその家族を支える民間団体を支援します。また、精神障害者の家族が、病気について理解するとともに、適切な対応について学ぶことで負担を軽減するため、講演会や研修会などを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
身体障害者団体への助成	7 件/年	継続	7 件/年
保護者団体への助成	6 件/年	継続	6 件/年
精神障害者家族会への助成	4 件/年	継続	4 件/年
精神障害者への接し方に関する家族向け講演会・学習会の実施	—	講演会等 2 回/年	講演会等 2 回/年
精神障害者家族向け研修会の実施	社会技能訓練 6 回/年	継続	社会技能訓練 6 回/年

パラスポーツの推進【再掲】		スポーツ振興課		
東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会のレガシー*として、パラスポーツ*を推進するため、パラスポーツを身近で体験・体感できる機会を創出するとともに、障害者が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。				
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標	
パラスポーツの体系的な推進	全体像構築	全体像に基づく体系的な推進	全体像に基づく体系的な推進	
普及・啓発	パラアスリート学校訪問	28 校/年	5 校/年増	33 校/年
	体験会	7 回/年	継続	7 回/年
	パラスポーツ貸出用具の整備	4 種	3 種増	7 種
障害者のスポーツ活動参加促進	教室開催	86 回/年	20 回/年増	106 回/年
	パラスポーツサポーター制度の創設	—	創設	創設

パラスポーツ交流を通じた地域活性化【再掲】		稲毛区地域振興課	
共生社会の形成と地域の活性化を推進するため、障害のある方もない方も、子どもから高齢者まで共に楽しみ交流できる障害者スポーツイベントを実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
ボッチャ*体験会	3 回/年	継続	3 回/年
稲毛区内 3 大学連携ボッチャカップ	1 回/年	継続	1 回/年
ボッチャ用具の貸出し	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
新たに就労した障害のある人の数	人	570	720
農福連携*のマッチング数	件	0	3

施策の展開

- 本市では、障害のある人もない人も一緒に活動できる共生社会の実現を目指し、一人ひとりに寄り添う相談体制の整備など、社会全体で障害のある人を支える体制の構築を進めてきたところですが、障害のある人やその家族の高齢化に伴い、親なき後の障害のある人の支援など、更なる相談支援体制の強化や関係機関同士の一層の連携強化が必要です。
- そこで、多様化する相談内容に的確に対応するため、障害者基幹相談支援センターの利便性向上を図り、障害のある人を地域全体で支える地域づくりに取り組みます。
- また、医療的ケアが必要な方など、重度の障害がある人も住み慣れた地域で継続して生活できるよう、重度障害者グループホーム等の整備費用を助成します。
- さらに、精神疾患を患う方が社会から孤立せず、地域の一員として安心して暮らすため、シンポジウム等を開催し、精神疾患に関する地域住民の理解促進を図ります。

計画事業

障害者基幹相談支援センターの充実

障害福祉サービス課

様々な障害種別や増大するニーズに対応できる相談支援を実施するため、障害者基幹相談支援センターの運営に係る費用を助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
運営助成	2か所/年	2か所/年増	4か所/年

重度障害者グループホーム等の整備促進

障害福祉サービス課

重度障害者が住み慣れた地域で継続して生活できるようにするため、グループホーム等の整備に助成します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
重度障害者グループホームの整備	定員 72人	36人増	定員 108人
重度障害者日中活動事業所の整備	定員 280人	60人増	定員 340人

精神障害者と住民がともに安心して暮らせる環境の整備

精神保健福祉課

精神障害者が地域の一員として安心して暮らすため、精神科医による講演や精神障害者による体験談、地域住民と各関係機関とのシンポジウムを引き続き開催します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地域住民への広報・啓発活動	4回/年	2回/年増	6回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
重度障害者受入障害福祉サービス事業所定員数	人	50	108

施策の展開

- 障害のある子どもの支援にあたっては、本人の最善の利益を考慮しながら、健やかな育成を支援するため、障害のある子どものライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、一人ひとりに合った切れ目のない支援を提供する体制を構築することが必要です。また、障害の中には、その特性上、周囲に気付かれにくいものもあるため、適切な時期に適切な療育を受けられるよう、障害の早期発見・早期療育体制を充実することも求められています。
- そこで、発達障害の早期発見と早期支援を図るため、総合相談窓口を開設し、子どもの成長に合わせた切れ目のない、一貫した支援体制を構築します。
- また、障害のある子どもを支える家族の悩みや不安を解消するため、家族介護者向けの支援を充実します。

計画事業

発達障害への支援の推進【新規】

障害者自立支援課、障害福祉サービス課

発達障害の早期発見・早期支援を図るため、療育体制と相談支援の充実を図ります。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
総合相談窓口の開設	—	開設	開設

医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備【再掲】

幼保運営課

医療的ケアが必要な子どもの保育ニーズに対応するため、看護師の配置を充実し、受け入れ体制を強化します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
看護師の拡充	6人	1人増	7人

特別支援教育の充実【再掲】

養護教育センター、教育支援課

障害のある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
特別支援教育指導員の拡充	44名	3名増	47名
学校訪問相談員の拡充	1,484時間	676時間増	2,160時間
心理判定員の配置時間拡充	54時間/週	9時間/週増	63時間/週
特別支援教育エリアコーディネーターの拡充	2区配置	4区増	全6区配置

介護者支援の強化【再掲】

高齢福祉課

家族介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、介護に関する基礎的知識を学習する研修を開催するとともに、オンラインを活用した訪問レッスンや介護の悩みに関する相談受付を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
家族介護者向け研修	7回/年	1回/年増	8回/年
訪問レッスン	65回/年	5回/年増	70回/年
家族介護者向け相談窓口	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
療育相談所における相談件数	件	625	625

施策の展開

- 本市の自殺者は令和元年以降減少していますが、依然として150人もの方が自ら命を絶っています（令和3年）。自殺に至る原因は様々な問題が複雑に関係しているといわれているため、悩みや不安を持つ方が安心して生きられるよう、専門性の高い相談支援体制を充実していく必要があります。
- そこで、相談体制の充実を図ることで、悩みを持つ方が相談するきっかけを増やすとともに、窓口職員の資質向上を図ることにより、機会を捉えて相談・支援する体制を強化します。
- また、平成30年度に内閣府が実施した調査では、ひきこもり状態になってから7年以上経過した方が約5割を占め、長期に及んでいる傾向が認められます。
- ひきこもりにより悩む本人や家族を支援するため、引き続き、出張相談等とともに家庭訪問や同行支援など、伴走型の支援を行います。

計画事業

自殺対策の推進		精神保健福祉課	
自殺に追い込まれようとしている人が、安心して生きていけるようにするため、自殺の防止等に関する啓発や相談体制の充実・強化を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
各種相談体制の充実 (電話・SNS*など)	実施	継続	実施
庁内向け研修(自殺対策相談 窓口会議)の実施	実施	継続	実施

ひきこもり相談支援体制の拡充		精神保健福祉課	
ひきこもり本人の社会参加及び自立を促進し、本人及び家族の福祉の増進を図るため、相談に応じた適切な助言や、家庭訪問及び同行支援等の継続的な伴走型支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
家庭訪問、同行支援、出張相談	実施	継続	実施
出張個別相談会(モデル実施)	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和4年度末	令和7年度末
ゲートキーパー*養成者数	人	22	118
ひきこもり地域支援センター等の相談機関に相談している割合	%	18.1	40.0

3-4

住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる

【関連する SDGs の目標】



朗読活動ボランティア

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
地域福祉活動の参加状況（地域福祉活動に参加したことがある人の割合）	%	29.1	40.0

3-4-1

ともに支え合い、活力ある地域づくりの推進

施策の展開

- 近年、少子高齢化・核家族化の進行、価値観の多様化、共働き世帯・働く高齢者の増加などにより、地縁・血縁で支え合う機能が低下し、人と人とのつながりの希薄化が進んでいるとされています。その一方で、個々が抱える生活課題は複雑化・多様化し、複合的な課題を抱える世帯が顕在化、増加していることから、市民が世代や分野を超えてつながり、支え合う地域共生社会を構築することが必要になっています。
- そこで、地域を支える人材や団体などとの連携を一層強化し、地域が主体となって課題を解決する力を高めるため、コミュニティソーシャルワーク機能を強化します。

計画事業

コミュニティソーシャルワーク機能の強化		地域福祉課	
地域で様々な困りごとを抱える方やその家族を支援するとともに、地域が主体となって課題を解決する力を高めるため、千葉市社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー*の資質向上を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
要支援者に対する個別支援及び地域課題解決に向けた地域支援の実施	実施	継続	実施
コミュニティソーシャルワーカーの養成	研修会の実施	継続	研修会の実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
社会福祉協議会ボランティア登録者数	人	6,144	7,024
地域活動・ボランティア活動率 (ちばし地域づくり大学校)	%	70.97	80

施策の展開

- 8050 問題*やダブルケア*、ヤングケアラー*など、地域住民の抱える生活課題は複雑化・複合化しています。そのような中においても誰一人取り残さない社会を実現するためには、属性や世代を問わず、あらゆる相談を受け止め、適切な支援につなげる体制を構築する必要があります。
- そのため、新たな相談窓口を設置するとともに、家庭訪問や同行支援のほか、要支援者を社会とつなげる支援などを行います。
- また、生活に困窮している人が生活を立て直す支援をするため、SNS*による相談受付を行うなど、自立相談支援体制を強化します。

計画事業

重層的・包括的支援体制の構築【新規】

地域福祉課

置かれた状況や年齢を問わず、各種相談を包括的に受け止め、適切な支援につなげるため、ひとりぼっちにしない、断らない相談・支援体制を構築します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
新たな相談窓口の設置	—	設置	設置
家庭訪問及び同行支援	—	実施	実施
要支援者の社会参加支援	—	実施	実施

自立相談支援体制の強化

保護課

生活困窮者からの相談に対する包括的な相談支援体制を構築するため、新たに SNS を活用し、相談しやすさの向上を図ります。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
SNS を活用した相談体制の充実	—	実施	実施

生活保護受給世帯等に対する学習・生活支援【再掲】

保護課

家庭環境によって学びが左右されない環境を整えるため、生活保護受給世帯等の子どもに対する学習及び生活支援を拡充します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
生活保護受給世帯等の学力向上等支援	中学生 2・3 年生対象	中学生 1 年生への学習意欲の喚起	中学生全学年への支援強化

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
生活自立・仕事相談センター相談数	件	37.1	28.4
新たな相談窓口相談件数	件	—	600



分野4

子ども・教育

分野目標：夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く 子どもたちが育つ
つまちを実現します

政策体系

4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る

- 4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実
- 4-1-2 子育てしやすい保育環境の充実
- 4-1-3 困難な状況にある子どもや家庭への支援の充実
- 4-1-4 児童虐待防止対策の強化
- 4-1-5 障害のある子どもとその家族への支援の充実（再掲）

4-2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

- 4-2-1 未来につながる学びの充実
- 4-2-2 学びを支える教育環境の充実
- 4-2-3 学校生活支援の充実
- 4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実
- 4-2-5 子ども・若者が社会で考え、行動する力の育成

4-1 子どもを産み・育てやすい環境を創る

【関連する SDGs の目標】



保育所での保育の様子

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
市合計特殊出生率*	—	1.21	1.27
6歳未満の子どもがいる子育て世帯の数	世帯	31,208	30,900

4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実

施策の展開

- 本市の年少人口（15歳未満）は今後継続的に減少し、2030年には、2020年比で1万1,800人の減少が見込まれています。未来の社会・地域を担う人材が徐々に減っていくことは、地域社会における魅力や活力の低下につながります。
- そこで、子どもを望む人が、安心して産み育てられる環境をつくるため、産婦の心と体の健康を守るための産婦健診費用の助成等を行うとともに、不妊検査費用の助成等を行います。
- また、子育て世帯の医療費負担を軽減するため、家庭環境や医療機関の利用頻度に応じた助成の拡充及び調剤費の保護者負担の見直しとともに、乳幼児の弱視を早期に発見・治療するため、3歳児健康診査に屈折検査*を導入します。
- さらに、男性の子育てへの関わりを促進するため、市内企業における男性の育児休業取得を奨励するとともに、育児に関する講座・イベント等を実施し、父親同士の交流の機会を提供します。

計画事業

産婦健康診査費用の助成【新規】		健康支援課	
産婦の産後うつや早期発見や新生児への虐待予防等を図るため、産婦健康診査の費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
産婦健診の費用助成	—	15,000件	15,000件
産科医療機関・助産院の 実地調査	関係機関への説明	産婦健診実施後 アンケートの実施	産婦健診実施後 アンケートの実施
周産期メンタルヘルス研修	産後うつ治療対応可能 医療機関との協議	実施	実施

不妊症に対する支援		健康支援課	
子どもを望む夫婦やカップルが早期に必要な治療を開始できるようにするため、若い世代 ^{にんようせい} に妊孕性に関する知識の普及・啓発を行うとともに、不妊検査に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
不妊検査の実態調査	—	市内産婦人科への周知 不妊検査体制の確立	市内産婦人科への周知 不妊検査体制の確立
不妊検査費用助成	アンケート実施	1,200件	1,200件
若い世代に対する妊孕性*に関する知識の周知・啓発	実施	継続	実施

子ども医療費助成の拡充		こども企画課	
子どもの保健の向上と子育て支援の充実を図るため、持病等で通院する回数が多い子どもや長期入院を要する子どものいる世帯及び多子世帯の医療費助成を拡充するとともに、調剤に係る保護者負担を見直します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
保護者負担金額への月額上限の導入	—	実施	実施
多子世帯の保護者負担額軽減	—	実施	実施
調剤の保護者負担廃止	—	実施	実施

乳幼児健康診査の拡充		健康支援課	
弱視の早期発見と早期治療のため、3歳児健康診査において全対象者に対し、屈折検査*を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
視力検査及び屈折検査の実施	—	実施	実施

男性の子育て支援		幼保支援課	
男性の子育てを支援するため、男性の育児休業の取得に向けた奨励金の支給や育児に関する講座・イベントを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
男性の育児休業取得促進奨励金	5件/年	継続	5件/年
男性の育児に関する講座・イベントの開催	プレパパママ講座 12回/年 パパスクール 4回/年	継続	プレパパママ講座 12回/年 パパスクール 4回/年
イクメンハンドブックの作成	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
EPDS*の実施率	%	—	93
妊娠後期面接の実施率	%	24	50

施策の展開

- 本市では、保育園等の待機児童ゼロを令和2年度から3年連続で達成していますが、施設の老朽化、地域的な保育需要の増加、保育ニーズの多様化など、保育を取り巻く様々な課題に対応することが必要です。
- そこで、良好な保育環境を確保するため、公立保育所の建替え・改修を進めるとともに、民間保育園等の整備や改築・改修を支援します。また、幼稚園の認定こども園への移行や民間事業所内への保育施設の整備等を支援するとともに、一時預かりや休日保育の実施施設を拡充するなど、地域の実情や多様化する保護者のニーズに応じた保育の選択肢の拡充を図るほか、看護師の配置を充実することで、日常的に医療的ケアが必要な子どもの受入環境を整備します。
- さらに、在宅で子育てをしている世帯を支援するため、エンゼルヘルパー*及びファミリー・サポート・センター*の利用料負担の軽減を図ります。

計画事業

保育施設の建替え・改修

幼保支援課

良好な保育環境を確保するため、老朽化した施設の建替え、大規模改修を行います。

取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
公立保育所の建替え	建替え(民営化)	3か所	6か所増	9か所
	建替え(公立)	—	1か所	1か所
	統廃合	—	1か所	1か所
民間保育園等改築(改修)の助成	改築	2か所	3か所増	5か所
	大規模修繕	—	2か所	2か所

ニーズに応じた保育の受け皿の確保

幼保支援課

潜在的な保育需要に対応し、将来にわたって待機児童ゼロを達成するため、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、認定こども園への移行支援等による保育の受け皿を確保します。

取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
認定こども園への移行支援		42か所	13か所増	55か所
認可外保育施設の認可化移行支援		—	7か所	7か所
小規模保育事業の開設支援		58か所	4か所増	62か所
事業所内保育事業の認可支援		15か所	3か所増	18か所
民間保育園の整備		170か所	14か所増	184か所
開園前及び開園後の賃借料補助	開園前 実施		3件	3件
	開園後 実施		6件	6件

多様な需要に対応した保育の充実

幼保支援課、幼保運営課

多様化する保育ニーズに対応するため、一時預かりや休日保育などを実施する施設を拡充します。

取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
一時預かりの拡充		74か所	3か所増	77か所
休日保育の拡充		9か所	1か所増	10か所
病児・病後児保育		10か所	2か所増	12か所

教育・保育人材の確保及び質の向上		幼保運営課	
教育・保育人材を確保するとともに、質を向上させるため、保育士の処遇改善に向けた支援や、巡回指導員の拡充等を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
保育士等給与の改善	3,176人	129人	3,305人
宿舎借上げ助成	513人	30人	543人
外国人児童・保護者対応職員 の拡充	3人	3人増	6人
巡回指導員の拡充	15人	1人増	16人

医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備		幼保運営課	
医療的ケアが必要な子どもの保育ニーズに対応するため、看護師の配置を充実し、受け入れ体制を強化します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
看護師の拡充	6人	1人増	7人

在宅子育て家庭への支援		幼保支援課	
在宅の子育て世帯への支援のため、多胎児のいる家庭等のエンゼルヘルパー*派遣及びファミリー・サポート・センター*の利用料について、負担の軽減を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
エンゼルヘルパー派遣の 利用料減額	—	実施	実施
ファミリー・サポート・センター の利用料助成	—	実施	実施

男性保育士の活躍推進		幼保支援課、幼保運営課	
男性がより積極的に育児にかかわる機運を醸成するとともに、保育の質の向上及び子どもたちの健全な成長を促進するため、公立保育所において、男性保育士等が働きやすい執務環境を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
男性保育士の執務環境整備	トイレ整備 45か所	トイレ整備 5か所	トイレ整備 50か所
男性保育士の登用	男性保育所長 1人 男性総括主任保育士 5人	男性保育所長 2人増 男性総括主任保育士 3人増	男性保育所長 3人 男性総括主任保育士 8人

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
保育所待機児童数	人	0	0
子育て支援コンシェルジュ*相談件数	件	11,047	15,500

施策の展開

- 少子高齢化や核家族化、また共働き世帯の増加等、子育て世帯を取り巻く環境が変化する中、家庭環境や経済的な状況等、子ども達が置かれた環境に左右されることなく、健やかに、夢や希望を持って成長できる環境をつくる必要があります。
- そこで、子どもをひとりの人間として尊重し、地域社会全体で子どもの健全な育成を見守る社会をつくるため、こども基本条例を制定し市民意識の醸成を図るとともに、子どもに関する施策の総合的な推進体制を整備します。
- また、ヤングケアラー*を支援するため、支援を要する子どもを速やかに発見し、適切な相談・支援機関につなぐことができる体制を構築するとともに、ヤングケアラーに関する認知度と支援技術の向上を図るため、関係機関を対象とした研修等を実施します。
- さらに、経済的な貧困等、困難な状態におかれた子どもの生活習慣を改善し、学習環境を整えるため、包括的な支援を行う子どもナビゲーター*の配置を拡充するとともに、生活保護受給世帯等への学習支援を実施します。

計画事業

こども基本条例の制定【新規】		こども企画課	
こどもが健やかに成長できるまちにするため、市の責務や保護者や地域住民等の努力などのほか、こどもの権利をはじめとするこども施策の基本となる事項を規定するこども基本条例を制定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
条例の制定	—	こどもを対象としたワークショップ開催 シンポジウム開催 リーフレットの配布 条例の制定	こどもを対象としたワークショップ開催 シンポジウム開催 リーフレットの配布 条例の制定
ヤングケアラー支援体制の強化【新規】		こども家庭支援課	
ヤングケアラーを早期に発見し、支援につなげるため、ヤングケアラーに関する認知度向上を図るとともに、関係機関と連携し支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
連携支援体制 (支援コーディネート機能)の構築	—	実施	実施
児童生徒の認知度向上事業	—	児童生徒向け啓発 パンフレット作成	児童生徒向け啓発 パンフレット配布
関係機関職員向け研修	3回/年	継続	3回/年
子どもの貧困対策の総合コーディネート		こども家庭支援課	
困難な状況におかれた子どもの生活習慣や生活環境の改善、関係機関との連携など包括的な支援を行うため、子どもナビゲーターを各区に配置します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
子どもナビゲーターの配置	5区	1区増	全区配置

生活保護受給世帯等に対する学習・生活支援		保護課	
家庭環境によって学びが左右されない環境を整えるため、生活保護受給世帯等の子どもに対する学習及び生活支援を拡充します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
生活保護受給世帯等の 学力向上等支援	中学生2・3年生対象	中学生1年生への 学習意欲の喚起	中学生全学年への支援強化

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
子ども・若者総合相談センターの機関連携件数	件	712	1,200

4-1-4

児童虐待防止対策の強化

施策の展開

- 本市における児童虐待対応件数は増加し続けており、また、案件の複雑化・困難化が進んでいます。このような中で、虐待を早期に発見し、的確かつ迅速に対応するためには、市全体の虐待対応体制の強化を図る必要があります。
- 児童相談所の体制を強化するため、新たな児童相談所の整備を進めるとともに、子どもや妊産婦の福祉に関する相談対応や調査指導など支援を行い、虐待の防止につなげる子ども家庭総合支援拠点*を整備し、児童相談所との連携のもと、虐待への対応を強化します。

計画事業

新児童相談所の整備【新規】

東部児童相談所

児童虐待の増加、複雑・困難化に対応するため、新たな児童相談所を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新たな児童相談所の整備	基本計画策定	基本設計、実施設計 工事	基本設計、実施設計 工事

子ども家庭総合支援拠点の整備

こども家庭支援課

子どもとその家庭、妊産婦等に対する支援の充実を図るため、各区に子ども家庭総合支援拠点を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
子ども家庭総合支援拠点の設置・運営	中央区に設置	全区設置	全区で運用

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
子ども家庭総合支援拠点における3職種配置数	人	—	40
里親登録数	件	98	160

施策の展開

- 障害のある子どもの支援にあたっては、本人の最善の利益を考慮しながら、健やかな育成を支援するため、障害のある子どものライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、一人ひとりに合った切れ目のない支援を提供する体制を構築することが必要です。また、障害の中には、その特性上、周囲に気付かれにくいものもあるため、適切な時期に適切な療育を受けられるよう、障害の早期発見・早期療育体制を充実することも求められています。
- そこで、発達障害の早期発見と早期支援を図るため、総合相談窓口を開設し、子どもの成長に合わせた切れ目のない、一貫した支援体制を構築します。
- また、障害のある子どもを支える家族の悩みや不安を解消するため、家族介護者向けの支援を充実します。

計画事業

発達障害への支援の推進【再掲・新規】

障害者自立支援課、障害福祉サービス課

発達障害の早期発見・早期支援を図るため、療育体制と相談支援の充実を図ります。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
総合相談窓口の開設	—	開設	開設

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
療育相談所における相談件数	件	625	625

4-2

自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

【関連する SDGs の目標】



ICT 端末を活用した授業の様子

【基本目標】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和 3 年度末	令和 7 年度末
全国学力・学習状況調査における全国平均正答率の比較（市立小・中学校）	ポイント	小学・国語 0	小学・国語 1.0
		小学・算数 1.0	小学・算数 1.0
		中学・国語 1.0	中学・国語 1.0
		中学・数学 1.0	中学・数学 1.0

4-2-1

未来につながる学びの充実

施策の展開

- 本市では、平成 28 年度に第 2 次学校教育推進計画を策定し、「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」の育成に向けて、様々な施策に取り組んできたところですが、少子高齢化や ICT*を含むテクノロジーの進展など、子どもたちを取り巻く社会環境は変化が著しく、将来の予測が困難な状況にあります。その中においても、子どもたちが次代を切り拓いていくためには、子どもたちが将来に夢や希望を持ち、主体性をもって困難な課題に取り組む姿勢を養う必要があります。
- そこで、子どもたちの興味・関心を引き出し、自分の進路や将来を主体的に考える力を育成するため、民間企業による出前講座などのキャリア教育*を推進するとともに、他者を思いやり、尊重する豊かな心を育むため、通常学級と特別支援学級との交流などによる「インクルーシブ教育システム*」の構築を推進します。
- また、デジタル技術の活用による教育の充実を図るため、GIGA スクール構想*に基づく取組みを一層推進するとともに、指導者用デジタル教科書*の導入・活用を推進します。
- さらに、地域の理解のもとで学校教育における食育*を推進するため、学校給食の試食会を行います。
- 加えて、市立高校において、生徒から選ばれる魅力ある学校づくりを行うため、それぞれの学校が持つ特色を更に磨き上げる取組みを実施します。

計画事業

キャリア教育の推進		教育改革推進課	
児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促すため、企業等との連携により出前授業をはじめとした職業体験学習を推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
キャリア教育推進連携会議の開催	2 回/年	継続	2 回/年
副読本の改訂	実施	継続	実施
企業等による出前授業	実施	継続	実施

インクルーシブ教育システムの推進		教育支援課	
共生社会を実現するため、通常学級と特別支援学級との交流など、「交流及び共同学習」を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学校内交流	20回/年	15回/年増	35回/年
学校間交流	3回/年	2回/年増	5回/年
居住地校交流*	40回/年	50回/年増	90回/年

体験学習等を通じた非認知能力の向上		教育指導課	
児童生徒の非認知能力を向上させるため、集団宿泊学習や自然体験活動などの多様で豊かな体験活動の充実を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
校外体験学習の充実	実施	継続	実施

ICT教育の推進		教育指導課 教育改革推進課 教育センター	
GIGAスクール構想*の実現に向けてICT*教育を推進するため、教職員及び児童生徒への必要な支援を行うとともに、校内ネットワーク環境や指導者用デジタル教科書*を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
CABINET*の更新	—	更新・運用開始	更新・運用開始
指導者用デジタル教科書の導入・活用	実施	継続	実施
学校ICT支援	実施	継続	実施

地域資源の活用などによる郷土教育の充実		教育指導課	
児童生徒が自分たちの暮らす郷土に誇りや愛着を持てるようにするため、地域資源を扱うなど、副読本を改定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
副読本の改訂	実施	継続	実施
千葉開府900年*に向けた機運醸成	実施	継続	実施

学校における食育の推進		保健体育課	
広く市民に本市の学校給食や食育*の現状を知ってもらうため、地場農産物を使った学校給食の試食会を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学校給食の試食会の実施	6回/年	継続	6回/年

市立高等学校教育の充実		教育改革推進課	
魅力ある学校づくりのため、千葉高校においてスーパーサイエンスハイスクール*事業の着実な実施を図るとともに、稲毛高校において稲毛国際中等教育学校への移行を進めつつ、稲毛高校・附属中学校の教育資産を継承し、グローバル・リーダーを育成するため、6年間一貫した教育活動を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スーパーサイエンスハイスクールの推進（千葉高校）	実施	継続	実施
グローバル・リーダー育成の推進（稲毛高校）	実施	継続	実施

学校教育における文化芸術にふれる機会の充実【再掲】		教育指導課	
文化芸術を愛好する情操などを涵養し、豊かな心と感性を育てるため、中学校において伝統音楽や声楽、器楽合奏の鑑賞及び体験活動を通して音楽文化への理解を深めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
音楽芸術体験教室の実施	26校	2校増	28校

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
読書の習慣のある児童の割合	%	小学3年生 47.5 小学5年生 42.4 中学2年生 41.5	小学3年生 51.0 小学5年生 46.0 中学2年生 45.5
市図書館における1人あたりの貸出図書冊数	冊	4.2	4.3
「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT*機器を、週3回以上使っている」と答えた児童生徒の割合	%	—	小学6年生 80.0 中学3年生 80.0
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小学6年生 80.2 中学3年生 65.4	小学6年生 82.0 中学3年生 68.0

施策の展開

- 本市はこれまで、国に先駆けて少人数学級や少人数指導の実現や、専科指導の充実を進めてきたところですが、今後は、更なる教育の質の向上に向けた教職員の資質・指導力の向上と、教職員の働き方改革の両立を図ることが重要です。特に、意欲と資質の高い教員を確保するためにも、教員が真に必要な業務に専念することができる環境の構築に取り組む必要があります。
- そこで、引き続き、少人数学級・少人数指導の推進や専科指導や部活動指導員等の充実に取り組むとともに、教員が主体的に自身のキャリアステージや時代の変化に応じた資質・能力を身に付けることができるよう支援します。
- また、子どもたちの健やかな成長のため、学校、家庭、地域が一体となり、「地域とともにある学校づくり」に向けて、学校と地域の連携・協働体制の充実に取り組むとともに、地域における児童生徒数に応じて適切な教育環境と教育の質が確保できるよう、小学校の新設を含め、学校規模の適正化や適正配置を推進します。
- さらに、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方に学びの機会を保障するため、公立夜間中学を開校します。
- 加えて、児童生徒の教育環境の向上を図るため、令和4年度に開校した稲毛国際中等教育学校の全面的な改造工事やトイレの改修など、老朽化が進行した学校施設の計画的な保全に取り組むとともに、学校給食施設の適切な衛生管理及び給食従事者の作業環境を整えるため、給食室へ冷暖房設備を整備します。

計画事業

少人数学級・少人数指導の推進

教育職員課

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を可能とするため、少人数学級・少人数指導を推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学級編制基準の見直し	小学校1～3年生 35人学級 小学校4～6年生 38人学級	小学校4～6年生 35人学級	小学校全学年 35人学級
教員配置の見直し	—	見直し	見直し

教職員の働き方改革

教育職員課

教職員が心身の健康を保持しながら児童生徒と向き合うことで教育の質を向上させるため、学校における教職員の働き方改革を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
専科指導教員の拡充	64名	15名増	79名
専科非常勤講師の拡充	100名 (うち、英語専科0名)	27名増 (うち、英語専科20名)	127名 (うち、英語専科20名)
部活動指導員等の拡充	55名	15名増	70名
部活動指導員 民間指導者	50名	15名増	65名
教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置見直し	—	見直し	見直し

教職員の資質・指導力の向上		教育センター	
教職員の資質・能力の向上を図るため、教員等育成指標に基づき研修体系の見直しを行うとともに、研修受講履歴の管理・運用による教職員の適切な研修受講を促進するため、記録システムを導入します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
教職員の研修受講履歴記録システムの導入	—	導入・運用	導入・運用

学校と地域の連携・協働体制の充実		学事課	
学校教育の充実や地域コミュニティの活性化を図るため、学校支援地域本部の設置を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学校支援地域本部の設置	65校	30校増	95校

学校適正規模・適正配置の推進		教育委員会企画課	
児童生徒のより良い教育環境を整備し、教育の質を充実させるため、学校適正配置を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学校適正配置のあり方検討	—	検討	検討

小学校の新設（幕張新都心若葉住宅地区）		学校施設課	
幕張新都心若葉住宅地区の宅地開発に伴う児童の増加に対応するため、小学校を新設し、良好な教育環境を確保します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
小学校の新設	基本設計	実施設計・建築工事	完了

公立夜間中学の運営【新規】		教育委員会企画課	
様々な事情により、十分な教育を受けられなかった者の学び直しを支援するため、公立夜間中学を開校します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
公立夜間中学の開校・運営	—	開校・運営	開校・運営

稲毛国際中等教育学校の改修		学校施設課	
老朽化が進んだ学校施設の安全性を確保するため、全面的な大規模改造工事を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
大規模改造工事	実施設計	改修工事	完了
グラウンド整備	—	実施設計	実施設計

学校施設の環境整備		学校施設課		
学校施設の長寿命化を図り、学びの環境を整えるため、計画的な保全を行うとともに、施設環境・機能を改善するための改修工事を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
大規模改造	小学校	17校	4校	21校
	中学校	4校	3校	7校
外部改修	小学校	44校	10校	54校
	中学校	15校	9校	24校
	特別支援学校	3校	—	3校
トイレ改修	小学校	43校	30校	73校
	中学校	28校	13校	41校
	特別支援学校	2校	1校	3校
トイレの 洋便器化	小学校	—	8校	8校
	中学校	—	4校	4校
	高等学校	—	1校	1校
小学校の給食室エアコン整備		54校	53校	107校

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
学校支援地域本部支援件数	件	242	1,260
勤務時間を除く在校等の時間が月平均45時間を超えない教職員の割合	%	52	100

施策の展開

- 本市ではこれまでも、様々な悩みや課題を抱えた児童生徒への支援を行ってきましたが、社会経済情勢の変化により、子どもや家庭の抱える課題は、一層複雑化しており、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい対応が必要です。
- そこで、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、成長に合わせた切れ目のない支援を行うため、特別支援教育指導員による学校生活サポートを充実するほか、訪問相談員を拡充し、様々な教育的ニーズがある児童生徒を支援できるよう学校体制を構築するとともに、多様化・複雑化する相談内容に迅速に対応するため、養護教育センターに必要な相談体制を整えます。
- また、本市の不登校児童生徒数は小・中学校ともに増加しており、喫緊の課題となっています。そのため、スクールカウンセラー*など専門の相談員を拡充するなど、不登校児童生徒が安心して登校できる環境をつくるとともに、不登校児童生徒それぞれの実態に応じた学びの場を確保するため、ライトポート*の充実やフリースクール*との連携強化を進めます。
- 加えて、教職員がいじめに関する正しい理解を得るとともに、いじめ発生時における支援強化のため、教職員を対象とした研修会を行います。
- さらに、基礎学力の向上を図るため、学習習慣の確立に向けたオンラインによる学習支援事業を行うとともに、外国人児童生徒等に対する日本語指導通級教室を拡充します。

計画事業

特別支援教育の充実

養護教育センター、教育支援課

障害のある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
特別支援教育指導員の拡充	44名	3名増	47名
学校訪問相談員の拡充	1,484時間	676時間増	2,160時間
心理判定員の配置時間拡充	54時間/週	9時間/週増	63時間/週
特別支援教育エリアコーディネーターの拡充	2区配置	4区増	全6区配置

養護教育センターの整備【新規】

養護教育センター

増加傾向にある多様化・複雑化する相談に対して迅速かつ的確に対応するとともに、学校支援の充実を図るため、養護教育センターを移転・整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
養護教育センターの新設	—	設計・工事	設計・工事

不登校対策の推進		教育支援課、教育センター	
不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、各種相談員の配置を拡充するとともに、千葉県教育支援センター「ライトポート*」における小学生専用教室の整備や、フリースクール*との連携強化などにより、学校以外の居場所を確保します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
小学生向けライトポートの拡充	3区	3区増	全6区設置
家庭訪問カウンセラー、来所相談カウンセラーの拡充	2名	6名増	8名
児童支援員の配置	—	10名配置	10名配置
教育相談コーディネーターの配置	—	2名配置	2名配置
スクールカウンセラー*の拡充	79名	21名増	100名
フリースクールとの連携事業の拡充	1件	1件増	2件

いじめ防止対策の推進		教育支援課	
児童生徒が安心して学ぶことができる環境を整備するため、子どもの権利やいじめに対して教職員が適切に対応できるよう研修会等を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
いじめ対応研修会の開催	2回/年	3回/年増	5回/年
学校要請訪問の充実	30回/年	9回/年増	39回/年

スクールソーシャルワーカーの拡充		教育支援課	
困難な状況にある児童生徒一人ひとりに対して的確に支援するため、スクールソーシャルワーカー*の配置を拡充します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スクールソーシャルワーカーの拡充	12人	2人増	14人

学習習慣の確立に向けた支援の充実		教育指導課	
学力定着に向けて児童生徒の学習習慣の確立を図るため、市内全区においてオンラインによる教育課程外の学習支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学習支援事業	2地区	4地区増	6地区

外国人児童生徒等への支援体制の充実		教育指導課	
外国人児童生徒などの日本語習得を支援するため、中学生を対象とした日本語指導通級教室のサテライト教室を花見川区に開設します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
日本語指導通級教室の拡充	本教室 2か所	サテライト教室 1か所増	本教室 2か所 サテライト教室 1か所

幼児教育の推進		幼保支援課	
幼児教育と小学校教育とのつながりを強化するとともに、幼児教育の質の向上を図るため、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の教職員同士の連携強化を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
情報交換会の開催	1回/年	1回/年増	2回/年

ひきこもり相談支援体制の拡充【再掲】		精神保健福祉課	
ひきこもり本人の社会参加及び自立を促進し、本人及び家族の福祉の増進を図るため、相談に応じた適切な助言や、家庭訪問及び同行支援等の継続的な伴走型支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
家庭訪問、同行支援、出張相談	実施	継続	実施
出張個別相談会（モデル実施）の 実施	—	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
スクールカウンセラー*相談件数	件	51,774	73,800
ソーシャルワーカー対応事案数	件	206	280
学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない 不登校児童生徒の割合	%	42.3	14.0
いじめ解消率	%	60.0	70.0

施策の展開

- 本市では、保護者の仕事と子育ての両立支援及び放課後に子どもが安全・安心に過ごせる環境の整備に取り組んでおり、子どもルーム（放課後児童クラブ）の待機児童数は減少傾向にありますが、依然として待機児童が生じている状況にあります。
- 特に、小学校の夏季休業期間などを中心に子どもルームの利用希望者が増える傾向にあることから、引き続き、需要が高い地域に的を絞った施設整備や夏季休業期間中の受け入れ枠拡大などに取り組みます。
- 今後は、保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営するアフタースクール*を原則として全小学校に導入することを目指して、子どもルーム及び放課後子ども教室からアフタースクールへの移行を進めます。
- また、ギガタブ*を活用した宿題・自主学习への対応を可能とするため、子どもルーム・アフタースクールにおける Wi-Fi 環境の整備を行います。
- さらに、放課後に限らない地域における子どもの居場所を確保するため、どこでもこどもカフェやプレーパーク*等の身近で自由に過ごせる場所を拡充するとともに、見守りを行うボランティアの養成に引き続き取り組みます。

計画事業

子どもルームの充実		健全育成課	
仕事と子育ての両立支援と放課後児童の健全育成を図るため、子どもルームの増設や保育の質の向上に向けた指導員研修を実施するとともに、民設子どもルームの利用促進を図ります。併せて、小学校におけるギガタブを活用した学習に対応するため、公設子どもルームの Wi-Fi 環境を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
子どもルームの新設	—	3 か所	3 か所
教室改修	—	6 か所	6 か所
夏季休業中の受入枠拡充	3 施設/年	6 施設	9 施設
民設子どもルーム指導員研修の実施	1 回/年	1 回/年増	2 回/年
公設子どもルームの Wi-Fi 環境整備	—	93 か所	93 か所

アフタースクールの充実		生涯学習振興課	
希望するすべての児童に安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営するアフタースクールの導入を進めるとともに、アフタースクールの導入が当面困難な学校や、導入までに一定以上の期間を要する学校においても、体験・活動の機会の充実を図るほか、ギガタブを活用した宿題・自主学习に対応するため、Wi-Fi 環境を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
アフタースクールの導入	24 校	30 校増	54 校
放課後子ども教室の活動支援	17 校	3 校増	20 校
放課後子ども教室の民間委託	—	3 校	3 校
Wi-Fi 環境整備	—	20 か所	20 か所

子どもの居場所づくり		こども企画課	
子どもが安全・安心に過ごせ、健やかに成長できるようにするため、学校でも家庭でもない、地域において信頼できる大人が見守る子どもの居場所を拡充します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
子どもの居場所の拡充	26か所	6か所増	32か所
子どもの居場所サポーター*養成講座	1回/年	継続	1回/年
子どものSOS支援員*養成講座	1回/年	継続	1回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
子どもルーム待機児童数	人	83	0
アフタースクール*導入率	%	18.4	55.7
中学校区における子どもの居場所の整備率	%	35.2	50

施策の展開

- 令和3年度の全国学力・学習状況調査によると、「地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合は、小学生6年生が52.8%に対して中学3年生が38.3%となっており、年齢が上がるにつれて割合が低下しています。
- そのため、社会の一員としてのこどもの自覚を促し、将来の地域や社会の担い手として成長できるよう、こども・若者のカワークショップや職員による出張授業などを通じて地域の課題について学ぶ機会をつくとともに、こども・若者フォーラムの開催により情報発信を行い、こどもの参画を推進します。

計画事業

こどもの参画の推進		こども企画課	
社会の一員としてのこどもの自覚と自立を促進するため、こども・若者を対象とした社会参画の取組みを実施するとともに、取組み内容の情報発信を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
こども・若者のカワークショップの開催	12回/年	継続	12回/年
こども・若者市役所の開催	12回/年	継続	12回/年
こどものまちCBT*の開催	1回/年	継続	1回/年
小・中学校へのお出張授業等の実施	6校/年	3校/年増	9校/年
こども・若者フォーラム	1回/年	継続	1回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
こどもの参画事業参加人数	人	904	2,385



分野5

地域社会

分野目標：多様性を力に、みんなでまちづくりを進める地域社会を実現します

政策体系

5-1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る

5-1-1 多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進

5-1-2 多文化共生社会の実現

5-2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める

5-2-1 持続可能な市民主体のまちづくりの推進

5-2-2 生涯学習を通じた地域活動の推進

5-1

誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る

【関連する SDGs の目標】



姉妹都市交流（高校生による通訳ボランティア）

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
「男性は仕事、女性は家事・育児」といった固定的性別役割分担意識を持たない人の割合	%	39.7	67.0
外国人と日本人の互いの生活習慣や文化などへの理解が進んでいると思う人の割合	%	41.0	45.0
障害のある人が市民に理解されていると感じる障害者の割合（再掲）	%	25.0	30.0

5-1-1

多様性を活かしたインクルーシブなまちづくりの推進

施策の展開

- 社会が成熟し、多様化していく中においては、年齢・性別・国籍・障害の有無などに関わらず、市民一人ひとりが、それぞれの違いを認め、個性を活かし、自分らしく活躍できる社会をつくること、より重要となってきています。
- すべての市民が、個人として尊重され、地域社会を構成する一員として、社会・経済・文化芸術など幅広い分野で活躍できるまちをつくるため、多様性を活かしたまちづくりに関する理念を示す条例の制定等により市民・職員の意識を醸成し、分野横断的に多様性を活かしたまちづくりを推進します。また、LGBT*への理解促進に向けた取組みや、障害がある人もない人も一緒に遊べる場所の整備を推進します。
- 男女共同参画を一層推進するため、男女共同参画センターの機能を強化するとともに、市内企業における女性活躍を促すための取組みや、次世代の女性リーダー育成に向けたセミナー等を実施します。

計画事業

多様性を活かしたまちづくりの推進		男女共同参画課	
多様性を活かし、一人ひとりが自分らしく幅広い分野で活躍できるまちをつくるため、条例を制定するとともに、職員に研修を実施し、市民及び職員の意識を醸成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
多様性を活かしたまちづくりに関する市民・職員の意識醸成	—	条例の制定及び 周知・啓発 職員研修の実施	条例の制定及び 周知・啓発 職員研修の実施

LGBTへの理解促進		男女共同参画課	
多様な性のあり方についての理解を深めるため、パートナーシップ宣誓制度*を充実させるとともに、当事者の交流の場を提供します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
パートナーシップ宣誓制度の充実	民間事業者の制度活用、都市間連携、ファミリーシップ制度*の検討	民間事業者の活用場面・都市間連携の拡充 ファミリーシップ制度の実施	民間事業者の活用場面・都市間連携の拡充 ファミリーシップ制度の実施
交流・居場所づくり	—	設置	設置

だれもが遊べる広場づくり【新規】		公園管理課	
インクルーシブ*なまちづくりを推進するため、公園において、障害があってもなくても共に遊べる広場を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
広場の整備	調査・協議	モデル整備 1か所	モデル整備 1か所

固定的な性別役割分担意識の解消及び女性活躍の推進		男女共同参画課	
性別による固定観念にとらわれることなく活躍できるまちをつくるため、男女共同参画センターの機能を強化するとともに、事業者に女性活躍推進のためのアドバイザーを派遣するほか、次世代の女性リーダーを育成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
男女共同参画センターの機能強化	管理運営	機能強化の実施	機能強化の実施
民間事業者と連携した女性活躍の推進	アドバイザー派遣 5回/社（10社）	アドバイザー派遣 継続	アドバイザー派遣 5回/社（10社）
次代を担う女性リーダーの育成	—	女性向けセミナー 1回/年 受講者間のネットワーク形成支援 受講者フォローアップ	女性向けセミナー 1回/年 受講者間のネットワーク形成支援 受講者フォローアップ

デジタルを活用した平和啓発の推進【新規】		市民総務課	
戦争の悲惨さと平和の尊さについて市民の理解を醸成するため、インターネット上にデジタル平和資料館を開設します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
デジタル平和資料館の開設	—	開設	開設

男性の子育て支援【再掲】		幼保支援課	
男性の子育てを支援するため、男性の育児休業の取得に向けた奨励金の支給や育児に関する講座・イベントを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
男性の育児休業取得促進奨励金	5件/年	継続	5件/年
男性の育児に関する講座・イベントの開催	プレパパママ講座 12回/年 パパスクール 4回/年	継続	プレパパママ講座 12回/年 パパスクール 4回/年
イクメンハンドブックの作成	実施	継続	実施

男性保育士の活躍推進【再掲】		幼保支援課、幼保運営課	
男性がより積極的に育児にかかわる機運を醸成するとともに、保育の質の向上及び子どもたちの健全な成長を促進するため、公立保育所において、男性保育士等が働きやすい執務環境を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
男性保育士の執務環境整備	トイレ整備 45か所	トイレ整備 5か所	トイレ整備 50か所
男性保育士の登用	男性保育所長 1人 男性総括主任保育士 5人	男性保育所長 2人増 男性総括主任保育士 3人増	男性保育所長 3人 男性総括主任保育士 8人

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
女性有業率（25歳から44歳）	%	71.5*	73.5
えるぼし認定を受けた市内企業数	社	20	33
学校や職場内の人々が、LGBT*だった場合、これまでと変わりなく接することができると思う人の割合	%	56.6	70.0

※ 平成29年度（2017年度）調査数値

施策の展開

- 千葉市の外国人住民数は継続的に増加してきており、令和4年11月時点で約3万1,000人となっています。また、その在留資格も多様化しており、就労目的をはじめ、留学、家族滞在等の外国人住民数が増加しています。
- 日本人と外国人がお互いの立場を尊重し、相互理解を深めることで、外国人市民が多様な分野で活躍できるまちをつくるため、外国人市民の日常生活における利便性向上や、日本人市民の意識醸成に取り組みます。

計画事業

外国人市民への生活支援

国際交流課

外国人市民の利便性向上を図るため、千葉市の多文化共生のあり方を定める計画を改訂するとともに、行政手続の多言語化を推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
行政手続フォーマットの翻訳	—	実施	実施
多文化共生まちづくり推進アクションプランの改訂	—	改訂	改訂

市民の国際感覚醸成と国際理解促進

国際交流課

市民の国際感覚醸成と国際理解を促進するため、姉妹・友好都市等との発展的な関係を築くとともに、地域における多文化交流を図ります。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
姉妹・友好都市との交流・連携	受入(サッカー交流) 1回	派遣(サッカー交流) 2回	派遣(サッカー交流) 2回
		受入(サッカー交流他) 2回	受入(サッカー交流他) 2回
		国際会議出席 1回	国際会議出席 1回
日本人市民と外国人市民の交流促進	—	市民団体等への補助制度創設	市民団体等への補助制度運用

【重要業績評価指標 (KPI)】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
外国人からの総相談件数	件	1,190	1,447
コミュニティ通訳・翻訳サポーターの登録者数	人	0	200

5-2

多様な主体の連携によるまちづくりを進める

【関連する SDGs の目標】



公民館実施講座

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
チーム千葉ボランティアネットワーク*によるボランティア募集数	件	18	90
チーム千葉ボランティアネットワーク登録者数	人	1,983	2,400

5-2-1

持続可能な市民主体のまちづくりの推進

施策の展開

- 高齢化の進行に伴い、地域の担い手不足が深刻化する中、地域コミュニティの機能を維持していくためには、市民をはじめとした多様な主体に、「ジブンゴト*」としてまちづくりに参画してもらえ、持続可能なまちづくりの体制を構築していく必要があります。
- 区役所が主体となり地域活動の支援を行う「地域支援プラットフォーム*」を構築し、複雑多様化する地域課題を解決するため、多様な主体間の連携強化に向けた交流会や研修会等を開催するとともに、主体同士のマッチング等を実施するほか、地域における様々な情報を集約化します。また、引き続き、各区におけるまちづくり活動団体を支援します。
- 町内自治会の活動を持続可能なものとするため、デジタル化*を促進し、運営の効率化や現役世代等の若年層の参画を図るとともに、引き続き、地域運営委員会*の設置や活動を支援します。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー*の一つである、ボランティア文化の継承・発展を図るため、市内のボランティア情報を集約し発信することで、初心者、経験者ともに参加しやすい環境づくりを推進します。
- 市民のニーズや知見を市政に反映するため、引き続き、市民参加による市民シンクタンクを運営するとともに、市長と市民の対話会等を実施します。
- 多様化・複雑化する市民ニーズに柔軟に対応するため、民間事業者からの提案を積極的に活用しながら、市民サービスの向上や行政課題の解決に向けた取組みを進めます。

計画事業

区役所を中心とした地域支援プラットフォームの構築【新規】

市民自治推進課
区政推進課

住民同士の助け合い・支え合いにより地域の課題を解決し、地域運営を持続可能なものとするため、区役所が主体となって地域活動の支援を行う「地域支援プラットフォーム」の構築に向けた取組みを進めます。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
地域支援 プラットフォームの構築	プラットフォームの構築	全区実施	全区実施
	情報交換会・交流会	3 回/年	3 回/年
	研修会	3 回/年	3 回/年

多様な主体の連携による市民主体のまちづくり推進		市民自治推進課	
住民同士の助け合い・支え合いにより地域の課題を解決し、地域運営を持続可能なものとするため、地域担当職員の配置の見直しにより地域との連携強化を図ることで、地域の実情に合った支援を行うとともに、交流会を開催し、地域で活動する団体間の連携や交流を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地域担当職員の配置の見直し	地域運営委員会*設置 地区に配置（18地区）	全地区に配置 （50地区）	全地区に配置 （50地区）
地域団体間のマッチング	検討	6件	6件

町内自治会のデジタル化推進【新規】		市民自治推進課		
地域活動の活性化・効率化や若年層などの参画を促すため、町内自治会活動のデジタル化*を支援します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
デジタル化 支援	調査・検討	出前講座	6か所/年	6か所/年
		研修	1回/年	1回/年
		地域の実情に応じた コンサルティング	モデル実施 3か所	モデル実施 3か所
		機器等導入費 助成	24件	24件
		アドバイザー派遣	6件	6件

地域運営委員会の設置促進及び活動支援		市民自治推進課	
住民同士の助け合い・支え合いにより地域の課題を解決し、地域運営を持続可能なものとするため、地域運営委員会の設立を促進するとともに、活動を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
地域運営委員会の設置促進	18地区	4地区増	22地区

集会所建設等費用の助成		市民自治推進課	
町内自治会活動等の振興を図るため、地域活動の拠点となる町内自治会集会所の建設・修繕等に対し助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
補助金交付（建替・修繕等）	実施	継続	実施

ボランティアに関する情報ネットワークの充実		市民自治推進課	
ボランティア文化の継承・発展を図り、市民自治の基盤を強化するため、ボランティアに関する情報ネットワークを充実します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
チーム千葉ボランティア ネットワークの充実	情報発信、体験会、 研修会の実施	ニーズを踏まえた情報発信、 体験会、研修会の改善	ニーズを踏まえた情報発信、 体験会、研修会の改善

市民参加による政策形成		政策企画課	
市民の知見を活かしたまちづくりを推進するため、市民が研究員となり政策提言を取りまとめ、その実現に向け自ら参画していく、市民シンクタンクを運営します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
まちづくり未来研究所の運営	実施	継続	実施

市民との対話の充実			広報広聴課	
市政に対する市民等の意見を聴取し、施策に反映していくため、市長と語ろう会及びティーミーティングを実施します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
市長と語ろう会	一般	継続	12回/年	
	オンライン		2回/年	
	地域団体		8回/年	
ティーミーティング	15回/年		15回/年	

公民共創の推進			政策調整課	
市民サービスの向上や行政課題を解決するため、民間提案制度の積極的な活用を促進し、民間事業者のノウハウ等を活かした取組みを実施します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
提案募集の拡充	検討	実施	実施	
提案者へのインセンティブ制度の導入	検討	導入	導入	

ちばレポ（My City Report）による市民協働の推進			広報広聴課	
市民との協働による地域課題の解決に取り組むため、ちばレポ（My City Report）*を運用します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
ちばレポ（My City Report）の運用	運用	継続	運用	
ちばレポ教室の開催	4回/年	継続	4回/年	
テーマレポート*の実施	6回/年	継続	6回/年	

地域ポイント制度の導入			政策調整課	
市民が行う公益活動や健康維持・増進の取組みを促進するため、利便性の高い地域ポイント制度を構築します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
導入に向けた実証実験の実施	実証実験の実施	アプリ導入 ポイント交換先の拡充	アプリ導入 ポイント交換先の拡充	

ちばし地域づくり大学校の運営			高齢福祉課	
地域共生社会の実現に向けて、地域活動の担い手不足を解消するため、地域福祉活動・ボランティア活動に参加する人材やリーダーとして活躍できる人材の育成を目指し、ちばし地域づくり大学校を運営します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
入門コース	20人 11回/年	継続	20人 11回/年	
基礎コース	20人 14回/年 2クラス	継続	20人 14回/年 2クラス	
ステップアップコース	30人 14回/年	継続	30人 14回/年	

ふるさと意識の醸成と美浜区への愛着の向上を図るため、地域団体や高校生と共に海辺を活用したイベント等を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
イベントの開催	2回/年	継続	2回/年
プロジェクトチームの構成	2団体	3団体増	5団体

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
ちばレポ*のこまったレポート数	件/年	2,458	3,200
地域運営委員会*設置地区数	地区	18	22
千葉市民活動支援センター登録団体数	団体	777	820

施策の展開

- 市民が生涯にわたり豊かな人生を送ることができるようにするためには、生きがいに繋がる学びの機会を確保することが必要です。また、地域の担い手が不足する中においては、生きがいに止まらず、学びの成果を地域社会にも生かしていけるような取組みが必要です。
- 公民館の持つ機能を最大限に活用するため、社会教育主事*有資格者の配置を推進し、講座を充実するとともに、相談支援体制の充実をモデル的に実施します。
- 科学への興味関心を高めるため、設備の更新等により科学館の魅力向上を図ります。

計画事業

公民館の機能拡充		生涯学習振興課	
地域の社会教育活動の活性化を図るため、公民館における社会教育主事有資格者の配置やオンラインを活用した主催講座の充実を図ります。あわせて、公民館をより身近な地域活動拠点にするため、地域課題の解決に資する講座を開催するとともに、その成果が地域に還元される仕組みづくりを検討します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
社会教育主事有資格者の配置	29人	9人増	38人
オンラインを活用した講座の充実	46講座	54講座増	100講座
現代的課題解決学習講座の充実	全講座に占める現代的課題学習講座の割合 約33%	18%増	全講座に占める現代的課題学習講座の割合 約51%
相談支援体制の充実	—	モデル実施 中核公民館2館 効果検証	モデル実施 中核公民館2館 効果検証
千城台南小跡施設の活用（千城台公民館・若葉図書館の再整備）【新規】		生涯学習振興課	
地域の活動拠点の利便性向上を図るため、老朽化した千城台公民館及び若葉図書館の一体的な再整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千城台公民館・若葉図書館の再整備	検討	基本計画、基本設計 実施設計	実施設計
科学館の充実		生涯学習振興課	
科学に関する知識の普及啓発や想像力の育成を図るため、プラネタリウムの設備を更新するとともに、リニューアルした展示により市民の科学技術への興味を深め、来館を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
プラネタリウム機器の更新	—	機器更新 プログラムの充実	機器更新 プログラムの充実
オンラインを活用したリニューアル展示等の紹介	コンテンツ数 12本	9本増	コンテンツ数 21本
ワークショップの充実	一部実施	実施	実施
AR*を活用した展示の導入	—	導入	導入

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
千葉県科学館入場者数	人	301,302	480,000
公民館稼働率	%	39.0	52.0
生涯学習センター稼働率	%	47.7	62.0



分野6 文化芸術・ スポーツ

分野目標：市民の文化芸術・スポーツ活動が広がる、創造性豊かなまちを実現します

政策体系

6－1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る

6-1-1 文化芸術活動の創出と支援

6-1-2 文化財の保全・活用

6－2 スポーツに親しむ環境を創る

6-2-1 市民スポーツ活動の促進・支援

6-2-2 スポーツを核とした地域の活性化

6-1

文化芸術が生まれ、広がる環境を創る

【関連する SDGs の目標】



千の葉の芸術祭（生態系へのジャックイン展）

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
市内文化施設の年間イベント件数 (市民会館・文化センター・文化ホールに おける文化系イベントの開催数)	件	1,130	1,288

6-1-1

文化芸術活動の創出と支援

施策の展開

- 成熟社会において、人々の価値観が物質的な充足から内面的な充足を重視する方向に変化する中、身近に、文化芸術を鑑賞し、自ら創作活動に参加できる環境をつくる必要があります。
- 市民が多様な文化芸術に触れ、また自身が発表できる機会を提供するため、市民会館を千葉市の文化芸術の中心施設として再整備します。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会と合わせて、千葉市で初めて開催した「千の葉の芸術祭」を発展させ、定期開催するとともに、まちづくりに文化芸術を取り入れる取組みを実施するほか、大規模音楽イベント等と連携し、多様な文化芸術活動にふれあう機会を創出します。
- 子どもの音楽文化への理解を深めるとともに情操を養うため、中学校において音楽鑑賞や体験活動を実施するとともに、市美術館の豊富な収蔵作品の鑑賞の機会を広げるため、作品をデジタル化*し、積極的な発信・活用を進めます。
- また、次世代を担うアーティストを育成支援するため、発表や活動の機会を提供し、次世代を担うアーティストを育成支援するとともに、市民が多様な価値観に触れる機会を創出します。

計画事業

新市民会館の整備【新規】

文化振興課

市民の多様な文化芸術のニーズに対応するため、千葉市の文化芸術の中心施設となる市民会館を再整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新市民会館の再整備	基本設計	工事	工事

千の葉の芸術祭の定期開催【新規】

文化振興課

令和3年に開催した芸術祭を継続することで本市の文化芸術の振興に大きな役割を果たすため、芸術祭を定期開催します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
芸術祭の開催	基本構想作成	開催	開催

文化芸術と連携したまちづくりの推進【新規】		文化振興課	
文化芸術と連携したまちづくりを推進するため、まちの活性化にも寄与する文化芸術事業を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
まちづくり推進のための文化芸術事業の実施	検討	実施 効果検証	実施 効果検証
民間主催大型イベントと連携した支援の実施	実施	継続	実施

学校教育における文化芸術にふれる機会の充実		教育指導課	
文化芸術を愛好する情操などを涵養し、豊かな心と感性を育てるため、中学校において伝統音楽や声楽、器楽合奏の鑑賞及び体験活動を通して音楽文化への理解を深めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
音楽芸術体験教室の実施	26校	2校増	28校

美術作品のデジタル化推進		文化振興課	
市美術館の魅力を市内外に発信するため、所蔵作品をデジタル化*し、ホームページで公開するとともに、様々な機会を捉えて活用します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
作品のデジタル化推進	デジタル化 2,000 作品	デジタル化 6,000 作品増	デジタル化 8,000 作品

文化芸術交流による緑区の魅力発信		緑区地域振興課	
文化や芸術を通して地域の魅力を再発見するとともに、地域の交流や活性化を推進するため、音楽イベント「まちカフェライブ」の開催を支援するとともに、絵画コンクールを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
まちカフェライブの開催支援	実施	継続	実施
絵画コンクールの実施	実施	継続	実施

次世代を担うアーティストの育成支援【新規】		文化振興課	
次世代を担うアーティストを育成するため、発表や活動の機会を提供します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
発表・活動の場の提供	検討	実施	実施
周知の充実	検討	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
文化施設（市民会館・文化センター・文化ホール）利用者数	人	178,709	768,000
千葉県美術館利用者数	人	143,443	200,000
市立中学校における芸術鑑賞体験教室の参加者数	人	6,456	7,000
体験・創造ワークショップ（小学生対象）の参加者数 ^{※1}	人	92 ^{※1}	120

※1 令和4年度末実績値

施策の展開

- 千葉市は、貝塚では日本初の特別史跡*となる加曽利貝塚をはじめとして、多数の文化財を擁するとともに、千葉市の礎を築いた千葉氏*等、豊かな歴史的な背景を有していますが、高度成長期に造成された大規模団地に全国各地から人口が流入したこと等もあり、歴史や伝統に裏付けされた、地域への誇りを十分に共有するには至っていません。
- そこで、市民がまちへの誇りを培えるよう、加曽利貝塚の魅力と価値向上に向けた、史跡の整備や発掘調査・研究を進めるとともに、集客力の向上に向け、多彩なイベントの開催や新博物館の整備を推進します。
- 郷土博物館においては、千葉開府 900 年*に向けて、千葉氏をはじめとする郷土の歴史を楽しみながら学べるよう、展示をリニューアルします。
- また、市民の郷土に対する理解を深めるため、千葉市の近現代の歴史的史料を編纂した市史史料編近現代を刊行します。

計画事業

特別史跡加曽利貝塚の魅力向上（史跡の整備）

道路計画課、文化財課

来訪者の安全性及び利便性の向上を図るため、特別史跡加曽利貝塚の史跡の整備を進めます。

取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
史跡整備（第 2 期）		第 1 期整備	第 1 期整備完了 第 2 期（基本計画、 基本設計）	第 1 期整備完了 第 2 期（基本設計）
周辺道路等整備	源町桜木線	調査・設計	用地取得	用地取得
	史跡周辺道路	調査・設計	道路整備 L=650m	道路整備 L=650m

特別史跡加曽利貝塚の魅力向上（集客力の向上）

文化財課、加曽利貝塚博物館

特別史跡加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、いつでも縄文体験を楽しめる環境を整え、幅広い年代が気軽に楽しめるイベントを開催します。また、発掘 100 年を記念し、令和 6 年度にシンポジウムを開催します。

取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
体験型イベント		116 回/年	継続	116 回/年
野外イベント	縄文春・秋まつり	1 回/年	継続	1 回/年
	自然観察会	2 回/年	継続	2 回/年
縄文 PR イベント	市遺跡発表会	1 回/年	継続	1 回/年
	縄文シティサミット	—	1 回参加/年	1 回参加/年
	発掘 100 年シンポジウム	—	開催	開催

特別史跡加曾利貝塚新博物館の整備		文化財課、道路計画課	
縄文文化の研究とその成果を市民等に発信する拠点とするため、史跡のガイダンス機能等を備えた新たな博物館の整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
用地の確保	協議・調整 埋蔵文化財調査	取得・賃貸借 埋蔵文化財調査	取得・賃貸借 埋蔵文化財調査
新博物館の整備	要求水準書等作成	事業者選定、基本設計 実施設計、工事	工事
周辺環境の整備	協議・調整	詳細設計 用地取得	詳細設計 用地取得

縄文文化調査研究の推進		文化財課、埋蔵文化財調査センター	
縄文文化と貝塚を解明することで加曾利貝塚のさらなる価値や魅力向上を図るため、発掘調査・研究を進めるとともに、その成果を広く発信します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
発掘調査・現地説明会	実施	継続	実施
出土資料整理・調査研究	実施	継続	実施

郷土博物館の展示の充実		郷土博物館	
千葉開府900年*に向けて、千葉氏*をはじめとする郷土の歴史を学ぶことができる拠点とするため、郷土博物館の展示をリニューアルします。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
展示リニューアル	調査・検討	供用開始	供用開始

「千葉市史史料編近現代」の刊行		郷土博物館	
千葉市の近現代の歩みを示す代表的な史料を市民共有の財産として後世に伝えるため、「千葉市史史料編近現代」を刊行します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
第2巻の刊行	編集	刊行	刊行
第3巻の編集	—	編集	編集

文化財の保存・活用の推進（文化財保存活用地域計画の策定）		文化財課	
計画的に文化財を保存・活用するため、中長期的な基本方針と具体的な事業などを定める文化財保存活用地域計画を策定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
文化財保存活用地域計画の策定	調査・検討	計画認定（文化庁）	計画認定（文化庁）

千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進【再掲】		文化財課、郷土博物館 埋蔵文化財調査センター	
千葉氏について市民の興味関心を高めるため、魅力的な企画展を計画的に開催します。また、千葉氏に関する研究を深めるため、史料の調査や発掘調査を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉氏に関する企画展の実施	1回/年	史料集の刊行	史料集の刊行
千葉氏に関する史料の調査	調査	継続	実施
千葉氏関連遺跡等の発掘調査の実施	試掘・資料調査	発掘調査・整理 報告書（概要版）刊行	報告書（概要版）刊行

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
博物館の収蔵資料点数	点	40,121	43,800
博物館の入館者数	人	96,772	110,000

6-2

スポーツに親しむ環境を創る

【関連する SDGs の目標】



X Games の様子

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
成人のスポーツ実施率	%	65.5 [※]	70.0
障害者（成人）のスポーツ実施率	%	17.3 [※]	40.0

※ 令和元年度（2019年度）実績値

6-2-1

市民スポーツ活動の促進・支援

施策の展開

- 温暖な気候と豊かな自然、また、時間や空間のゆとりといった特性を有する千葉市は、スポーツをするのに非常に適しています。成熟社会において、心身の健全な発展を促し、市民一人ひとりの活力ある質の高い暮らしを支えるために、性別、年齢、障害の有無等に関わらず、スポーツ・レクリエーションに親しめる環境を整備することが必要です。
- 市民がスポーツに親しめる環境を整えるため、スポーツ広場の整備やプールの改築等を行うとともに、ウォーキングイベント等を開催します。
- 千葉市に関わりのあるトップアスリートが国際大会で活躍することで、市民がスポーツへの関心を高められるよう、選手個人に対する育成・支援を行います。
- スポーツの裾野を広げるとともに、都市の国際的な認知度向上を図るため、アーバンスポーツ*やストリートカルチャー*の理解促進・普及啓発に取り組みます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの競技大会のレガシー*の1つとして、パラスポーツ*を推進するため、パラアスリートの学校訪問や体験会等の普及啓発を行うとともに、障害者がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

計画事業

(仮称) 幕張西スポーツ広場の整備

スポーツ振興課

市民の健康の増進を図るため、幕張西運動場をスポーツ広場として整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スポーツ広場の整備	実施設計	供用開始	供用開始

市営プールの更新【新規】		スポーツ振興課	
北谷津新清掃工場整備と一体的に周辺環境を整備するため、北谷津温水プールの建替えを実施するとともに、老朽化した施設の環境を改善し、市民のスポーツ振興・競技力向上を図るため、千葉公園水泳プールを改築します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
北谷津温水プールの建替え	—	PFI導入可能性調査 基本設計、実施設計	実施設計
千葉公園水泳プールの改築	—	基本計画、基本設計	基本設計

花見川糖尿病0プロジェクト（花見川けんこうウォーキング等の開催）【再掲】		花見川区健康課	
区民の糖尿病等の生活習慣病を予防し、健康への関心を高めるため、花見川サイクリングロードを活用したウォーキングイベントを開催するとともに、健康づくりに関する普及啓発を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
花見川けんこうウォーキングの開催	—	1回/年	1回/年
啓発標語の募集	1回/年	継続	1回/年
花見川糖尿病0プロジェクトの普及・啓発	実施	継続	実施

稲毛区健康づくりウォーキング（稲毛健康ウォーキング等の開催）【再掲】		稲毛区健康課	
区民の生活習慣病予防及び介護予防への意識向上を図るため、健康ウォーキングイベントを開催します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
健康づくりウォーキングの開催	1回/年	継続	1回/年

アスリートの育成支援【新規】		スポーツ振興課	
市民のスポーツへの関心を高め、スポーツの振興を図るため、アスリートの活動に係る費用を助成し、市内在住等の選手を育成・支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
支援制度の創設	検討	トップアスリート 10人/年 ジュニア世代トップアスリート 25人/年	トップアスリート 10人/年 ジュニア世代トップアスリート 25人/年

アーバンスポーツやストリートカルチャー等の推進【新規】		スポーツ振興課、公園管理課	
アーバンスポーツ*等への理解促進・普及啓発を図るため、体験会等を開催・支援するとともに、利用場所の確保を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
体験会等の開催・支援	—	1回/年	1回/年
利用・練習場所の確保	調査・検討	確保	確保

ゆるスポーツの推進		スポーツ振興課	
体力や年齢、障害の有無などに関わらず、市民にスポーツ・レクリエーションの機会を提供するため、ゆるスポーツ*の推進を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
普及啓発	体験会の実施	継続	体験会の実施

パラスポーツの推進		スポーツ振興課		
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー*として、パラスポーツ*を推進するため、パラスポーツを身近で体験・体感できる機会を創出するとともに、障害者が気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
パラスポーツの体系的な推進	全体像構築	全体像に基づく体系的な推進	全体像に基づく体系的な推進	
普及・啓発	パラアスリート学校訪問	28校/年	5校/年増	33校/年
	体験会	7回/年	継続	7回/年
	パラスポーツ貸出用具の整備	4種	3種増	7種
障害者のスポーツ活動参加促進	教室開催	86回/年	20回/年増	106回/年
	パラスポーツサポーター制度の創設	—	創設	創設

パラスポーツ交流を通じた地域活性化		稲毛区地域振興課	
共生社会の形成と地域の活性化を推進するため、障害のある方もない方も、子どもから高齢者まで共に楽しみ交流できる障害者スポーツイベントを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
ボッチャ*体験会	3回/年	継続	3回/年
稲毛区内3大学連携ボッチャカップ	1回/年	継続	1回/年
ボッチャ用具の貸出し	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
スポーツ・レクリエーション活動の参加者数	千人	3,051	5,500
パラスポーツへの関心がある人の割合	%	53.2	60.0
パラスポーツコンシェルジュによるマッチング件数	件	106	150
パラスポーツ指導員数	人	94	130
障害者スポーツ大会の参加者数	人	0（大会中止）	474

施策の展開

- 千葉市には、千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉、アルティエリ千葉という、千葉市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームがあり、ホームゲーム開催時には、市内外からの多くの観客で賑わいます。引き続き、トップスポーツチームと連携し市民との交流を図ることで、千葉市に関連するチームへの愛着を育みます。
- 竣工から30年以上が経過したZOZOマリンスタジアムについて、幕張新都心のまちづくりの視点を踏まえたあり方を定めるため、将来像を示す基本構想や同構想を具体化する基本計画を策定します。
- スポーツを通じた地域の活性化を図るため、国際的、全国的な競技大会の誘致を推進するとともに、開催を支援します。

計画事業

トップスポーツチームとの連携によるスポーツに親しむ機会の充実		スポーツ振興課	
市民のスポーツへの関心を高めるため、トップスポーツチームと連携し、小中学校等での交流事業を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
ふれあい交流事業	67回/年	6回/年増	73回/年
ZOZOマリンスタジアムのあり方検討		都市政策課	
竣工から30年以上が経過したZOZOマリンスタジアムについて、幕張新都心のまちづくりの視点を踏まえたあり方を定めるため、将来像を示す基本構想や同構想を具体化する基本計画を策定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
あり方検討	基礎調査	基本構想策定 基本計画策定	基本計画策定
国際的・全国的な競技大会の開催・誘致		スポーツ振興課、観光MICE企画課	
市民のスポーツへの関心を高めるため、国際的・全国的な競技大会やイベントを誘致するとともに、開催を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
開催支援・誘致	7大会(令和4年度事業量)	18大会	18大会
補助金制度の創設	検討	創設	創設
市民参加型イベントの開催	2回/年	継続	2回/年
推進体制の整備	—	整備	整備
国際的・全国的な自転車競技大会の開催支援		公営事業事務所	
自転車競技の普及及び新たな賑わいを創出するため、国際規格の自転車競走路を有するTIPSTAR DOME CHIBAでの自転車競技大会開催を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
誘致支援	2件/年	2件/年増	4件/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
トップスポーツチームとの交流実施回数	回	36	73
国際的・全国的な競技大会の観戦者数	人	60,245	72,000



分野7

都市・交通

分野目標：市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します

政策体系

7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める

- 7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進
- 7-1-2 3都心などの魅力向上
- 7-1-3 地域資源の発掘・活用
- 7-1-4 広域連携の深化

7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する

- 7-2-1 持続可能な交通ネットワークの形成
- 7-2-2 道路ネットワークの形成
- 7-2-3 安全・安心な移動環境の整備

7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす

- 7-3-1 スマートシティの推進
- 7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化

7-4 暮らしを支える基盤を創る

- 7-4-1 住環境・生活基盤の充実
- 7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

7-1

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

【関連する SDGs の目標】



ウォーカーカプル（千葉公園通りのダンス）

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
居住促進区域*内の人口密度	人/ha	90	90以上
都心部（幕張新都心）の日々活動人口	千人	190	230
JR 千葉駅乗車人数	人/日	86,911	108,000
千葉市に都市アイデンティティ*があると思う人の割合	%	57.0	59.0

7-1-1

美しく心地よいまちづくりの推進

施策の展開

- 人口減少や少子高齢化が進む局面においても、変化への対応を図りつつ、充実した都市機能集積とゆとりある空間、豊かな緑と水辺及び都市の利便さが共存する千葉市を未来に引継ぎ、市民がまちへの誇りや愛着、共感をもち、まちづくりに積極的に関わろうとする気持ちを育むことが重要です。
- このため、都市づくりの指針となる都市計画マスタープラン等について、社会情勢の変化等に対応する必要な見直しを行うとともに、マスタープラン等で示す地域が目指すまちづくりの目標を実現するため、景観や都市環境などから見た都市デザイン*の調整を推進します。
- 人口減少により顕在化する空き家・空き地を有効に活用し、安全で安心な住環境の構築を推進します。
- 良好な居住環境の形成を図るため、寒川第一、検見川・稲毛、東幕張地区の土地区画整理事業を推進します。また、長期にわたり事業化されていない土地区画整理事業の未施行地区については、各地区の実情に合わせた整備手法の検討を進めます。
- まちの良好な景観を確保するため、大径木化、老木化した街路樹の植栽環境の適正化を進めます。

計画事業

人口減少抑制に向けた取組みの推進【新規】

政策企画課

地域活性化を進めるため、転入促進に係るPR動画の制作等、人口減少抑制に向けた取組みを推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
人口減少抑制（自然増、社会増）のための政策立案に向けた調査・分析	—	調査・分析 調査結果に基づく事業実施	調査・分析 調査結果に基づく事業実施
転入促進に係る情報発信	検討	動画制作・配信	動画制作・配信

都市計画マスタープラン等の見直し		都市政策課	
長期的な都市づくりの指針である都市計画マスタープラン等について、都市計画基礎調査の結果や社会情勢等の変化に対応するため、同基礎調査の分析や見直しの対応方針を策定し、必要となる見直しを行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
都市計画基礎調査	基礎調査	基礎調査データ分析	基礎調査データ分析
都市計画見直し基本方針の策定	—	見直し基本方針の策定	見直し基本方針の策定
都市計画区域マスタープラン、都市計画マスタープラン、立地適正化計画の見直し	—	都市計画マスタープラン等の見直し	都市計画マスタープラン等の見直し

良好な都市景観の形成		都市政策課	
良好な景観資源を保全・活用していくため、建築物等の新築等の行為に係る景観形成基準を定め、景観形成の指導・誘導を行うとともに、景観形成に関する市民の意識の向上を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
景観法に基づく届出の適切な指導・誘導	実施	継続	実施
都市文化賞の実施、周知イベントの開催	都市文化賞 1回 パネル展示会 1回	継続	都市文化賞 1回 パネル展示会 1回

都市デザイン調整の推進		都市政策課	
都市計画マスタープランなどで示すまちづくりの目標を実現するため、官民の事業を対象に計画段階から協議・配慮を求める都市デザイン*の調整を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
協議制度の運用	—	運用	運用

空き家・空き地対策の推進		都市安全課	
空き家、空き地が有効に活用され、安全で安心な住環境を整えるため、空き家の発生予防や有効活用に関する情報提供を行うとともに、管理不全な空き家・空き地に対する所有者等への指導等を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
空き家・空き地の有効活用	空き家セミナー・相談会	開催 3回/年	開催 3回/年
	空家等情報提供制度	実施	実施
	空き地バンク*	—	実施
管理不全空き家・空き地の解消	指導書等の送付 所有者訪問指導	継続	指導書等の送付 所有者訪問指導
空家等対策計画の見直し	空家等対策計画の見直し検討	空家等対策計画の見直し	空家等対策計画の見直し

適切な土地利用を誘導するための基礎調査	都市計画課
----------------------------	--------------

社会情勢の変化に応じた適切な土地利用の規制・誘導を図るため、土地利用の現状や動向などを把握する基礎的調査を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
土地利用現況調査	土地利用誘導方針(案)の作成	実施	実施
地区計画*見直し検討調査	—	実施	実施

寒川第一土地区画整理	寒川土地区画整理事務所
-------------------	--------------------

良好な居住環境の形成を図るため、建物移転や道路・下水道施設等の公共施設の整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
都市計画道路築造	新田町村田町線 L=245.3m	新田町村田町線 L=296.9m	新田町村田町線 L=542.2m
	港町寒川町線 L=344.5m	港町寒川町線 L=224.7m	港町寒川町線 L=569.2m

検見川・稲毛土地区画整理	検見川・稲毛土地区画整理事務所
---------------------	------------------------

良好な居住環境の形成を図るため、建物移転や道路・下水道施設等の公共施設の整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
区画道路整備	L=13,903m	L=1,531m	L=15,434m

東幕張土地区画整理	東幕張土地区画整理事務所
------------------	---------------------

JR 幕張駅利用者の利便性向上や、地域全体の活性化及び良好な住環境の形成を図るため、建物移転や、道路・下水道施設等の公共施設の整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
区画道路整備	L=3,963m	L=655m	L=4,618m

土地区画整理事業未施行地区の見直し	市街地整備課
--------------------------	---------------

社会情勢や周辺状況等の変化に対応するため、長期にわたり事業化されていない土地区画整理事業の未施行地区について、各地区の実情に合わせた整備手法の検討を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
見直しに向けた地元説明と都市計画手続き	検討	地元説明 実施 都市計画手続き 実施	地元説明 実施 都市計画手続き 実施

街路樹植栽環境の適正化	公園管理課
--------------------	--------------

良好な街並みの景観形成を図るため、大径木化、老木化した街路樹の植栽環境の適正化を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
危険木・支障木の伐採及び間伐	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
特定空家等*の件数	件	102	50
地区計画*の策定・変更数	件	策定 59 変更 33	策定 61 変更 34
区画整理事業の宅地整備面積	ha	40.5	47.8

施策の展開

- 千葉都心では、千葉駅西口地区及び東口地区における再開発事業が完了するとともに、民間開発計画が進められている等、まち全体でのリニューアルの動きが活発化しています。引き続き、これら開発動向や周辺環境の変化を的確に把握するとともに、千葉都心全体の将来像を描いた「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」に基づき、千葉都心の魅力をさらに高めるまちづくりを進めています。
- 千葉都心における活性化の核となる事業として、中央公園・通町公園周辺の活性化や西銀座周辺の再開発を促進するほか、官民の連携による、居心地の良く歩きたくなるまちなかの形成や、リノベーションまちづくり*の推進によりエリアの価値向上に向けた取組みを推進するとともに、まちづくりを支える人材を育成します。また、千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、公園全体の再整備を行います。
- 「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきた幕張新都心では、中長期的な将来を見据えたまちづくりの方向性を示した「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定しました。今後は多様な関係者と共有し、連携・協働の好循環により取組みを推進します。
- 幕張新都心のさらなる魅力向上に向けて、国家戦略特区*制度を活用し、ドローン*の実用化に向けた取組みや多様な分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。また、都市の回遊性向上による賑わい創出のため、自動運転モビリティ*などの未来技術の実証を推進するとともに、多様な関係者が連携・協働してまちづくりを進めるエリアマネジメント*組織を組成・育成するほか、若葉住宅地区における住宅や周辺環境の整備を促進します。
- 蘇我副都心については、JR蘇我駅が京葉線、内房線・外房線の結節点であるとともに、商業機能が集積し、また、その立地特性を活かしアーバンスポーツ*の競技会や音楽イベントの開催地となる等、副都心として相応しいまちづくりを進めています。
- 蘇我副都心における交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再編を進めます。

計画事業

中央公園・通町公園の連結強化

都心整備課

歴史的資産を活かした「千葉らしさ」を感じるまちづくりのため、中央公園、通町公園、千葉神社を一体的に捉え、賑わいと回遊性を高める空間の整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
用地取得	対象街区の一部取得	用地取得	用地取得
公園整備	公園整備計画修正	段階整備	段階整備

千葉駅周辺における官民連携まちづくり（ウォーカブル推進）

都心整備課

千葉駅周辺において、多様な魅力あるまちづくりを実現させるため、道路や公園等の公共空間や民地などのオープンスペースを一体的に活用し、多様な人が多様な使い方のできる「居心地の良い空間づくり」を推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉駅西エリアウォーカブル*推進 (千葉駅西口駅前ほか)	社会実験（民間主体）	継続	社会実験（民間主体）
千葉駅北エリアウォーカブル推進 (千葉公園通り)	社会実験（民間主体）	社会実験（民間主体） 道路改修	社会実験（民間主体） 道路改修
千葉駅東エリアウォーカブル推進 (千葉駅前大通りほか)	社会実験（民間主体）	継続	社会実験（民間主体）

千葉駅周辺における官民連携まちづくり（リノベーションまちづくり）		都心整備課	
千葉駅周辺において、エリアの価値向上や複合的な地域課題の解決を図るため、官民が連携し、遊休不動産等の既存資源を活用した事業創造やまちづくり人材の育成等を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
リノベーションまちづくり* 構想（仮）の策定	—	策定	策定
リノベーションスクール	実施	継続	実施
プレイヤー発掘・育成、 活用支援制度の整備	実施	継続	実施

千葉駅東エリア（西銀座周辺）の再開発		都心整備課	
千葉駅から中心市街地に賑わいを誘引するため、千葉駅東エリア（西銀座周辺）における再開発を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
再開発の検討促進	実施	継続	実施
市道富士見14号線の道路改修	—	基本設計 実施設計 道路改修	基本設計 実施設計 道路改修

千葉駅東口西銀座B地区優良建築物等整備事業		市街地整備課	
県都の玄関口に相応しい賑わいの創出や公共公益的空間を確保するため、優良建築物等整備事業を活用し、公共貢献に応じた支援を行うことにより、千葉駅周辺の活性化グランドデザインに沿う民間建築物の建替更新を誘導します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
優良建築物における 共同施設整備費助成	助成	助成	助成 建築物整備完了

千葉公園の再整備【再掲】		緑政課	
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
賑わいエリア整備	—	整備	供用開始
やすらぎゾーン整備	—	整備	供用開始
水辺ゾーン整備	—	整備	整備

幕張新都心まちづくり連携促進		幕張新都心課	
幕張新都心で活動する多様な関係者が連携・協働してまちづくりを進めるため、エリアマネジメント*組織を組成・育成するとともに、まちづくりに関する機運を醸成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
エリアマネジメントの促進	—	企業・団体等との意見交換 エリアマネジメント組織の 立ち上げ	エリアマネジメント組織の 立ち上げ
まちづくり機運醸成	イベント実施	継続	イベント実施

国家戦略特区制度の活用推進【再掲】		国家戦略特区推進課	
地域経済の活性化を図るため、規制改革等を総合的かつ集中的に推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
規制改革メニューの活用	8件	3件増	11件
規制改革の提案	4件	3件増	7件

ドローン宅配等の実用化の推進【再掲】		国家戦略特区推進課	
ドローン*活用による市民の利便性向上と、先端技術産業の集積を促進するため、ドローン宅配の実用化や、多分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
ドローン宅配実装支援	飛行環境の実証	実装	実装
ドローン活用推進	行政課題型 1件/年 民間支援型 2件/年	行政課題型 1件/年増 民間支援型 1件/年増	行政課題型 2件/年 民間支援型 3件/年
操縦ライセンス取得支援	—	補助 5件/年	補助 5件/年

若葉住宅地区における住宅整備促進		幕張新都心課	
住宅・商業をはじめとした複合機能を備えた賑わい溢れる街を実現するため、若葉住宅地区における住宅や周辺環境の整備を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
住宅整備の促進	1,464戸	2,122戸増	3,586戸

JR蘇我駅東口駅前地区のまちづくり		市街地整備課	
蘇我副都心の交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再編を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
関係者の合意形成	勉強会実施	継続	勉強会実施
駅前広場基本計画（修正）の作成等	調査	策定	策定

JR稲毛駅東口駅前地区のまちづくり		市街地整備課	
JR稲毛駅東口の生活及び公共交通の利便性の向上に向けた都市基盤の整備を図るため、市街地再開発により個別建物の集約化を図るとともに、駅前広場と駅周辺の一体的な整備を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
関係者の合意形成	勉強会実施	継続	勉強会実施
駅前広場基本計画（修正）策定等	調査	策定	策定

新市民会館の整備【再掲・新規】		文化振興課	
市民の多様な文化芸術のニーズに対応するため、千葉市の文化芸術の中心施設となる市民会館を再整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新市民会館の再整備	基本設計	工事	工事

オオガハスの魅力発信【再掲】			緑政課	
オオガハス*を活かしたまちづくりを進めるため、イベントの充実及び情報発信の強化を図るとともに、千葉公園を系統保存管理の拠点とし、市内の展示場所の整備及び栽培管理の人材育成を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
イベントの充実	大賀ハスまつり YohaS	開催	継続	開催
	サイン設置	—	千葉公園通りに設置	千葉公園通りに設置
情報発信の強化		蓮華亭リニューアル	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査
鑑賞環境の整備	系統保存維持管理	系統保存維持管理	継続	系統保存維持管理
	プランター展示	7か所	1か所増	8か所
	学校分根	42校	15校増	57校
	ハス守りさん*講座	53人	30人増	83人
	ハス守りさん フォローアップ講座	—	10名	10名
	文化伝承事業	—	実施	実施
	コンパクトな拠点	—	整備	整備

千葉市蘇我スポーツ公園の充実【再掲】			公園管理課	
市民のスポーツやレクリエーション活動の拠点として適切な管理運営を行うため、長寿命化計画を策定するとともに、フクダ電子アリーナの音響施設や運動施設等の改修を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
長寿命化計画の策定		—	策定	策定
フクダ電子アリーナの充実	改修	照明設備、 音響設備（実施設計）	音響設備	音響設備
魅力向上	ヒルスコート （テニスコート）	人工芝張替 10面	人工芝張替 10面	人工芝張替 20面
	スクエア （人工芝広場）	—	防球ネット改修	防球ネット改修
	ランニングコース	—	舗装改修	舗装改修
	バックヤード	—	倉庫設置	倉庫設置

幕張海浜公園の活性化【再掲・新規】			緑政課	
幕張海浜公園の賑わい創出による更なる活性化を図るため、民間活力の導入による事業を行うとともに、定期的なイベント開催の検討などを行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
民間活力導入		民間事業者の公募検討	民間事業者による 活性化施設整備	民間事業者による 活性化施設整備
イベントの実施		—	民間事業者との連携検討	民間事業者との連携検討

ZOZO マリンスタジアムのあり方検討【再掲】

都市政策課

竣工から30年以上が経過したZOZO マリンスタジアムについて、幕張新都心のまちづくりの視点を踏まえたあり方を定めるため、将来像を示す基本構想や同構想を具体化する基本計画を策定します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
あり方検討	基礎調査	基本構想策定 基本計画策定	基本計画策定

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
幕張新都心年間来訪者数	万人	3,200	4,800
都心部（千葉駅周辺）の歩行者数	千人	119	131
リノベーションスクール関係者等によるプロジェクト創造数	件	91	271

施策の展開

- 千葉市固有の歴史や文化を市民に知ってもらい、郷土への愛着を醸成し、「千葉市らしさ」を確立するとともに、市外からも「訪れたい」、「住みたい」と思ってもらえる都市を目指し、「加曽利貝塚」、「オオガハス*」、「千葉氏*」、「海辺」などの地域資源の魅力向上を図り、都市アイデンティティ*の確立に向けた取組みを進めています。
- 令和8年（2026年）には千葉開府900年*を迎えます。この機を捉え、「千葉氏」に関する企画展や史料の調査・発掘調査を実施するとともに、開府900年を記念するイベント等の実施準備を進め、千葉市の魅力を広く発信します。
- また、「オオガハス」への愛着を感じられるような区民参加の取組みや、「加曽利貝塚」等の地域資源への来訪を促す魅力発信の取組みを行います。

計画事業

都市アイデンティティの確立

都市アイデンティティ推進課

市民の愛着や誇りを醸成し、千葉市固有の「千葉市らしさ」を意味する「都市アイデンティティ」を確立するため、「加曽利貝塚」、「オオガハス」、「千葉氏」、「海辺」の4つの地域資源を活用したプロモーションを行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
4 資源の魅力ある新規コンテンツづくり	千葉氏グルメの提供	団体・企業等との連携 事業化支援	団体・企業等との連携 事業化支援
「千葉市らしさ」のプロモーション	4 資源特設サイトの制作 紙芝居の制作	企画・開発	企画・開発

千葉開府900年記念に向けた実施体制の構築【新規】

都市アイデンティティ推進課

令和8年（2026年）の千葉開府900年に向け、各団体や民間企業等と連携協力して実施体制を構築し、記念事業の準備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
実行組織の立ち上げ及び計画の策定	ロードマップ策定	実施体制の構築 計画策定	実施体制の構築 計画策定
千葉開府900年記念事業の実施	—	記念事業準備 プレ期間事業実施	記念事業準備 プレ期間事業実施
千葉氏サミットの開催、ゆかりの都市との連携・交流	実施	継続	実施

千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進		文化財課、郷土博物館 埋蔵文化財調査センター	
千葉氏*について市民の興味関心を高めるため、魅力的な企画展を計画的に開催します。また、千葉氏に関する研究を深めるため、史料の調査や発掘調査を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉氏に関する企画展の実施	1回/年	史料集の刊行	史料集の刊行
千葉氏に関する史料の調査	調査	継続	実施
千葉氏関連遺跡等の発掘調査の実施	試掘・資料調査	発掘調査・整理 報告書（概要版）刊行	報告書（概要版）刊行

オオガハスを身近に感じるまちづくり		花見川区地域振興課	
オオガハス*に愛着を感じられるよう、花見川区役所に展示物を配置するなど、区民がオオガハスに接する機会を増やします。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
花見川保健福祉センター ロビーガラスの装飾	—	1か所	1か所
オオガハス折り紙の作成	—	1,080人参加	1,080人参加
オオガハスオブジェ制作展示	—	1か所	1か所

若葉区の魅力創出・発信（市民参加型体験イベント等の実施）		若葉区地域振興課	
加曽利貝塚等、若葉区内の地域資源への来訪者の増加を図るため、区内を巡る循環型イベントや、地域資源に関する情報発信を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
市民参加型体験イベントの実施	2回/年	継続	2回/年
地域資源に関する情報発信	実施	継続	実施

地域資源の活用などによる郷土教育の充実【再掲】		教育指導課	
児童生徒が自分たちの暮らす郷土に誇りや愛着を持てるようにするため、地域資源を扱うなど、副読本を改定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
副読本の改訂	実施	継続	実施
千葉開府900年*に向けた機運醸成	実施	継続	実施

特別史跡加曽利貝塚の魅力向上（史跡の整備）【再掲】		道路計画課、文化財課	
来訪者の安全性及び利便性の向上を図るため、特別史跡*加曽利貝塚の史跡の整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
史跡整備（第2期）	第1期整備	第1期整備完了 第2期（基本計画、 基本設計）	第1期整備完了 第2期（基本設計）
周辺道路等整備	源町桜木線	調査・設計	用地取得
	史跡周辺道路	調査・設計	道路整備 L=650m
		道路整備 L=650m	道路整備 L=650m

特別史跡加曾利貝塚の魅力向上（集客力の向上）【再掲】

文化財課、加曾利加塚博物館

特別史跡*加曾利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、いつでも縄文体験を楽しめる環境を整え、幅広い年代が気軽に楽しめるイベントを開催します。また、発掘 100 年を記念し、令和 6 年度にシンポジウムを開催します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
体験型イベント	116 回/年	継続	116 回/年
野外イベント	縄文春・秋まつり	1 回/年	1 回/年
	自然観察会	2 回/年	2 回/年
縄文 PR イベント	市遺跡発表会	1 回/年	1 回/年
	縄文シティサミット	—	1 回参加/年
	発掘 100 年シンポジウム	—	開催

特別史跡加曾利貝塚新博物館の整備【再掲】

文化財課、道路計画課

縄文文化の研究とその成果を市民等に発信する拠点とするため、史跡のガイダンス機能等を備えた新たな博物館の整備を進めます。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
用地の確保	協議・調整 埋蔵文化財調査	取得・賃貸借 埋蔵文化財調査	取得・賃貸借 埋蔵文化財調査
新博物館の整備	要求水準書等作成	事業者選定、基本設計 実施設計、工事	工事
周辺環境の整備	協議・調整	詳細設計 用地取得	詳細設計 用地取得

縄文文化調査研究の推進【再掲】

文化財課、埋蔵文化財調査センター

縄文文化と貝塚を解明することで加曾利貝塚のさらなる価値や魅力向上を図るため、発掘調査・研究を進めるとともに、その成果を広く発信します。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
発掘調査・現地説明会	実施	継続	実施
出土資料整理・調査研究	実施	継続	実施

郷土博物館の展示の充実【再掲】

郷土博物館

千葉開府 900 年*に向けて、千葉氏*をはじめとする郷土の歴史を学ぶことができる拠点とするため、郷土博物館の展示をリニューアルします。

取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
展示リニューアル	調査・検討	供用開始	供用開始

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
稲毛海浜公園利用者数(有料施設)	千人	618	581
博物館の入館者数（再掲）	人	96,772	110,000
オオガハス*関連イベント来場者数	人	15,900	30,000
アイデンティティの醸成につながる郷土教育の実施	%	88.0	100.0

施策の展開

- 高い交通利便性や拠点性を有する千葉市は、しごと、学び、癒しやスポーツの場として圏域*内で大きな役割を担っています。また、人口構造の変化や新型コロナウイルス感染症の影響等により、人々の暮らし方が多様化していく中、圏域全体の活力を維持するためには、それぞれの地域の特性を活かしながら、地域を超えて連携する必要性が増しています。
- これまでも、子育てや経済・観光分野などで周辺自治体との連携を進めてきたところであり、この成果を踏まえつつ、公共施設の相互利用について検討を進めるなど、千葉市とのつながりの深い周辺自治体との連携を強化します。

計画事業

ちば共創都市圏*における広域連携

政策調整課

千葉市とのつながりの深い周辺都市を含む圏域ならではの新たなライフスタイルを提案し、圏域全体としての活性化を図るため、周辺自治体との連携強化に係る取組みを推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
周辺自治体との連携強化	協議会・WGの実施	協議会・WGの実施	協議会・WGの実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
各行政分野における連携事業の実施実績	事業	17	21

7-2

都市の力を底上げするネットワークを整備する

【関連する SDGs の目標】



グリーンスローモビリティ

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
公共交通機関の乗車数	千人/日	624	800
市内のボトルネック*箇所における混雑時の平均走行速度の改善度	%	47.4	52.5

7-2-1

持続可能な公共交通ネットワークの形成

施策の展開

- 千葉市には、JR、京成電鉄、千葉都市モノレールによる鉄軌道や、幹線的なバス路線等で形成される公共交通ネットワークが、市の中心部から各方面に向けて張り巡らされています。これらの公共交通ネットワークは、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少や、公共交通が不便な地域における交通手段の確保などの課題に直面しています。
- そこで、公共交通の利便性を高めるため、シームレス化*を推進するとともに、交通情報のオープンデータ*化などを含めた MaaS*を導入するための基盤整備の支援を行うほか、モビリティ・マネジメント*を推進し、公共交通に対する市民の理解を深め、行動変容を促進します。
- また、公共交通が不便な地域での公共交通を維持・確保するため、グリーンスローモビリティ*等の支え合い交通*の導入を進めます。
- さらに、千葉都市モノレールは開業から30年が経過し、各施設の老朽化が見受けられることから、安全で快適な交通機関として維持していくため、各施設の設備更新を行うとともに、脱炭素化*に向け再生電力*を活用できる新型車両の導入を支援します。
- 千葉港は、京葉臨海工業地帯の基盤的な港湾として、全国有数の貨物取扱量を誇っており、鉄鋼業や石油業をはじめ、地元で立地する企業にとって必要不可欠な港湾となっています。引き続き、首都圏経済の発展を支える重要な役割を担っていくため、老朽化した岸壁や港湾施設の維持・強化を促進します。

計画事業

公共交通のシームレス化の推進		交通政策課	
公共交通の利便性を高めることで利用を促進するため、交通事業者等関係者との更なる連携強化を図ります。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
公共交通利用促進等支援の推進	整備促進検討	バス停・ベンチ7か所 サイクル&ライド5か所 モビリティハブ*整備1か所	バス停・ベンチ7か所 サイクル&ライド5か所 モビリティハブ整備1か所
交通事業者間の連携強化	連携策の検討・促進	連携策の検討・促進	連携策の検討・促進

MaaS 導入に向けた交通事業者への支援		交通政策課	
MaaS*導入に向けた基盤を構築するため、交通情報のオープンデータ*化や、キャッシュレス化に向けた支援を行うとともに、非常時の情報連携システムの構築を検討します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
交通インフラサービスの向上 (情報発信)	オープンデータ化 導入支援	継続	オープンデータ化 導入支援
交通インフラサービスの向上 (基盤整備)	検討	キャッシュレス化 対応支援	キャッシュレス化 対応支援
非常時の情報連携体制の強化	—	検討	検討

モビリティ・マネジメントの推進【新規】		交通政策課	
公共交通に対する市民の理解を深め、利用者の増加を図るため、学校教育でモビリティ・マネジメント*のカリキュラムを取り入れるとともに、モノレール沿線での普及啓発イベントを実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
職場モビリティ・マネジメント	—	職員アンケート	職員アンケート
学校教育モビリティ・マネジメント	—	授業実施	授業実施
公共交通普及・啓発イベント	—	普及啓発イベント実施	普及啓発イベント実施

支え合い交通の実現		交通政策課	
既存の公共交通ネットワークではカバーすることが困難な地域等において、持続可能な交通ネットワークを構築するため、グリーンスローモビリティ*等の支え合い交通*の導入に向けた社会実験を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
グリーンスローモビリティ の導入	2台	3台増	5台
支え合い交通導入に向けた 社会実験	導入検討	本格運行	本格運行
地域公共交通計画の 進捗管理・評価及び見直し	—	見直し	見直し

モノレール施設の脱炭素化及びグリーンインフラ*の推進		交通政策課	
モノレールの脱炭素化*を実現するため、回生電力*を有効活用できる新型車両の導入支援等を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
回生車両への更新	—	2編成更新	2編成更新

モノレール施設の設備更新		交通政策課	
モノレールの安全な運行及び利便性の向上のため、施設の設備更新を計画的に進めるとともに、適切に資産管理していくため、資産等管理システムを構築します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
インフラ外施設更新	更新・改良	継続	更新・改良
資産等管理システムの 構築、運用	基本設計	運用	運用

時代の要請に応じた公共交通の展開【新規】		交通政策課	
公共交通利用者の需要変化を踏まえた利便性の向上を図るため、駅舎等の余剰空間を活用した環境整備の検討などを行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
感染症への適切な対応への支援	感染防止対策の支援	継続	感染防止対策の支援
駅舎等施設の余剰空間の活用	—	検討 施設整備1か所	検討 施設整備1か所
ダイナミックプライシング*の導入検討	検討	継続	検討

広域間輸送ネットワークの形成		交通政策課	
千葉市と他主要都市や空港等を結ぶ広域間の公共交通ネットワークを形成するため、京葉線とりんかい線の相互直通運転化を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
京葉線とりんかい線の相互直通運転の促進	鉄道事業者等との協議・調整 要望活動の実施	継続	鉄道事業者等との協議・調整 要望活動の実施

港湾・物流機能の強化の促進		交通政策課	
港湾・物流機能の強化を促進するため、港湾施設の整備、改修等に要する費用を負担します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉港千葉中央地区港湾施設の整備	岸壁・物揚場等整備 小規模な緑地整備等	継続	岸壁・物揚場等整備 小規模な緑地整備等

先端技術を活用したモビリティサービスの実現【再掲】		国家戦略特区推進課	
都市の回遊性向上による賑わい創出のため、新たなモビリティサービスの実装を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
自動運転車サービスの導入促進	実証	自動運転レベル*4実証 インフラ整備	自動運転レベル4実証 インフラ整備
マイクロモビリティ*を活用したビジネスモデルの構築	実証	サービスの提供	サービスの提供
幕張新都心版 MaaS*の実現	実証	サービスの提供	サービスの提供

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
外出時の移動手段で公共交通等を最も利用する市民の割合	%	34.8	40.0
千葉中央港地区旅客船利用者数	人	24,157	35,000

施策の展開

- 千葉市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射・環状道路で構成されていますが、主要幹線道路を中心に交通渋滞が発生し、都市・経済活動に影響を及ぼしています。
- このため、人と物が円滑に移動・交流できる円滑な道路ネットワークの構築に向け、地域間の連携を強化する広域的な道路ネットワークを整備するとともに、地域のまちづくりの観点から、市内ネットワークの形成を図る道路整備を着実に進めるほか、交通の整流化を図る交差点の改良を行います。
- また、社会状況の変化に対応するため、長期未整備となっている都市計画道路等の見直しを検討します。

計画事業

広域ネットワークを構築する道路整備

道路計画課

近隣都市との連携強化及び物流・観光など社会・経済活動を支えるため、広域ネットワークの道路を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
検見川・真砂スマートICの整備	調査・検討	道路整備 L=400m	道路整備 L=400m
新たな湾岸道路の整備	千葉県湾岸地区道路検討会による基本方針策定	調査・検討	調査・検討
国道の整備（直轄事業負担金）	国事業への負担金拠出	継続	国事業への負担金拠出
主要地方道生実本納線の整備（ほか7路線）	L=1,607m	L=2,273 m	L=3,880 m

市内ネットワークを構築する道路整備

道路計画課

市内拠点間を連絡し、市民生活の利便性向上や物流の効率化を図るため、市内ネットワークの道路を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
誉田駅前線の整備（ほか15路線）	L=3,230 m	L=345 m	L=3,575 m

交差点の改良

道路計画課

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交通の整流化を図る交差点改良を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
調査・設計	8か所 (令和4年度事業量)	9か所	9か所
用地取得	1か所 (令和4年度事業量)	8か所	8か所
整備	—	3か所	3か所

都市施設の見直し

都市計画課

社会状況の変化に対応し、有効な都市施設*を整備するため、長期にわたって未整備となっている都市施設の見直しを検討します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
都市計画道路の見直し	—	都市計画の変更・決定	都市計画の変更・決定
都市施設の見直し	—	都市計画の変更・決定	都市計画の変更・決定

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
都市計画道路の整備率	%	75.4	75.7

施策の展開

- ノーマライゼーション*の理念のもと、「共生社会」の実現に向けて、だれもが安全に安心して円滑に移動できることは、市民がいきいきとした暮らしを送るうえで必要です。
- 改正バリアフリー法の趣旨を踏まえ、全面的なバリアフリー化の促進に向けた千葉市の方針を示すとともに、市全域のバリアフリー化を促進するため、令和3年3月に千葉市バリアフリーマスタープランを策定しました。
- 高齢者や障害のある人など、あらゆる人の移動の円滑化を図るため、鉄道事業者等が行うバリアフリー化や、バス事業者のノンステップバス導入を促進するとともに、歩道のバリアフリー化を行うほか、狭い生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。
- 利用者にとって安全・安心かつ快適な移動を確保するため、生活に密着した道路環境の改善を図ります。
- 環境にやさしく健康にも良い自転車を楽しく安全に、自発的に利用する千葉市らしい生活スタイル「ちばチャリストイル」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを総合的に推進します。

計画事業

バリアフリー化の推進及び促進		交通政策課	
高齢者、障害者等の移動の円滑化を図るため、鉄道事業者等が行うバリアフリー整備に対する助成やバス事業者のノンステップバス導入を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
鉄道駅等のバリアフリー化	段差解消 29 駅 多機能トイレ設置 29 駅	段差解消 1 駅 多機能トイレ 1 駅	段差解消 30 駅 多機能トイレ 30 駅
ノンステップバスの導入促進	実施	継続	実施
バリアフリーマスタープランの進捗管理・評価及び地区別バリアフリー基本構想の策定検討	地区別基本構想策定 1 地区	地区別基本構想策定 3 地区増	地区別基本構想策定 4 地区
歩道の改良		土木保全課	
歩道を利用する全ての人々が安全で快適に通行するため、歩道のバリアフリー化を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
バリアフリー整備	—	視覚障害者誘導用ブロック L=23km 段差解消 N=180 か所	視覚障害者誘導用ブロック L=23km 段差解消 N=180 か所
歩道の再整備 (波打ち歩道の解消)	—	整備	整備

道路施設の長寿命化【再掲】		土木保全課	
道路利用者の安全・安心を確保するため、個別施設計画に基づき、道路施設の計画的な点検・補修を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
道路施設の定期点検	橋梁 55 橋 (令和4年度事業量)	209 橋	209 橋
	歩道橋 13 橋 (令和4年度事業量)	47 橋	47 橋
	舗装 84km (令和4年度事業量)	252km	252km
	のり面・擁壁 74 か所 (令和4年度事業量)	226 か所	226 か所
	道路照明等 2,000 基 (令和4年度事業量)	6,000 基	6,000 基
	道路施設 一式 (令和4年度事業量)	一式	一式
道路施設の補修・更新	橋梁補修 11 橋 (令和4年度事業量)	38 橋	38 橋
	歩道橋補修 4 橋 (令和4年度事業量)	8 橋	8 橋
	モノレールインフラ 施設更新・改良 一式 (令和4年度事業量)	一式	一式
	のり面・擁壁 4 箇所 (令和4年度事業量)	34 箇所	34 箇所
	道路施設補修 一式 (令和4年度事業量)	一式	一式
個別施設計画の更新	—	4 計画	4 計画

生活道路の整備		道路計画課	
生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、狭あいな生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
調査・設計	6 箇所 (令和4年度事業量)	11 箇所	11 箇所
用地取得	6 箇所 (令和4年度事業量)	10 箇所	10 箇所
道路整備	3 箇所 (令和4年度事業量)	13 箇所	13 箇所 (供用開始 10 箇所)

バス停車帯の整備		道路計画課	
バスの停車による交通阻害を解消するため、バス停車帯を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
バス停車帯の整備	—	3か所	3か所

自転車を活用したまちづくりの推進		自転車政策課	
環境にやさしく健康にも良い自転車を楽しく安全に、自発的に利用する千葉市らしい生活スタイル「ちばチャリストイル」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを総合的に推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
自転車の活用と利用促進	—	自転車利活用の拠点設置	自転車利活用の拠点設置
自転車走行環境の整備	75km	38km	113km
放置自転車対策	立体自転車駐車場 10施設 自転車駐車場等 139施設	自転車駐車場設備の充実 自転車駐車場再整備・統廃合	自転車駐車場設備の充実 自転車駐車場再整備・統廃合

歩道の整備【再掲】		道路計画課	
歩行者の安全性を確保するため、歩きやすい歩道を整備します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
調査・設計	2路線（令和4年度事業量）	9路線	9路線
用地取得	9路線（令和4年度事業量）	10路線	10路線
整備	9路線（令和4年度事業量）	12路線	12路線 （供用開始3路線）

舗装・側溝の新設・改良【再掲】		土木管理課	
道路を安全で快適に通行するため、舗装・側溝を新設及び改良します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
舗装	新設	1.0km（令和4年度事業量）	2.1km
	改良	23.0km（令和4年度事業量）	54.0km
側溝	新設	1.0km（令和4年度事業量）	4.2km
	改良	約4.9km（令和4年度事業量）	14.4km

橋梁の耐震化・架替【再掲】			土木保全課	
震災時の救命活動や物資輸送のための交通路を確保するため、橋梁の耐震補強を行うとともに、老朽化した橋を架け替えます。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
耐震化	耐震補強	整備完了 137 橋	整備完了 1 橋 工事 1 橋	整備完了 138 橋 工事 1 橋
	耐震レベル 引き上げ	—	設計 2 橋 (メッセ大橋 (上・下))	設計 2 橋 (メッセ大橋 (上・下))
架替	柏井橋	護岸工、仮橋撤去	護岸工	完了
	亥鼻橋	橋梁下部工	橋梁下部工 橋梁上部工	橋梁下部工完了 橋梁上部工

無電柱化の推進【再掲】			土木保全課	
災害に強いまちづくりを推進するため、緊急輸送道路等における電線類の地中化を推進します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
青葉町地区		本体工事、引込連系工事	継続	完了
幕張地区		本体工事、引込連系工事 支障物件移設	本体工事、引込連系工事	完了
椿森地区		—	測量・設計 支障物件移設	測量・設計 支障物件移設

踏切道の改良【再掲】			道路計画課	
踏切道における歩行者等の安全性を確保するため、踏切道の改良を実施します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
中広踏切（拡幅）		—	工事	完了
生浜踏切（拡幅）		—	工事	完了
第一鎌取踏切（拡幅）		—	調査・設計、工事	工事
八幡台踏切（待機所の整備）		—	工事	整備
土気踏切（周辺整備）		—	調査設計、用地取得	用地取得

交通安全施設の充実【再掲】			土木保全課	
道路利用者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図るため、通学路の路肩カラー化、防護柵等の設置などの交通安全対策を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
通学路の安全対策	路肩のカラー化	116km	30km	146km
	区画線・防護柵等設置		継続	区画線・防護柵等設置
安全施設の設置		整備	継続	整備
区画線引き直し		75km (令和4年度事業量)	225km	225km
駅前広場の改良		一部実施	工事 (3 か所)	工事 (3 か所)

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
放置自転車台数	台	746	630
鉄道駅のバリアフリー化率	%	90.3	100
駅や公共施設等を結ぶ道路等のバリアフリー化率	%	34	80

7-3

まちの発展にテクノロジーを活かす

【関連する SDGs の目標】



パーソナルモビリティ (ILY-Ai)

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
ICT*の普及により生活が便利になったと感じる人の割合 (ICTが生活の利便性に寄与するものだと考えている人の割合)	%	83.0	90.0

7-3-1

スマートシティの推進

施策の展開

- 今後、千葉市も人口減少局面を迎える中、まちづくりや地域経済を支える担い手の不足などをはじめとしたさまざまな課題を解決していくためには、テクノロジーを効果的に活用し、持続可能なまちづくりを進める必要があります。
- 市役所への手続などに要する市民の時間を最小限にし、利便性を高めるため、オンライン手続の利用拡大や「あなたが使える制度お知らせサービス」などの機能性向上、キャッシュレス決済の導入を進めるとともに、市の基幹業務システムについて国が示す標準準拠システムに移行します。
- また、市政の透明性・信頼性と市民生活の利便性の向上を図るため、市保有データをオープンデータ*として公開し、多様な主体と連携しながらデータの利活用を推進するとともに、各種データ連携やデータベースの整備を進めるほか、市内の情報通信基盤を更新します。
- さらに、スマートシティ*の実現に向けては、地域課題の解決や新たな価値の創造に繋がるサービスの創出・実装を加速するため、多様な主体の取組みを支援するとともに、市民等への普及啓発を行います。また、すべての市民がデジタル化*の恩恵を享受できる社会を実現するため、デジタル活用の不安な方へ対し、スマートフォン講座を実施するとともに、相談体制の構築を進めます。

計画事業

市役所への手続等のデジタル化の推進

業務改革推進課

市民の市役所への手続や自身が利用可能な制度の検索などに要する時間を最小限にするため、電子申請システム及び「あなたが使える制度お知らせサービス」などの機能性向上を図ります。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
オンライン手続の利用拡大	状況・課題の把握 解決策の検討	状況・課題の把握 解決策の検討・実施	状況・課題の把握 解決策の実施
あなたが使える制度お知らせサービスの利用者の満足度向上に向けた取組み	意向調査	サービスの更新	サービスの更新

キャッシュレス化の推進		業務改革推進課	
市民の利便性向上のため、市施設の各窓口におけるキャッシュレス決済の導入を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
決済機器の調達	81 窓口	52 窓口増	133 窓口
庁内向け導入ガイドラインの作成	作成	更新	更新

地方公共団体情報システムの標準化		情報システム課	
行政のデジタル化*及び市民の利便性向上を図るため、対象業務について国が示す標準準拠システムに移行します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
標準準拠システムへの移行	全体計画策定	移行	移行

オープンデータ活用の推進		業務改革推進課	
市政の透明性・信頼性と市民生活の利便性の向上を図るため、市保有データをオープンデータ*として公開するとともに、民間団体や企業など多様な主体と連携しながらデータの利活用を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
データカタログサイト(システム)の更新	検討	実施	実施
オープンデータを活用した民間サービス等創出の推進	25 件	3 件	28 件

開発許可等情報のデジタル化【新規】		宅地課	
利用者の利便性向上を図るため、開発許可等の情報をオンラインで閲覧できるようにします。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
システムの更新	—	更新	更新

特殊車両通行許可の迅速化		土木管理課	
特殊車両の通行許可申請書の作成に係る時間を短縮し、物流の機動性向上を図るため、道路情報データベースの整備を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
道路情報便覧収録による特殊車両通行許可の迅速化	980 区間登録	120 区間登録	1,100 区間登録

建設工事等におけるデジタル活用の推進		技術管理課	
建設工事、設計業務等の生産性向上を図り、受発注者双方の負担を軽減させるため、デジタル機器の調達及び工事現場等における ICT*活用を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
工事現場等における ICT の活用促進	遠隔臨場用 PC2 台	遠隔臨場用タブレット 12 台	遠隔臨場用タブレット 12 台

排水設備工事等におけるデジタル活用の推進【新規】	下水道営業課
---------------------------------	---------------

排水設備工事等に係る申請手続きの負担軽減および事務の効率化を図るため、排水設備工事等に係る申請手続きのオンライン化を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
排水設備工事等に係る申請手続きのオンライン化	窓口による紙面受付	オンライン化	オンライン化

内部事務（財務会計、庶務事務、人事給与等）のデジタル化の推進	業務改革推進課
---------------------------------------	----------------

行政の内部事務（財務会計、庶務事務、人事給与等）における処理過程における完全なデジタル化*を実現するため、内部事務システム全体でのあるべき姿やデータ連携手法などを示す基本方針を策定します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
内部事務の完全なデジタル化に向けた基本方針の策定	課題の抽出	策定	策定

CHAINSの整備	情報システム課
------------------	----------------

デジタル技術を活用した行政事務の効率化及び市民サービスの向上を図るため、庁内の情報通信基盤を更新します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
CHAINS*の更新	—	更新	更新

スマートシティサービス実装促進	スマートシティ推進課
------------------------	-------------------

スマートシティ*の実現に向けて地域課題の解決や新たな価値の創造に繋がるサービスの創出・実装を加速するため、民間企業等が行う実証事業に助成するとともに、多様な主体が連携を図るためのプラットフォーム*形成に向けて、市民等への普及啓発を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スマートシティ実証補助	2件/年	継続	2件/年
スマートシティの認知向上及びまちづくり参加意識の醸成	勉強会（セミナー等）の開催10回	継続	勉強会（セミナー等）の開催10回
多様なスマートシティサービスの実証・実装の促進	サービス検討・実証	継続	サービス検討・実証

デジタルデバインド*対策	スマートシティ推進課
---------------------	-------------------

すべての市民がデジタル化の恩恵を享受できる社会を実現するため、高齢者等のデジタル活用に向けたスマートフォン講座を開催するとともに、相談体制を構築します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スマートフォン講座の開催	70回/年	継続	70回/年
スマートフォン相談会の開催	15回/年	9回/年増	24回/年

ICTを活用した救急業務の推進【再掲】	救急課
----------------------------	------------

傷病者を医療機関へ搬送するまでの時間を短縮し、救命率向上を図るため、ICT*を活用した効率的で効果的な救急情報システムに更新します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
救急情報共有システムの更新	—	更新	完了

町内自治会のデジタル化推進【再掲・新規】			市民自治推進課	
地域活動の活性化・効率化や若年層などの参画を促すため、町内自治会活動のデジタル化*を支援します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
デジタル化支援	出前講座	6か所/年	6か所/年	
	研修	1回/年	1回/年	
	地域の実情に応じたコンサルティング	モデル実施 3か所	モデル実施 3か所	
	機器等導入費助成	24件	24件	
	アドバイザー派遣	6件	6件	

ちばレポ（My City Report）による市民協働の推進【再掲】			広報広聴課	
市民との協働による地域課題の解決に取り組むため、ちばレポ（My City Report）*を運用します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
ちばレポ（My City Report）の運用	運用	継続	運用	
ちばレポ教室の開催	4回/年	継続	4回/年	
テーマレポート*の実施	6回/年	継続	6回/年	

美術作品のデジタル化推進【再掲】			文化振興課	
市美術館の魅力を市内外に発信するため、所蔵作品をデジタル化し、ホームページで公開するとともに、様々な機会を捉えて活用します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
作品のデジタル化推進	デジタル化 2,000 作品	デジタル化 6,000 作品	デジタル化 8,000 作品	

MaaS 導入に向けた交通事業者への支援【再掲】			交通政策課	
MaaS*導入に向けた基盤を構築するため、交通情報のオープンデータ*化や、キャッシュレス化に向けた支援を行うとともに、非常時の情報連携システムの構築を検討します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
交通インフラサービスの向上（情報発信）	オープンデータ化導入支援	継続	オープンデータ化導入支援	
交通インフラサービスの向上（基盤整備）	検討	キャッシュレス化対応支援	キャッシュレス化対応支援	
非常時の情報連携体制の強化	—	検討	検討	

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
オープンデータ活用事例数	件	24	28
支払いが1000件/年以上ある窓口のうち、キャッシュレスで支払いが可能な割合	%	21.5	80.0
オンライン手続可能な件数に対する、実際にオンラインで手続された件数の割合	%	43.0	50.0

施策の展開

- 急速に進展するテクノロジーを活用し、地域課題の解決や新たな価値の創造につなげていくためには、地域における先駆的な取組みを支援し、社会への実装を促進していく必要があります。
- 国家戦略特区*制度を活用し、ドローン*の実用化に向けた取組みや、多様な分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。また、都市の回遊性向上による賑わい創出のため、自動運転モビリティ*などの近未来技術の実証を推進します。

計画事業

ドローン宅配等の実用化の推進		国家戦略特区推進課	
ドローン活用による市民の利便性向上と、先端技術産業の集積を促進するため、ドローン宅配の実用化や、多分野でのドローンによるビジネスモデルの創出を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
ドローン宅配実装支援	飛行環境の実証	実装	実装
ドローン活用推進	行政課題型 1件/年 民間支援型 2件/年	行政課題型 1件/年増 民間支援型 1件/年増	行政課題型 2件/年 民間支援型 3件/年
操縦ライセンス取得支援	—	補助 5件/年	補助 5件/年

先端技術を活用したモビリティサービスの実現		国家戦略特区推進課	
都市の回遊性向上による賑わい創出のため、新たなモビリティサービスの実装を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
自動運転車サービスの導入促進	実証	自動運転レベル*4実証 インフラ整備	自動運転レベル4実証 インフラ整備
マイクロモビリティ*を活用したビジネスモデルの構築	実証	サービスの提供	サービスの提供
幕張新都心版 MaaS*の実現	実証	サービスの提供	サービスの提供

国家戦略特区制度の活用推進		国家戦略特区推進課	
地域経済の活性化を図るため、規制改革等を総合的かつ集中的に推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
規制改革メニューの活用	8件	3件増	11件
規制改革の提案	4件	3件増	7件

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
未来技術を活用した実証環境の提供件数	件	52	56

7-4

暮らしを支える基盤を創る

【関連する SDGs の目標】



市営住宅（小倉台団地）

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
居住促進区域*内の人口密度（再掲）	人/ha	90	90以上

7-4-1

住環境・生活基盤の充実

施策の展開

- 千葉市はこれまで、一定の期間に特定の世代が流入し、人口増加に伴う整備を実施してきたため、開発から40～50年が経過した現在、居住者の高齢化とともに、住宅や施設の老朽化が進んでいるほか、分譲マンションにおける担い手不足による管理不全等の問題も顕在化しています。このような中でも、将来にわたって持続可能なまちを実現するには、団地等を適切に維持し、活性化を支援するとともに、公共施設の適正管理を推進し、効率的・効果的に行政サービスを提供できる体制を整える必要があります。
- そこで、住宅団地への若年層の流入を図るため、新婚・子育て世帯の転居費用等を助成するとともに、居住者間の交流を図るため、コワーキングスペース*等の地域活性化拠点の整備を促進します。また、高齢化が進む花見川団地において、多様な世代が「住みたい」、「住み続けたい」と思える環境をつくるため、団地を拠点とした地域生活圏の活性化の取組みを進めます。さらに、分譲マンションの老朽化や管理の担い手不足に対応するため、管理適正化に向けた居住者主体の取組みを支援します。
- 市営住宅について、脱炭素化*等の時代の要請にも対応しながら居住環境の改善を図るため、計画的な修繕や再整備を実施します。
- 公共施設について、中長期的な視点から、施設の利用状況を踏まえた複合化や集約化等の効率的な利用を進めるとともに、計画的な施設の保全により、建物の長寿命化や改修費用の最適化を図ります。

計画事業

若年世帯の流入による住宅団地の活性化

住宅政策課

高経年住宅団地の活性化を図るため、新婚、子育て世帯等が高経年住宅団地に転居する際の費用や、団地活性化に資する施設の整備を支援します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
結婚新生活支援	30件/年	継続	30件/年
子育て世帯の住替え支援	—	90件	90件
職住近接の環境整備	—	コワーキングスペース等の整備、賃借	コワーキングスペース等の整備、賃借

花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進		都市政策課	
高経年化した花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR都市機構等と連携し、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備、花見川団地商店街の活性化、花見川・花島公園などの地域資源の活用、大学との連携等に取り組みます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
多様な世代が安心して住み続けられる環境整備	自動運転バスの実証実験の実施	団地内移動支援	団地内移動支援
花見川団地商店街の活性化	ワークショップの実施ほか	地域コミュニティ活動拠点の整備・運営	地域コミュニティ活動拠点の整備・運営
地域資源の活用	花見川、花島公園のアウトドアイベントと団地商店街イベントの連携実施	花見川サイクリングコースと団地商店街の連携ほか	花見川サイクリングコースと団地商店街の連携ほか

住宅確保要配慮者への円滑な入居支援		住宅政策課	
住宅確保要配慮者の円滑な賃貸住宅への入居を図るため、民間賃貸住宅の確保や相談体制の充実に取り組みます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
民間賃貸住宅入居支援制度における物件の確保	実施	継続	実施
居住支援協議会の相談体制の充実	—	居住支援協議会相談窓口運営開始	居住支援協議会相談窓口運営開始
家賃債務保証料の助成	7件/年	継続	7件/年

分譲マンションの管理適正化等の支援		住宅政策課	
分譲マンションの老朽化や入居者の高齢化等による管理不全を防ぐため、管理の適正化に関するアドバイザーの派遣や長期修繕計画の作成、建替えを支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
アドバイザー派遣	—	15管理組合	15管理組合
長期修繕計画作成支援	—	15管理組合	15管理組合
老朽化マンションの再生の促進	2管理組合	1管理組合	3管理組合

市営住宅の改善		住宅整備課		
市営住宅の長寿命化、バリアフリー化及び脱炭素化*を推進するため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、改善等を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
長寿命化型 改善	防水改善	実施	5団地	5団地
	外壁改善	実施	4団地	4団地
居住性向上型・ 福祉対応型 改善	給水設備	実施	2団地	2団地
	住戸改善	実施	400戸	400戸
機能更新・ 脱炭素化	住戸内手すり	実施	150戸	150戸
	エレベーター改修	実施	3団地	3団地
	給水ポンプ改修	実施	3団地	3団地
	トップコート塗替	実施	6団地	6団地
	太陽光パネル設置	—	3団地	3団地
	共用部等LED化	実施	13団地	13団地

市営住宅の再整備		住宅整備課		
市営住宅の居住環境及び周辺住環境の向上を図るため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、老朽化した市営住宅の除却等を行います。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
耐震性能の劣る住戸及び 用途廃止団地等からの移転		実施	千城台第6団地 北河原坂団地移転完了	千城台第6団地 北河原坂団地移転完了
耐震性能の劣る住戸及び 用途廃止団地等の解体		実施	北河原坂団地10戸解体完了	北河原坂団地10戸解体完了

千葉中央コミュニティセンターの再整備【新規】		資産経営課		
千葉中央コミュニティセンターの老朽化を解消し活性化を図るため、千葉中央コミュニティセンターを再整備します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
建物の再整備		基本設計	設計・工事等	工事
公共・公用としての入居機能 の整理		入居機能の決定	各施設の要求水準の決定 テナント退去交渉等	既存施設の退去又は 仮移転完了

住居表示の整備		区政推進課		
住民生活の利便性向上を図るため、住居表示の整備を推進します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
住居表示の実施		—	調査、住居表示実施	住居表示実施

狭あい道路の拡幅		土木管理課、建築指導課		
災害時等における安全性及び良好な住環境の形成を図るため、後退用地等を寄付していただいた場合に、門扉の撤去等に要する費用を助成するとともに、後退用地等に係る道路を整備します。				
取組項目		令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
狭あい道路の拡幅整備		拡幅整備 20.2km	拡幅整備 2.4km	拡幅整備 22.6km

私道の整備助成		土木管理課	
道路利用者の安全と生活環境の向上を図るため、私道の舗装や排水施設の整備費に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
私道整備の助成	5件/年	継続	5件/年

社会教育施設保全計画の策定		生涯学習振興課	
公民館及び図書館施設の計画的な保全及び再整備のため、社会教育施設保全計画を策定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
社会教育施設保全計画の策定	検討	策定	策定

公共施設の計画的保全		各所管課	
利用者の安全と利便性を確保し、建物の長寿命化を図るため、公共施設の改修を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
劣化度調査	—	2か所	2か所
実施設計	—	47か所	47か所
改修工事	—	64か所	64か所

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
居住促進区域*内の高経年住宅団地の高齢化率	%	36.1	36.1

7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

施策の展開

- 市民が良好な環境で生活を送るには、安定した上下水道サービスの供給が欠かせません。しかし、今後、更新時期を迎える施設等が急増することから、計画的な更新が必要となっています、
- そこで、浄水場等の適切な機能更新と配水管の整備を行うとともに、下水道施設における水処理施設の改築・移設や、排水施設の整備、補修及び改築を実施し、持続可能な水環境づくりを推進します。

計画事業

適切な施設管理（水道施設の更新）

水道事業事務所

持続的に安全・安心な水を提供するため、計画的に浄水場などの施設を更新します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
浄水場等の施設の更新	平川浄水場の更新	平川浄水場の更新 大木戸浄水場の更新	平川浄水場の更新完了 大木戸浄水場の更新

水道管路の整備

水道事業事務所

安全・安心な水を提供するため、水道管路を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
配水管の整備	—	整備 0.9km	整備 0.9km
	—	舗装復旧 16,811 m ²	舗装復旧 16,811 m ²
	—	実施設計（北谷津町）	実施設計（北谷津町）

下水道施設の再構築

下水道施設建設課

下水道施設の適正な機能を確保するため、中央処理区ポンプ場、中央浄化センター及び印旛処理区ポンプ場における水処理施設の再構築に向けた改築・移設等を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
中央処理区ポンプ場及び中央浄化センターの再構築	基本設計 水処理躯体改築1か所	水処理施設躯体改築3か所・ 移設3か所・撤去2か所 暫定滞水池改造1か所	水処理施設躯体改築4か所・ 移設3か所・撤去2か所 暫定滞水池改造1か所
印旛処理区ポンプ場の再構築	基本設計	公園撤去、完了	公園撤去、完了

下水道ストックマネジメントの推進	下水道整備課
	下水道施設建設課
	下水道維持課

良好な生活環境を守り、持続的に下水道が使用できるようにするため、下水道施設の適切な維持管理及び計画的な改築を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
管渠施設のカメラ調査・点検	1,898km	450km	2,348km
管渠施設の改築	改築工事 30.5km	改築工事 35.0km	改築工事 65.5km
	マンホール蓋更新	マンホール蓋の更新 2,500個	マンホール蓋の更新 2,500個
処理場（機械・電気設備）の改築	2か所/年	継続	2か所/年
ポンプ場等（機械・電気設備）の改築	19か所	11か所	30か所
草の水のみちの護岸改良	984m	177m	1,161m
第2期管路施設包括的民間委託の実施方針策定	—	実施方針（第2期）策定	実施方針（第2期）策定

下水道未普及地域の解消（污水管渠の整備）	下水道整備課
----------------------	--------

衛生的で快適な生活環境の実現と、海や河川等の水質保全を図るため、下水道の未普及地区の污水管渠の整備を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
污水管渠の整備	12,301ha	10.7ha	12,312ha

排水施設の改築	下水道維持課
---------	--------

持続的に排水施設を使用できるようにするため、老朽化した一般排水施設等の調査・点検及び計画的な補修・改築工事を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
一般排水施設等の維持管理・改築	調査・点検	8.7km（調査）	70.1km
	修繕・改築	—	0.62km
	浚渫	2,815 m ³	6,422 m ³
都市下水路の維持管理・改築	鋼矢板護岸	—	201m
	塗装	—	201m
	修繕・改築	—	1.25km

農業集落排水施設の再編整備	下水道整備課
---------------	--------

農村の生活環境を保全するため、農業集落排水の処理場を統合し公共下水道へ接続するとともに、施設等の修繕・更新を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
農業集落排水施設の再編	施設の再編 1地区	施設の再編 3地区	施設の再編 4地区

下水道の資源・エネルギー利用の推進【再掲】		下水道経営課、下水道施設建設課	
下水道処理施設の温室効果ガス*排出量を削減するため、下水汚泥固形燃料化施設*の整備及び再生可能エネルギー*の活用を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
汚泥燃料化施設の整備	—	燃料化施設 1基	燃料化施設 1基
再生可能エネルギーの活用推進	検討	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス*利活用技術調査	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス利活用技術調査

水道管路の耐震化【再掲】		水道事業事務所	
地震発生時の安定給水を確保するため、水道管路の耐震化を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
管路の耐震化	—	4.5km	4.5km

下水道施設の耐震化【再掲】		下水道整備課、下水道施設建設課	
大規模地震発生時においても、下水道の流下機能や処理機能を確保するため、管渠及び処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
管渠の耐震化	701.0km	59.2km	760.2km
処理場・ポンプ場の耐震化	1か所	5か所	6か所

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
下水道管渠改築率	%	0	57



分野 8

地域経済

分野目標：地域経済を支える産業や人材が育ち、新たな価値が生まれるまちを実現します

政策体系

8-1 地域の産業を支え・育てる

- 8-1-1 地域経済の新たな担い手の創出
- 8-1-2 持続可能な地域経済の確立に向けた経営力強化
- 8-1-3 雇用の確保・拡大と人材育成の強化
- 8-1-4 産学官等の連携強化

8-2 観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める

- 8-2-1 観光資源の価値向上
- 8-2-2 MICEの推進

8-3 農林業の持続的な発展を支える

- 8-3-1 農業の成長産業化
- 8-3-2 農業の担い手の確保・育成
- 8-3-3 農と森林が持つ多面的機能の保全と活用

8-1

地域の産業を支え・育てる

【関連する SDGs の目標】



産業用地の整備（ネクストコア千葉誉田）

【基本目標】

項目名	単位	実績値	
		令和3年度末	目標値 令和7年度末
民営事業所の従業者数	人	409,835 ^{※1}	410,000
市内民営事業所数	事業所	32,235 ^{※1}	32,300
市内新設事業所数	事業所	7,393 ^{※2}	7,400
市内総生産額	億円	41,364 ^{※3}	41,400

※1 令和3年（2021年）6月速報集計値

※2 令和元年（2019年）実績値

※3 令和元年度（2019年度）名目値

8-1-1

地域経済の新たな担い手の創出

施策の展開

- これまで培った都市機能の集積を活かし、今後も千葉市が東京圏の主要都市及び県内における経済の中心として地域経済を牽引していくためには、その原動力となる企業や創業者から選ばれる環境を整備する必要があります。
- 企業の立地が進むネクストコア千葉誉田*の利便性向上を図るため、周辺環境を整備するとともに、新たな産業用地確保に向けた取組みを進めるほか、さらなる新規企業の誘致や既存企業の追加投資促進に向け、補助制度を拡充します。
- また、新たな地域経済の担い手となる創業者を支援するため、企業の成長段階に応じた切れ目ない支援を行います。

計画事業

企業立地の促進		企業立地課	
税源の涵養と雇用の創出、地域経済の活性化による都市活力の維持・向上を図るため、市外企業の新規立地及び市内企業による追加投資を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
企業立地促進事業支援 (補助制度、融資制度)	330件	66件増	396件
企業立地セミナー開催	1件/年	継続	1件/年
企業立地促進事業支援制度の拡充	—	実施	実施
オフィスビルへの企業立地の促進	10件	30件増	40件
オフィス建築に係る支援制度 の新設	—	実施	実施

産業用地の整備		企業立地課、道路計画課	
更なる企業の集積を図るため、ネクストコア千葉誉田*の周辺道路整備を進めるとともに、新たな産業用地の確保に向けた取組みを行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新たな産業用地の確保	候補用地の選定・認定	継続 認定用地の造成・企業誘致	継続 認定用地の造成・企業誘致
ネクストコア千葉誉田 周辺道路	高田 IC	用地取得	道路整備 インターチェンジ 供用開始
	大膳野町 誉田町線	調査・設計	道路整備 L=300m

創業支援		産業支援課	
地域経済活動の新たな担い手を創出するため、各関係機関と連携した創業支援ネットワークを構築し、多様な創業形態や事業ステージに応じた各種支援策を提供します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
創業支援補助金助成	20件/年	10件増/年	30件/年
アクセラレーションプログラム* 採択者の拡充	5者/年	5者/年増	10者/年
スタートアップ・エコシステム* の構築	30団体	15団体増	45団体
イノベーション拠点整備支援	—	2施設/年	2施設/年
女性限定起業塾の実施	—	2回/年	2回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
新規企業立地件数	件	308	396
新規立地企業の納税額	百万円	27,908	33,576
トライアル発注*認定企業数	件	5	15
スタートアップ*支援受給後の創業者数	人	40	77
新規立地企業の市民雇用人数	人	16,993	18,913

施策の展開

- 千葉市の地域経済は、市内企業の持続的な発展・成長に支えられています。
- 市内中小企業等の発展・成長と、時代に合わせた事業変革を促すため、業種や業態の転換や、新たな事業分野への進出等にかかる費用を助成するとともに、デジタル化*や脱炭素化*への取組み等、社会情勢に合わせた変革に向けた取組みを支援します。
- また、市内企業の経営者の高齢化に対応し、安定的な事業の継続を促進するため、事業承継に向けた課題の整理等を支援するとともに、商業エリアの空洞化を解消し賑わいを創出するため、空き店舗の活用を支援する取組み等を推進します。
- さらに、公設市場として生鮮品等の安定的な提供を行うため、老朽化した地方卸売市場の再整備を推進します。

計画事業

業種・業態転換や事業創出への支援

産業支援課

市内中小企業の発展、成長を促進するため、事業変革や成長力ある新たな事業活動及び産学連携による事業創出等を支援します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
業種・業態転換、新分野進出に係る取組支援	5件/年	1件/年増	6件/年
トライアル発注*認定商品の店内試験導入	10件/年	3件/年増	13件/年
新製品等販売促進支援	—	5件/年	5件/年
産学連携事業の創出に係るビジネスアドバイザーの配置	—	1人増	1人
産学共同研究助成	6件/年	2件/年増	8件/年

企業の変革支援

産業支援課

社会情勢の変化に対応した企業活動の展開のため、企業におけるDX*や脱炭素化を含むSDGs*への取組みを支援します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
企業のデジタル化の推進支援	2件/年	1件/年増	3件/年
中小企業のSDGs、脱炭素への取組み助成	—	30件/年	30件/年
イノベーション創出支援	6件/年	2件/年増	8件/年

安定的な経営維持の支援		産業支援課	
地域経済の担い手を確保するため、事業承継に向けての各企業の課題整理や、意欲ある地域商業者を支援します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
ローカルベンチマーク*を活用した事業承継支援	—	3件/年	3件/年
商業者への販売促進支援	—	制度設立 助成 6件	制度設立 助成 6件
空き店舗活用への支援	—	制度設立 助成 6件	制度設立 助成 6件

地方卸売市場の再整備【新規】		地方卸売市場	
施設の老朽化及び陳腐化に対応するため、地方卸売市場の再整備を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
施設整備	—	基本設計	基本設計

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
産業振興財団の経営相談の件数	件	2,083	2,500
事業承継又は事業継続計画*の策定支援を行った企業数	社	1	5
産業振興財団の事業可能性評価委員会における採択事業数	件	119	216
市中小企業資金融資制度「チャレンジ資金」及び「トライアル資金」の実行件数	件	21	40

施策の展開

- 千葉市は、高い交通利便性と産業集積を有しており、市内外の人々にとっての就労の場として、大きな役割を担っています。しかし、労働力人口の減少による人材不足は、市内中小企業においても課題となっており、企業側の人材確保・育成に関するノウハウを培う必要があります。
- 従業員が業務に必要な知識や技能を習得できる環境を整えることで、企業が安定的に人材を確保でき、経営基盤の強化につなげられるようにするため、新規採用従業員の資格取得に係る費用や人材育成に係る研修費等を助成します。
- また、様々な事情により離職した人や正規雇用への転職を希望する人など、多様な求職者のニーズに合わせて就労・転職を支援するため、相談から就労まで、段階的で切れ目の無いサポートを行います。
- さらに、次世代の産業人材を育成するため、西千葉子ども起業塾をはじめとする、産学官連携によるアントレプレナーシップ教育*の充実を図ります。

計画事業

企業の人材採用力の向上支援		雇用推進課		
企業における人材採用力の向上と人材定着を支援するため、資格取得に関する費用や人材育成に係る研修費等を助成します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
新規採用従業員の資格取得費助成	—	調査・制度設計 新制度による助成 80 者	調査・制度設計 新制度による助成 80 者	
人材育成研修費助成制度の拡充	—	調査・制度設計 新制度による助成 90 者	調査・制度設計 新制度による助成 90 者	
就労・転職支援		雇用推進課		
就労氷河期世代などの多様な求職者の就労・転職を支援するため、相談・スキルアップ・マッチング会の実施等により一貫したサポートに取り組みます。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
多様な求職者に対する就労・転職支援	実施	対象世代の拡充	対象世代の拡充	
産業人材の育成		雇用推進課		
起業家精神を有し、新たな価値・仕事を創出することができる人材を育成するため、産学官連携によるアントレプレナーシップ教育を推進します。				
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標	
アントレプレナーシップ教育の推進	コンテンツの創出・実施	コンテンツ 2 件	6 件増	8 件
		出前事業 4 校	5 校増	9 校
	広報活動	実施	継続	実施

キャリア教育の推進【再掲】		教育改革推進課	
児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促すため、企業等との連携により出前授業をはじめとした職業体験学習を推進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
キャリア教育推進連携会議の開催	2回/年	継続	2回/年
副読本の改訂	実施	継続	実施
企業等による出前授業	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
資格取得費助成の利用事業者数	者	0	80
中小企業人材育成研修費助成の利用事業者数	者	22	90
制度を利用して就労・転職につながった人数	人	2	15
アントレプレナーシップ教育*に関するコンテンツ提供数	件	0	17

施策の展開

- 人口減少・少子高齢化や、人々のライフスタイルの変化等により、地域課題は多様化・複雑化しており、行政だけでなく、民間企業、大学等が持つ知見を活用し、多様な主体の連携により、解決に取り組む必要があります。
- 地域課題の解決に向けて、多くの大学・短期大学が立地する千葉市の特性を活かし、大学等との連携事業や共同研究を推進します。

計画事業

大学との連携

政策調整課

学術・文化等の向上・発展、活力あるまちづくりのため、大学及び短期大学との連携・協力を推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
課題解決のための共同研究の実施	2件/年	1件/年増	3件/年
大学連携事業の実施	285件	30件増	315件

公民共創の推進【再掲】

政策調整課

市民サービスの向上や行政課題を解決するため、民間提案制度の積極的な活用を促進し、民間事業者のノウハウ等を活かした取組みを実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
提案募集の拡充	検討	実施	実施
提案者へのインセンティブ制度の導入	検討	導入	導入

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	目標値
		令和3年度末	令和7年度末
市と大学が連携して実施した取組数	件	275	315
千葉市・大学等共同研究事業	件/年	2	3
連携協定締結企業との連携事業数	件	43	65

8-2

観光の振興とMICEの推進によりまちの魅力を高める

【関連するSDGsの目標】



富田さとにわ耕園

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
観光入込客数	千人	13,832	26,500

8-2-1

観光資源の価値向上

施策の展開

- 千葉市は成田空港、東京都心からともに近いという地理的優位性を有しているほか、日本最大級のコンベンション施設である幕張メッセを擁し、東京湾に面した日本一の長さを誇る人工海浜や内陸部の緑などの自然にも恵まれています。しかし、認知度の高い観光資源が不足していることから、地域資源を活用した効果的なプロモーション活動を展開していく必要があります。また、インバウンド*需要の回復に伴う都市間競争の激化を見据え、従来の取組みに加え、新たな視点による観光施策の推進が必要となります。
- そこで、多様な業種と連携し、地域資源を活用した体験型観光プログラムを造成するとともに、イベントの開催やプロモーションビデオの制作等により、効果的なプロモーション活動を展開します。
- さらに、訪日外国人客を誘客するため、海外に向けたプロモーションや受入環境の整備を進めます。

計画事業

国内向け観光プロモーションの推進

観光プロモーション課

交流人口の増加による地域活性化を図るため、地域資源を最大限に活かし、新たな魅力の発掘や、効果的な情報発信を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
千葉あそびの配布	186 か所配付	47 か所配付増	233 か所配付
工場夜景モニターツアーの開催	2回/年以上	継続	2回/年以上
異業種連携による 観光コンテンツの造成	2件	7件増	9件
グリーンツ ーリズム*の 推進	イベント等の開催	—	2回/年
	ドライブマップの発行	—	発行
	プロモーションビデオの放映	—	実施
	SDGs*学習等	—	実施
	ICT*を活用した 観光プログラムの実施	—	実施

インバウンドの推進

観光プロモーション課

訪日外国人客を誘致するため、海外に向けたプロモーションや訪日外国人客を受け入れるための環境整備を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
国内及び海外商談会への参加	2人	2人増	4人
アニメ作品を活用した誘客イベントの実施	—	1回	1回
誘客キャンペーンの実施	—	1回/年	1回/年
多言語対応 Web サイトの周知	Web サイト運営	2回/年	2回/年
観光ガイドスキルアップ研修の実施	—	2回/年	2回/年
インバウンド*集客プロモーションプランの更新	—	調査・プラン更新	調査・プラン更新

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
外国人延べ宿泊客数	千人泊	27	500

施策の展開

- 新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、国際会議の開催方法等のMICE*分野に様々な変化が起きている。また、各都市においても国際会議等の誘致を目的とした補助制度を運用しており、MICE開催都市として選ばれ続けるためには、時代を捉えた効果的な補助制度を確立する必要があります。
- そこで、MICEの開催支援を通じた地域経済の活性化を図るため、既存の各種MICE支援制度を見直し、多様な分野や開催形態に応じた誘致・開催支援を行います。

計画事業

MICEの推進

観光MICE企画課

MICEの開催を通じた地域経済の活性化を図るため、MICEの多様な分野や開催形態に応じた誘致・開催支援を行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
MICE誘致へ向けた開催支援	国際会議・ハイブリッド会議等への助成	5件/年	5件/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
国際会議開催件数	件/年	公表前	50

8-3

農林業の持続的な発展を支える

【関連する SDGs の目標】



【基本目標】

施設園芸における燃油使用量削減の実証実験の様子（農政センター）

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
市内農業経営体における3,000万円以上の売上規模層の率	%	3.4*	6.7

※ 令和2年（2020年）実績値

8-3-1

農業の成長産業化

施策の展開

- 千葉市の農業を、次の世代に継承し持続的に発展させるため、国の「みどりの食料システム戦略」や2050年カーボンニュートラル*達成に向けた取組み等を踏まえ、農業分野においても、環境負荷の低減を図りつつ、競争力の強化と成長産業化を進める必要があります。
- 農政センターを本市農業の成長産業化を支援する現場の拠点とするため、スマート農業*技術や燃油削減技術*等の実証の場として活用し、農業者への普及を図るとともに、営農型太陽光発電*によるパネル下での農産物の栽培技術の実証に向けた検討を進めるほか、データを活用した農業技術指導を行います。
- 市内農畜産物のブランド力を向上させるため、食のブランド「千」を推進し、認定品の充実や認知度向上に向けて取り組むとともに、市内農業・食品関連産業の競争力を強化するため、6次産業化*に向けた取組みを支援します。また、新鮮で安心な農産物を市民に供給するとともに、輸送における環境負荷の低減を図るため、地産地消*を推進します。

計画事業

スマート農業の地域の農業者への展開

農業生産振興課

先端技術を活用した生産力向上と持続性の両立を図るため、農政センター等にスマート農業の技術実証フィールドを設置するとともに、導入に必要な経費の助成や機器のレンタルを行います。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
スマート農業技術の実証	実証数 9件	6件増	15件
	施設基本設計・整備	整備	整備
機器・機械の導入助成	23件	5件増	28件
スマート農業機器の普及促進	レンタル用機器の検討	機器導入・レンタル実施	機器導入・レンタル実施

営農型太陽光発電における農業生産技術の研究【新規】		農業生産振興課	
農業への再生可能エネルギー*の導入と農業生産力の両立を目指すため、農政センターにおいて営農型太陽光発電*と両立した農業生産技術を研究します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
営農型太陽光発電による栽培実証	検討	実証実験実施 営農型太陽光発電設備の設置	実証実験実施 営農型太陽光発電設備の設置

施設園芸における燃油使用量削減の実証実験の実施		農業生産振興課	
施設園芸における燃油削減技術*を普及するため、農政センターにおいて実証実験を行うとともに、その成果を踏まえ、市内農業者への普及を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
燃油削減技術の実証	マニュアル作成 実証実験実施	マニュアル公表 実証実験実施	マニュアル公表 実証実験実施
	—	講習会の開催 1回/年	講習会の開催 1回/年
燃油削減技術導入助成	—	調査 助成 15件	調査 助成 15件

環境と調和した農業の推進【新規】		農業生産振興課	
環境と調和した農業を推進するため、健全な土づくりや効率的な施肥を進めるとともに、有機農業に取り組む農業者に対する支援を行うため、農政センターのほ場での有機農業技術の調査研究を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
健全な土づくりの取組支援	土壌分析 緑肥作物種子購入助成	継続	実施
有機農業の実証展示用ほ場の設置	準備	実証実験実施 勉強会開催 1回/年	実証実験実施 勉強会開催 1回/年
環境保全型農業支援	—	交付金交付	交付金交付

農業技師による技術指導の強化		農業生産振興課	
農業者が直面している課題を解決し、生産性の高い農業経営を確立するため、生産や経営に係る各種データを活用した技術指導ができる職員を育成し、農業者に対して、データを活用した技術指導を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
データ活用型農業技術指導における勉強会の開催	2回	10回増	12回

食のブランド「千」の推進		農政課	
市民が誇れる千葉市の「食」のブランドを確立するため、「食のブランド認定制度」を運用し、市内農畜産物を始めとする市内産品や食関連サービスのブランド認定品を創出するとともに、販売イベント等による認知向上や首都圏マーケットでの販路の拡大を進めます。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
認定事務局の運営	認定事務局運営	継続	認定事務局運営
認定品の創出	10件/年	15件/年増	25件/年
認定品の露出・販売イベントの実施	5回/年	継続	5回/年

農業者や食品関連事業者の経営力向上支援		農政課	
市内農業や食品関連産業の競争力を強化し、市内事業者の経営安定化を図るため、商品力・販売力強化に資する個別支援を実施するとともに、6次産業化*に係る費用等を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
市内食品関連事業者・農業者への個別支援	—	支援先選定会の実施 1回/年	支援先選定会の実施 1回/年
	—	個別支援 20件/年	個別支援 20件/年
	—	テストマーケティングの実施	テストマーケティングの実施
6次産業化事業への助成	3件/年	2件/年増	5件/年

地産地消の推進		農政課	
地産地消*を推進し、市内生産者の経営安定化と環境負荷の低減を図るため、啓発イベントを実施するとともに、市内の旬の農産物や市内事業者の加工品を詰め合わせたセットの販売等を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
PR イベントの実施	12回/年	8回/年増	20回/年
HP や SNS*による情報発信	実施	継続	実施
生産者・事業者とのマッチング	実施	継続	実施
つくたべ BOX の販売	4回/年	継続	4回/年

農業労働力確保支援【新規】		農業経営支援課	
農業経営の安定化を図るため、新規参入や規模拡大等に伴い新たな労働者を雇用する農業者に対し、人材募集に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
農業労働者雇用に係る費用の助成	—	5経営体/年	5経営体/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
認定農業者*の農産物生産量	kg	71,948	81,095
地産地消推進店登録数	店	49	60
支援先商品のブランド「千」認定件数	件	0	12

8-3-2

農業の担い手の確保・育成

施策の展開

- 令和2年の千葉市の農業経営体は911経営体で、5年前に比べ213経営体減少するなど、深刻な状況です。そのような中で、農業の持続性を確保するためには、意欲ある担い手を確保・育成していく必要があります。
- 青年農業者や法人等、新たな担い手を確保するため、有力農業法人を戦略的に誘致するとともに、新規就農者育成に向けた研修の実施や初期投資費用への助成を行うほか、耕作放棄地の発生防止と解消を促進するため、再生費用を助成するとともに、新たな担い手への農地集積を促進します。
- また、次世代の農業の担い手を育成するため、小中学生に向けた農業体験学習を実施します。

計画事業

意欲ある農業の担い手の確保・育成【新規】		農業経営支援課	
農業の多様な担い手を確保・育成するため、新規就農者を育成する研修を実施するとともに、研修受講者に対し、就農に向けた施設・機械設備導入に係る費用の助成等を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
ニューファーマー育成研修の実施	新規就農希望者研修1人 新規就農アドバンス研修1人	ニューファーマー育成研修 5人/年	ニューファーマー育成研修 5人/年
機械設備等の導入及び修繕費用助成	—	13経営体	13経営体
リユース農業施設*データ収集及び提供	—	全市調査	全市調査
次世代向け農育事業の推進		農政課	
子ども達の農業への関心を高め、次世代の農業の担い手を育成するため、小中学生を対象に、農業や自然科学等に関する講義及び実習を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
小・中学生向けの農業教育講座の実施	20講座/年	10講座/年増	30講座/年
農業法人等の新たな誘致戦略【新規】		農地活用推進課	
他地域で展開する有力農業法人の参入や経営発展を目指す次代の担い手となる農業者の成長を支援するため、施設・機械設備導入に係る費用を助成するとともに、耕作放棄地を有効活用する仕組みを構築するなど、戦略的な誘致活動を実施します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
農業法人への補助事業の実施	各種補助制度の見直し	新制度での各種費用助成	新制度での各種費用助成
耕作放棄地活用検証事業による耕作放棄地の再生	実施	継続	実施
新たな戦略に基づく法人の誘致活動の実施	実施	継続	実施

耕作放棄地の発生防止と利用促進

農地活用推進課

耕作放棄地の発生防止と解消を促進するため、耕作放棄地の再生に係る費用を助成するとともに、新たな担い手や法人等への農地の流動化を促進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
各種事業による耕作放棄地の再生	耕作放棄地整備事業 実施	継続	実施
	農地銀行活動支援事業 実施	継続	実施
農地情報DX*化の推進	調査・検討	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
新規就農者数	人/年	16	12
担い手の農地集積面積	ha	596.93	716.93

8-3-3

農と森林が持つ多面的機能の保全と活用

施策の展開

- 農や森林は、食料を安定的に供給する役割や、水源の涵養、土壌の保全、災害防止、景観形成など、貴重な資源としての活用のみならず、市民に憩いや潤いを与えるものとしての様々な効果が期待されています。
- 農業・農村と森林が持つ多面的な機能の維持増進と積極的な活用を図るため、富田さとにわ耕園へ見晴台を設置し、農業交流施設としての機能を充実させるとともに、大学と連携したイベント等を実施し、いずみグリーンビレッジ3拠点*全体での地域活性化を進めます。
- また、本市農業に対する市民の理解醸成を深めるため、農政センターのコミュニケーションエリアの有効活用に向けた検討を進めます。
- さらに、森林を適切に保全管理するため、保全管理を行う組織を支援し、担い手の確保を推進します。
- 加えて、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、捕獲用箱わなの貸出台数を増やすとともに、捕獲に関する研修会を開催します。

計画事業

いずみグリーンビレッジ3拠点の充実		農政課	
3拠点を通じて都市部と農村部の交流を促進し、地域の農業振興と活性化を図るため、大学との連携によりいずみ地区をPRするとともに、富田さとにわ耕園の施設整備を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
大学との連携	ロゴマークを活用したPR	継続	継続
	いずみハロウィン キャンドルナイトの実施	学生の創意工夫による 地域のPRやイベント の開催	学生の創意工夫による 地域のPRやイベント の開催
見晴台の設置	—	設置	設置
農政センターのリニューアル（コミュニケーションエリアの活用検討及び改修他）【新規】		農業経営支援課	
千葉市の農業に対する市民の理解醸成を進めるため、農政センターのコミュニケーションエリア(管理棟、多目的ホール、遊歩道、林地等)の活用に係る計画を策定します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
コミュニケーションエリア 活用計画策定	—	調査・検討	調査・検討
緑農住区開発土地基盤整備の推進		農政課	
都市近郊農業の生産基盤と一体的に良好な住宅用地の創出を図るため、周辺道路の整備を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
道路等整備	道路 1,180m	道路 380m	道路 1,560m
	—	ボックスカルバート*7m	ボックスカルバート 7m
地域森林の保全管理を行う組織への支援【新規】		農業経営支援課	
集落周辺の森林を適切に保全管理するため、新たに保全管理活動に取り組む組織に対し、活動に係る費用を助成します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
森林保全組織活動支援金助成	—	2組織/年	2組織/年

有害鳥獣対策の推進		農業経営支援課	
有害鳥獣による農作物被害を防止するため、捕獲用箱わなの貸出台数を増やすとともに、捕獲に関する研修会を開催します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
捕獲用箱わなの貸出し台数の拡大	保有 79 台	新規購入 42 台	保有 121 台
捕獲研修会の実施	2 回/年	1 回/年増	3 回/年

農福連携の推進【再掲】		障害者自立支援課	
障害者の就労や生きがいがいつくりの場を生み出すため、農家等と障害福祉サービス事業所等のマッチングに係る支援を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
障害者の農業体験	—	3 回	3 回
障害福祉サービス事業所等に対する研修等の実施	検討・実施	継続	検討・実施
農福連携*に係る先進事例の調査・研究	—	実施	実施

重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値	
		令和3年度末	目標値 令和7年度末
森林ボランティア団体の会員数	人	98	98
いずみグリーンビレッジ3拠点*来場者数	万人	23.8	24.6

參考資料

1. 用語解説

あ行

アーバンスポーツ（119、120、129 ページ）

BMX（フリースタイル）、スケートボード、インラインスケートなどの広い場所を必要とせず、個人が気軽に始められる、都市住民が参加しやすいスポーツのこと。

空き地バンク（126 ページ）

各地方自治体等が空き地の情報を WEB サイトを活用する等により利活用希望者に紹介する制度のこと。

アクセラレーションプログラム（162 ページ）

ベンチャー企業や中小企業を対象に、アクセラレーターと呼ばれる支援者との定期的な面談や伴走型の支援などを通して、短期間で事業を成長させるためのプログラムのこと。

アフタースクール（98、99 ページ）

原則として小学校敷地内において、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を一体的に運営するもの。保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に安心・安全な居場所を提供するとともに、多様な体験・活動の機会を提供する。

あんしんケアセンター包括3職種（67 ページ）

あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の業務を適切に行うために配置される「主任ケアマネジャー」「社会福祉士」「保健師」の専門職のこと。

アントレプレナーシップ教育（165、166 ページ）

起業家精神を育む教育のこと。千葉市では、「未来の千葉を担う子どもたちのアントレプレナーシップを育成する」という想いを共有した企業、大学、行政等が、それぞれが持つ強みを持ち寄り、また弱みを補い合いながら幅広く活動をしていくため、「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba」が2021年12月に設立されている。

いずみグリーンブリッジ3拠点（176、177 ページ）

都市部と農村部との交流を図り、農業の振興と地域の活性化を目指すため、若葉区東部の鹿島川流域を中心とする「いずみ地区」を対象とした「いずみグリーンブリッジ構想」に基づき、富田町・下田町・中田町の各地区に整備された、富田さとにわ耕園、下田農業ふれあい館、中田やつ耕園のこと。

インクルーシブ（6、9、30、103 ページ）

包摂的な、包み込むという意味。「誰もが孤立したり、排除されたりしないよう援護し、一人ひとりを社会の構成員として包み、支え合う」という理念のこと。

インクルーシブ教育システム（89 ページ）

人間の多様性の尊重や、障害者が精神的及び身体的な能力等を最大限に発達させ、社会参加することが可能となるよう、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みのこと。

インバウンド（168、169 ページ）

一般的に訪日外国人旅行のこと。訪日外国人が消費をすることによる経済効果が期待される。

ウォーカーブル（129 ページ）

道路・公園・民有地などを一体的に活用し、ひと中心の豊かな生活を実現するために、都市全体として「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指す取組みのこと。

雨水貯留浸透施設（39 ページ）

雨水を一時的に貯めたり地下に浸透させるなどして、道路や河川への雨水流出量を抑制する施設のこと。

営農型太陽光発電（19、171、172 ページ）

農地に支柱を立てて上部空間に太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組みのこと。

エコパートナー（16 ページ）

環境学習や環境活動を本市と協働で行っていく団体（企業を含む）のこと。

エリアマネジメント（129、130 ページ）

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組みのこと。

エリアリノベーション（29 ページ）

既存の建物や公園などについて、大規模な改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。

エンゼルヘルパー（83、84 ページ）

妊娠中や出産後1年未満の、昼間、家事や育児の手伝いをしてくれる人がいない方などを対象に、本市と契約したヘルパーを派遣し、家事や育児を援助し、子育てを支援する制度のこと。

オオガハス（25、32、132、134、135、136 ページ）

昭和26年（1951年）に検見川の遺跡から発掘された2000年以上も前の実から発芽・開花したハス。発掘・発芽・開花を成功させた大賀一郎博士にちなみ「オオガハス」と呼ばれている。「検見川の大賀蓮」として県の天然記念物に指定されているほか、「市の花」にも制定され、本市の象徴となっている。

オープンデータ（138、139、148、149、151 ページ）

行政等が保有するデータを、機械可読形式で、かつ、誰もが二次利用可能である旨の著作権意思表示を行い、公開したデータのこと。

温室効果ガス（15、17、159 ページ）

温室効果をもたらす大気中に拡散された気体のこと。京都議定書では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素などが削減対象の温室効果ガスと定められた。

か行

カーシェア（15 ページ）

1 台の自動車を複数の会員が共同で利用する自動車の新しい利用形態のこと。

カーボンニュートラル（6、15、18、171 ページ）

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量との差し引きが全体としてゼロになること。なお、千葉市では令和 2 年（2020 年）11 月 20 日に「千葉市気候危機行動宣言」を公表し、2050 年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指している。

カーボンフットプリント（18 ページ）

Carbon Footprint of Products の略。商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO₂ に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みであり、マークが印字されている身近な商品が出てきている。

街区公園（29 ページ）

主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園のこと。1 か所あたり、面積 0.25ha を標準として配置する。

回生電力（19、138、139 ページ）

モーターの減速時の運動エネルギーなどの余剰エネルギーを回収し、変換された電力のこと。

環境マイスター（18 ページ）

本市が、環境教育リーダー養成研修（環境省主催）などを修了した方や、市内で環境教育を実施している団体を登録し、各種の環境問題に関する専門家として、講座等の講師として活躍していただく制度のこと。

感震ブレーカー（51 ページ）

地震時に設定以上の揺れを感知した場合に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具のこと。

ギガタブ（98 ページ）

GIGA スクール構想実現のため、1 人に 1 台貸与しているタブレット端末の千葉市における愛称のこと。

キッズガード（54、55 ページ）

園外活動における園児の安全を確保するために、園庭の無い保育園などにおいて、見守り活動などの安全対策を行う保育支援者のこと。

キッズゾーン (54、55 ページ)

園外活動における園児の安全を確保するために、「キッズゾーン」の路面標示を行うことで、自動車の運転者等に対して注意喚起することを目的として設定した区域のこと。

機能別消防団員 (47、48 ページ)

仕事や家庭の都合などで全ての消防団活動への参加が難しい場合に、それぞれの能力を活かしながら、特定の消防団活動や時間の許す範囲内での活動を行うことができる消防団員のこと。

キャリア教育 (89、166 ページ)

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。

救急高度シミュレーター (48 ページ)

救急救命士が行う気管挿管や静脈路確保などの特定行為や救急隊員が行う身体観察や応急処置を実施できる訓練人形等のこと。

急傾斜地 (32、37、38 ページ)

傾斜度が 30 度以上である土地のこと。

救助実施市 (45 ページ)

一定規模以上の災害において、救助の実施主体として自らの事務として被災者の救助を行うことが可能である市のこと。災害救助法が適用された場合、一般的に、法による救助は都道府県が実施し、市町村はこれを補助することとなるが、内閣府が救助実施市に指定することで、自らの事務として被災者の救助を行うことができる。

居住促進区域 (125、153、156 ページ)

生活サービス機能の状況等を踏まえて、日常生活や公共交通の利便性を将来にわたって維持するために居住を促進するエリアのこと。

居住地校交流 (90 ページ)

特別支援学校小・中学部の希望する児童生徒が、居住する地域の小・中学校に訪問して行う交流及び共同学習のこと。

近隣公園 (29 ページ)

主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園のこと。1 か所あたり、面積 2ha を標準として配置する。

屈折検査 (61、81、82 ページ)

目のピントが合うために必要な度数(屈折)を調べる検査のこと。

グランピング (27、33 ページ)

グラマラス (glamorous) とキャンピング (camping) を掛け合わせた造語。キャンプ場のサービスを高級ホテル並みにしたキャンピングのこと。

グリーンインフラ (19、139 ページ)

自然環境が有する多様な機能を、社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方及び、緑と水辺など自然環境そのもの。

グリーンスローモビリティ (138、139 ページ)

時速 20km 未満で公道を走ることができる 4 人乗り以上の電動車のこと。

グリーンツーリズム (168 ページ)

若葉区・緑区及びその周辺の自然豊かなグリーンエリア (チバノサト) に存在する自然的・歴史的・文化的観光資源を地域の魅力として活用する滞在型の余暇活動のこと。

ケアラー (9、72、79、85 ページ)

高齢、障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話や、その他の援助を行う人のこと。

ゲートキーパー (77 ページ)

身近な人の自殺のサインに気づき、その人の話を受け止め、必要に応じて専門機関へつなぐなどの役割が期待される人のこと。

下水汚泥固形燃料化施設 (17、159 ページ)

下水汚泥を蒸し焼きにし、下水汚泥に含まれる水分を蒸発させることにより、固形燃料を生成する施設のこと。

圏域 (6、66、69、137 ページ)

一般的には、単独の行政区画を越えた複数の基礎自治体を包括する地域を指す。本計画では、本市の以東、以南を中心とした本市と経済、雇用などの面で関連の深い周辺自治体を含むエリアの意で用いている。

健康寿命 (58、59、67 ページ)

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。本市では、日常生活に介護を要しない (介護保険の要介護 2~5 に該当しない) 期間の集団における各人の平均としている。

合計特殊出生率 (81 ページ)

出産可能年齢 (15~49 歳) の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したもの。

子育て支援コンシェルジュ（84 ページ）

保護者からの相談を受け、それぞれのニーズに合った子育て支援サービスについて情報を提供する専門の相談員のこと。

国家戦略特区（6、129、131、140、152 ページ）

産業の国際競争力の強化や国際的な経済活動の拠点の形成を促進する観点から、規制改革等の施策を総合的かつ集中的に推進するため国が指定する区域のこと。本市は、2016年1月に指定されている。

子ども家庭総合支援拠点（87 ページ）

子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情把握、調査、継続的支援等を行う拠点のこと。

子どもナビゲーター（85 ページ）

中学生以下を対象に、直接家庭に出向き、貧困などを理由に基本的な生活習慣が身につけていない子どもを支援するナビゲーターのこと。

子どもの居場所サポーター（99 ページ）

子どもに信頼される大人として、子どもの居場所や遊びの現場で活躍する人材のこと。

子どものSOS支援員（99 ページ）

子どもの居場所や遊び場で、子どもの小さなSOSに気づき、受け止め、適切に対応することができる支援者のこと。

こどものまちCBT（100 ページ）

子どもたちがお店や会社などを運営するといった疑似的な社会体験を通して、社会へ参加することを学ぶプログラムのこと。

コミュニティソーシャルワーカー（78 ページ）

生活上の課題を抱える個人や家族に対する「個別支援」と個別支援から明らかになった地域生活課題を地域住民等により解決するための仕組みづくりを支援する専門職のこと。

コワーキングスペース（153 ページ）

複数の企業や個人が同じ業務空間を共有する形式のシェアオフィスの中でも特に利用者間の連携・交流を促す特徴的な機能・空間等を有するオフィスあるいはスペースのこと。

さ行

再生可能エネルギー（6、9、15、17、19、159、172 ページ）

太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱、その他の自然界に存する熱、バイオマスなど、エネルギー源として持続的に利用することができるもの。

支え合い交通（138、139 ページ）

地域が主体となり、行政や交通事業者等とともに協力して支え合う生活交通で、地域の移動実態やニーズにあった既存公共交通と調和した持続可能な交通サービスのこと。

シームレス化（138 ページ）

「継ぎ目のない」という意味。公共交通分野においては、乗継ぎ等の交通機関間の「継ぎ目」や交通ターミナル内の歩行や乗降に際しての「継ぎ目」をハード・ソフト両面にわたって解消することにより、出発地から目的地までの移動を全体として円滑かつ利便性の高いものとするという意味で用いられている。

事業継続計画（164 ページ）

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合に、資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続または早期復旧を可能とするために、平常時に行っておくべき活動や緊急時に事業を継続するための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

次世代自動車（15、16、19 ページ）

燃料消費量や地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)排出量がすくない環境に優しい自動車のこと。2008年7月に閣議決定された「低炭素社会づくり行動計画」においては、ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車等と定義されている。

実質公債費比率（5 ページ）

地方公共団体が借金返済に充てている額が、標準的な収入に対してどの位の割合を占めているのかを示すもの。

自動運転モビリティ（129、152 ページ）

運転者が行っている、認知、判断、運転操作といった行為の一部又は全部を、運転者の代わりにシステムが行う乗り物のこと。

自動運転レベル（140、152 ページ）

米国自動車技術者協会（SAE）が定めた自動運転技術の区分で、運転の主体や自動運転の技術到達度、走行可能エリアなどによって、「レベル0」から「レベル5」の6段階に分類されている。レベル4では、特定の走行条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する。

ジブンゴト（106 ページ）

まちづくりに重要な要素である「地域に関心を持つこと」、「当事者意識を持つこと」、「課題の解決に主体的に取り組むこと」などを凝縮した言葉。市民の地域への関心や当事者意識を喚起する象徴的な言葉として、「千葉市市民自治によるまちづくり条例」において用いており、市民の目に付き、印象に残るようカタカナ表記としている。

社会教育主事（110 ページ）

都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれ、社会教育を行う者に対する専門的・技術的な助言・指導の役割を担う専門的職員のこと。

馴化（63 ページ）

異なる環境に移された生物が、次第になれて、その環境に適応した性質をもつようになること。本計画では主に人や新しい環境などに馴れることを言う。

小規模多機能型居宅介護サービス（70 ページ）

利用者（要介護（支援）者）の心身の状況や置かれている環境に応じて、利用者の選択に基づき、居宅を訪問し、または拠点に通わせ、もしくは拠点に短期間宿泊させ、入浴・排せつ・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事等や機能訓練を行うもの。

将来負担比率（5 ページ）

公社や第三セクターなども加えた連結ベースで、地方公共団体が将来的に負担する可能性のある借金が、1年間の標準的な収入に対してどの位の割合を占めているかを示すもの。

食育（58、60、89、90 ページ）

生きる上での基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるべきもの。様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること。

食品ロス（22 ページ）

本来食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品のこと。

人流データ（29 ページ）

人の集積・通過や移動の履歴を計測した値および計測した値をもとに推計・加工した人の動きに関するデータのこと。

スーパーサイエンスハイスクール（91 ページ）

将来有為な科学技術系人材の育成のために、文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高等学校を指定する制度のこと。

スクールカウンセラー（95、96、97 ページ）

学校における、児童生徒の悩みや不安を受け止める教育相談体制の充実を図ることを目的に配置された、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者のこと。

スクールソーシャルワーカー（96 ページ）

児童生徒の問題行動等へ対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、関係機関等とのネットワークを活用するなど、児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけて支援を行う専門家のこと。

スケアード・ストレイト教育技法（55 ページ）

スタントマンによる歩行者・自転車と自動車による事故を再現し、交通事故の恐怖を直視できるようにした体験型教育手法のこと。

スタートアップ（162 ページ）

新しいビジネスモデルを考えて、新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供したり、社会に貢献することによって事業の価値を短期間で飛躍的に高め、株式上場や事業売却を目指す企業や組織のこと。

スタートアップ・エコシステム（162 ページ）

大企業や大学の研究機関、公的機関などがネットワークを作り、スタートアップを生み出しながら発展していくシステムのこと。

ストリートカルチャー（119、120 ページ）

1970年代のアメリカ、ニューヨークやカリフォルニアで生まれたヒップホップやスケートボードを起源に持つファッションや音楽などの総称のこと。

スマートシティ（6、9、124、148、150 ページ）

都市の抱える諸課題に対して、デジタル技術等の新技術を活用して、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市又は地区のこと。

スマート農業（171 ページ）

ロボット技術やデジタル技術を活用し、農産物の栽培過程や収穫作業の省力化、品質管理を行う農業のこと。

生活支援コーディネーター（66 ページ）

生活支援サービスの充実及び高齢者の社会参加に向けて、ボランティアなどの生活支援・介護予防の担い手の養成や地域資源の把握、地域のニーズとのマッチングなどを行う人のこと。

生産緑地（30、31、32 ページ）

市街化区域において、生産緑地法に基づき、良好な生活環境の確保等に効果があると認められる農地等を計画的に保全する地区。

生物多様性（20 ページ）

生き物たちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生き物は40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生き物が生まれた。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きている。

た行

大規模公園（24、30 ページ）

身近な公園（住区基幹公園として街区、近隣、地区）以外の都市基幹公園（総合公園、運動公園）のこと。

ダイナミックプライシング（140 ページ）

商品やサービスの需要に応じて価格や運賃を変動させる仕組みのこと。

脱炭素化（15、16、17、18、19、138、139、153、155、163 ページ）

地球温暖化の原因となる代表的な温室効果ガスである二酸化炭素の排出量をゼロにしようという取り組みのこと。

ダブルケア（79 ページ）

子育てと介護を同時期に行わなければならないこと。

地域運営委員会（106、107、109 ページ）

小学校区や中学校区などの地域で活動する町内自治会等の様々な団体で構成され、住民同士の助け合いと支え合いによる地域運営を持続可能なものとする体制づくりを進めるための組織のこと。

地域包括ケアシステム（66 ページ）

高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、「介護予防サービス」を適切に確保し、できる限り要介護状態にならないようにするとともに、要介護状態になっても高齢者のニーズや状態に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される体制づくりのこと。

チーム千葉ボランティアネットワーク（106 ページ）

ボランティアに参加したい人と、ボランティアを必要とする団体をつなぎ、市民がボランティアに参加しやすい環境づくりを図ることを目的として千葉市が実施しているボランティア支援の取り組みの総称のこと。

地球局設備（48 ページ）

衛星通信ネットワークにおいて通信衛星と連絡している、地上に設置された無線基地局のこと。

地区計画（127、128 ページ）

地区の課題や特徴を踏まえ、住民と市町村が連携しながら、地区の目指すべき将来像を設定し、その実現に向けて都市計画に位置づけて「まちづくり」を進めていく手法のこと。

地産地消（171、173 ページ）

地元で生産されたものを地元で消費すること。

地籍調査（43、45 ページ）

主に市町村が主体となって、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のこと。

千葉氏（116、117、134、135、136 ページ）

平安時代の末に千葉のまちの礎を築き、戦国時代まで下総国（現在の千葉県北部一帯）を支配した桓武天皇の血を引く名門武士団。平安時代後期の大治元年(1126年)に、千葉常重が大椎（現在の千葉市緑区大椎町）から現在の千葉市中央区亥鼻付近に本拠を移したことにより、本市の都市としての歴史が始まったといわれている。

千葉開府900年（90、116、117、134、135、136 ページ）

千葉常重が現在の千葉市中央区亥鼻付近に本拠を移し、本市の都市としての歴史が始まった大治元年(1126年)から900年の節目にあたる2026年のこと。

ちば共創都市圏（9、137 ページ）

本市の以東、以南を中心とした本市と経済・雇用などの面で関連の深い周辺自治体を含むエリアのこと。

ちばレポ（My City Report）（108、109、151 ページ）

千葉市内で起きている様々な課題をスマートフォンなどを使って市民がレポートし、市民と市役所又は市民間で共有し、合理的、効率的に解決することを目指す仕組みのこと。

中間支援組織（29 ページ）

行政と地域の間にとって、社会の変化やニーズを把握し、地域における様々な団体の活動や団体間の連携を支援する組織のこと。

テーマレポート（108、151 ページ）

ちばレポ（My City Report）において、市が設定したテーマに沿ったレポートを、期間を定めて募集するもの。

デジタル化（6、10、106、107、113、114、148、149、150、151、163 ページ）

デジタル技術の進化により様々なヒト・モノ・コトの情報がつながることで、利便性の高い新たなサービスやビジネスモデル、プロセスの高度化を実現すること。

デジタル教科書（89、90 ページ）

紙の教科書の内容の全部（電磁的記録に記録することに伴って変更が必要となる内容を除く。）をそのまま記録した電磁的記録である教材のこと。

デジタルデバイド（9、150 ページ）

インターネットやパソコン等のデジタル技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

電動車（15 ページ）

動力源に電気を使う自動車の総称のこと。電気自動車（EV）のほかにハイブリッド車（HV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）の計4種類がある。

特定空家等（128 ページ）

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態、その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等のこと。

特定健康診査（58、59、61 ページ）

40 歳から 74 歳までの方を対象としたメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診のこと。

特別史跡（116、117、135、136 ページ）

国が文化財保護法で指定した史跡のうち、学術上の価値が特に高く、わが国の文化の象徴たるもので、国宝（建造物、美術工芸品、文書などで使われる概念）と同格のもの。

特別緑地保全地区（32 ページ）

都市緑地法に規定された制度で、都市計画区域内で良好な自然環境を形成している緑地のうち、市町村が都市計画に「地域地区」の一つとしてその区域を定めた緑地のこと。

都市アイデンティティ（125、134 ページ）

千葉市固有の「千葉市らしさ」を意味し、本市ならではの魅力や独自性を活かして都市戦略として中長期的に一貫性や統一感をもって市内外にアピールすることで、市民の愛着や誇りの醸成のもとに本市の都市イメージとして定着させていくこと。

都市施設（142 ページ）

都市での諸活動を支え、生活に必要な都市の骨組みを形作る施設で都市計画に定めることができるもの。

都市デザイン（125、126 ページ）

都市の生い立ちや地域資源などを踏まえ、市民のライフスタイルなどから見た「目指すべき都市の姿」を企画立案し、その実現に資する公共及び民間事業を総合的かつ戦略的にプロデュースする一連の取組みのこと。

土砂災害（特別）警戒区域（37 ページ）

「土砂災害警戒区域」とは、土砂災害により住民の生命又は身体に危険が生じる恐れがある区域。このうち、建物が破壊され、住民の生命又は身体に著しい危険が生じる恐れがある区域が「土砂災害特別警戒区域」に指定されている。

トライアル発注（162、163 ページ）

市内中小企業の新規性や独自性の高い優れた新商品等を、市が認定してPRを行うとともに、その一部を自ら試験的に購入することで、企業及び新商品等の信頼性の向上による販路拡大を後押しする取組みのこと。

ドローン（129、131、152 ページ）

無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機のこと。本市では、ドローン宅配の実用化や多分野でのビジネスモデルの創出を進めている。

な行

認知症サポーター（68 ページ）

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で見守りや手助けをする人材のこと。

認定農業者（173 ページ）

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想に示された農業経営の目標に向けて、農業者自ら作成した「農業経営改善計画（5年後の経営目標）」を市町村が認定した農業者のこと。

妊孕性（82 ページ）

「妊娠するための力」のこと。具体的には生殖機能とほぼ同義とされ、男女における妊娠に必要な臓器、配偶子、機能のことをいう。

ネクストコア千葉誉田（161、162 ページ）

緑区にある明治大学誉田農場跡地を、民間活力を導入して整備した産業用地のこと。

ネット・ゼロ・エネルギー化（15、16、19 ページ）

省エネによって使うエネルギーをへらし、再生可能エネルギー等の導入による創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすること。

燃油削減技術（171、172 ページ）

「生産力向上と持続性の両立」に向けた施設園芸を推進するため、重油等の燃料の使用を抑え、電力を主体（オール電化及びハイブリッド加温）として加温する技術のこと。

農福連携（71、72、73、177 ページ）

障害者や高齢者などが農業分野で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組みのこと。近年では、農業分野に限らず、伝統産業分野など他の分野においても広がりを見せている。

ノーマライゼーション（143 ページ）

高齢者、障害者等、社会的に不利を受けやすい人々も社会の一員として、お互いに尊重し、支え合いながら、地域の中で共に生活する社会こそが当たり前の社会である、という考え方のこと。

は行

パートナーシップ宣誓制度（103 ページ）

同性・異性を問わず、互いを人生のパートナーとする二者のパートナーシップの宣誓を証明する制度のこと。

バイオマス（17、30、159 ページ）

生物資源の量を表す概念で、エネルギーや物質に再生が可能な、動植物から生まれた有機性の資源（化石燃料は除く）のこと。具体的には、農林水産物、稲わら、もみがら、食品廃棄物、家畜排せつ物、木くずなどを指す。

バイスタンダー（50 ページ）

けが人や急病人が発生した際、その付近に居合わせた人のこと。バイスタンダーによる心肺蘇生法等の応急手当の有無が救命率を大きく左右する

ハス守りさん（25、132 ページ）

千葉市の都市アイデンティティであるオオガハスに関する知識や栽培方法を習得し、オオガハスの名所や栽培地における学習・栽培・ガイド・イベント等のボランティアとして活躍する人材のこと。

パラスポーツ（6、73、119、121 ページ）

一般のスポーツをベースに障害の種類や程度に応じてルール等を工夫しているスポーツ、障害のある人のために考案されたスポーツ、障害の有無に関係なく、ともに楽しめるスポーツなど、広く障害者スポーツを表す言葉のこと。

避難行動要支援者（9、46 ページ）

災害対策基本法において定義づけられた、高齢者、要介護認定者、重度の障害者、難病患者などのうち、災害が発生し、または災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者のこと。

避難所運営委員会（46 ページ）

大規模な災害が発生した場合に備え、事前に避難所における役割分担や施設の利用方法を定めるとともに、災害時において避難所運営を円滑に行うため、避難所ごとに地域住民と施設管理者及び避難所担当職員等により設立された団体のこと。

ファミリー・サポート・センター（83、84 ページ）

子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）と子育ての手助けをして欲しい人（依頼会員）で組織し、地域において会員同士で子育てを支援する相互援助活動のこと。

ファミリーシップ制度（103 ページ）

同性・異性を問わず、互いを人生のパートナーとする二者の一方又は双方に子ども等がいる場合に、その関係性を「家族」として証明する制度のこと。

プラットフォーム（7、9、106、150 ページ）

「舞台・壇上」等を意味する英語（platform）から転じて、様々な施策やサービスの「基礎」や「基盤」の意味で用いられる。

フリースクール（95、96 ページ）

不登校の子供に対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設のこと。

フレイル（58、59、67、91、114 ページ）

加齢により心と身体の活力が弱まった状態。健康な状態と日常生活でサポートが必要な状態の間を意味し、加齢により生じやすい衰え全般のこと。

プレーパーク（98 ページ）

子どもたちの健全な育成を目的として、「子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ」という理念を前提に、地域住民等が主体となって開催する活動であり、かつ、個人・団体等が広く公平に参加できるもの。

ホイールローダー（28 ページ）

車輪で自走する事ができ、建設現場等で土砂等をすくい上げ、ダンプ等の車両に積み込む事ができる建設機械のこと。

防災アセスメント（44 ページ）

災害誘因（地震、台風、豪雨など）、災害素因（急傾斜地、軟弱地盤など）、社会基盤の整備状況などを考慮して、総合的かつ科学的に地域の災害危険性を把握すること。

保存樹林（32 ページ）

地域で親しまれてきた老木や名木、あるいは良好な自然環境を残す樹林などを、区市町村の条例等により、指定し保存するもの。

ボックスカルバート（176 ページ）

主に地中に埋設され、水路や通信線などの収容に使われる箱型のコンクリート構造物のこと。

ボッチャ（73、121 ページ）

重度の脳性まひ者や同程度の重度障害が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツ。近年では障がいの有無に関らず、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツとして注目されている。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに赤・青それぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツのこと。

ボトルネック（138 ページ）

道路の幅が急に細くなったり、工事中などで車線が規制され車の流れが阻害される箇所のこと。

ま行

マイクロプラスチック（23 ページ）

微細なプラスチックごみ（5mm以下）のこと。含有／吸収する化学物資が食物連鎖に取り込まれ、生態系に及ぼす影響が懸念されている。

マイクロモビリティ（140、152 ページ）

超小型モビリティとも言われ、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の手段となる1人～2人乗り程度の車両のこと。

マンホールトイレ（44、45 ページ）

災害時に断水等で水洗トイレが使用できなくなった場合に、プール水等を活用して排泄物を下水道本管に直接流す仕組みの仮設トイレのこと。

モビリティ・マネジメント（138、139 ページ）

1人1人のモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のこと。

モビリティハブ（138 ページ）

様々な交通モードの接続・乗換拠点のこと。

や行

谷津田（15、17、20、21 ページ）

斜面林に囲まれた谷底部の田んぼのこと。

ヤングケアラー（9、79、85 ページ）

大人が担うような責任を引き受け、病気や障害などケアが必要な家族の世話や家事などをする18歳未満の子どものこと。

ゆるスポーツ（121 ページ）

老若男女、スポーツが得意な人・苦手な人、障害のある人もない人も楽しめる新しいスポーツのこと。

ら行

ライトポート（95、96 ページ）

不登校の子供に対して、小集団の活動や学習支援、個別のカウンセリング等を通して、社会性や協調性を育み、集団生活への適応や将来の社会的自立に資するための教室のこと。

リノベーションまちづくり（129、130 ページ）

民間主導で、今あるものを活かし、新しい使い方をしてまちを変革し、エリア価値の向上や地域雇用の創出を促進するなど都市・地域経営課題を解決しようとするもの。

流域治水（39 ページ）

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わる関係者が協働して水災害対策を行う考え方のこと。

流域貯留施設（39 ページ）

学校・公園等の施設に、敷地内の降雨を一時的に貯留させることにより、流出を抑制し、下流河川等に対する洪水負担の軽減を目的として設置する施設のこと。

リユース農業施設（174 ページ）

離農などの理由により使用されなくなった温室や農業機械等のことで、新規就農者が借り受け等により再使用できるもの。

レガシー（6、73、106、119、121 ページ）

「遺産」と訳されるが、派生して「世代から次世代へ受け継ぐもの」という意味で用いられる。本計画では東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を通じた取組みの成果による千葉市の財産の意味で用いている。

ローカルベンチマーク（164 ページ）

企業の経営状態の把握、いわゆる「企業の健康診断」を行うツールのこと。

他

スリーアール 3R（22 ページ）

リデュース (Reduce) = ごみの量を減らす、リユース (Reuse) = ものを繰り返し使う、リサイクル (Recycle) = 資源として再び使う、の 3 つの行動の総称のこと。

6次産業化（171、173 ページ）

農林漁業者等が必要に応じて農林漁業者等以外の者の協力を得て主体的に行う、1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組のこと。

はちまるごまる 8050問題（79 ページ）

ひきこもりの長期化により、80代の親が、ひきこもる50代の子どもの生活を支え、経済的にも精神的にも行き詰ってしまう社会問題のこと。

ACP（意思決定支援）（66 ページ）

将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、患者を主体に、家族や近親者、医療・ケアチームが繰り返し話し合い、患者の意思決定を支援するプロセスのこと。

AR (110 ページ)

Augmented Reality の略。現実の環境にコンピューターを用いて情報を付加することにより人工的な現実感を作り出す技術の総称のこと。

C A B I N E T (90 ページ)

千葉市立小・中・特別支援学校と教育委員会を結ぶ学習システムと教職員向けの校務システムのネットワークの総称のこと。

C H A I N S (150 ページ)

Chiba Administrative Information Network System の略。本市職員が行政事務の処理に利用するための情報通信基盤のこと。

CO₂フリー電力 (17 ページ)

CO₂を排出しない再生可能エネルギーによって発電された電力のこと。

DX (デジタルトランスフォーメーション) (163、175 ページ)

AIやIoTなどの先端的なデジタル技術の活用を通じて、デジタル化が進む高度な将来市場においても新たな付加価値を生み出せるよう従来のビジネスや組織を変革すること。

EV (15、16 ページ)

Electric Vehicle の略。電気自動車のこと。電池によって駆動する電動機のみを動力とし、内熱機関を併用しない自動車のこと。

EPDS (15、16 ページ)

エジンバラ産後うつ病質問票 (Edinburgh Postnatal Depression Scale の略)。母親の抑うつ感や不安の評価を目的として作られた 10 項目の質問票のこと。

FCV (15 ページ)

Fuel Cell Vehicle の略。燃料電池自動車。水素、メタノール、エタノールなどの化学反応によって発電した電気エネルギーでモーターを回して走る仕組みのこと。

G I G A スクール構想 (89、90 ページ)

1人1台のICT端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する構想のこと。

ICT (9、50、89、90、91、148、149、150、168 ページ)

Information and Communication Technology(情報通信技術) の略。

LGBT (102、103、104 ページ)

女性の同性愛者 (Lesbian)、男性の同性愛者 (Gay)、両性愛者 (Bisexual)、「身体の性」と「心の性」が一致せず、「身体の性に違和感がある人」(Transgender)の頭文字をとった言葉で、性的少数者を表す言葉の一つ。性的指向や性自認が未定であることを意味する Questioning (クエスチョニング)、あるいは性的少数者の総称 Queer (クィアー)の頭文字を加えて「LGBTQ」と表現することもある。

MaaS (138、139、140、151、152 ページ)

Mobility as a Service の略。地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

MICE (170 ページ)

企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event)の頭文字をとった言葉で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称のこと。

PHV (15 ページ)

Plug-in Hybrid Vehicle の略。外部から電源をつないで充電できるハイブリッド車で、電気自動車と異なり内燃機関も搭載しているため、ガソリンエンジンで自走することもできる。

SDGs (6、12、163、168 ページ)

Sustainable Development Goals の略。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す持続可能な開発目標のこと。貧困の根絶、ジェンダー平等、気候変動対策などの17のゴールと169のターゲットを定めている。

SNS (56、77、79、173 ページ)

Social Networking Service の略。登録された利用者同士が交流できるWEBサイトの会員制サービスのこと。

VR (55 ページ)

Virtual Reality (仮想現実) の略。コンピューターによって創り出された仮想的な空間などを現実であるかのように疑似体験できる仕組みのこと。

ZEB (16、18 ページ)

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

ZEH (16、19 ページ)

Net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) の略。住まいの断熱性能や省エネ性能を向上し、さらに太陽光発電などで生活に必要なエネルギーをつくり出すことにより、年間の一次消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)をおおむねゼロ以下にする住宅のこと。

2. 索引

あ

ICT教育の推進	90
ICTを活用した救急業務の推進	50,150
アーバンスポーツやストリートカルチャー等の推進	120
空き家・空き地対策の推進	126
アスリートの育成支援	120
アフタースクールの充実	98
泡消火薬剤の整備	49
あんしんケアセンターの機能強化	66
安定的な経営維持の支援	164

い

いじめ防止対策の推進	96
いずみグリーンビレッジ3拠点の充実	176
泉自然公園の魅力向上	26
市立高等学校教育の充実	91
稲毛海浜公園のリニューアル	27,33
稲毛区健康づくりウォーキング(稲毛けんこうウォーキング等の開催)	60,120
稲毛区地域防災力の推進	46
稲毛国際中等教育学校の改修	93
イベントを活用した域内エネルギー循環の創出	19
意欲ある農業の担い手の確保・育成	174
医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備	75,84
インクルーシブ教育システムの推進	90
インバウンドの推進	169

う

雨水貯留浸透施設等の設置促進	39
海辺の活性化	33

え

営農型太陽光発電における農業生産技術の研究	172
エコ・モビリティの推進	15
LGBTへの理解促進	103

お

応急手当の普及啓発	50
オオガハスの魅力発信	25,132
オオガハスを身近に感じるまちづくり	135
オープンデータ活用の推進	149

か

外国人児童生徒等への支援体制の充実	96
外国人市民への生活支援	105
介護者支援の強化	67
介護人材の確保・定着の支援	69
介護ロボットの普及促進	70
開発許可等情報のデジタル化	149
街路樹植栽環境の適正化	31,127
科学館の充実	110
学習習慣の確立に向けた支援の充実	96
(仮称)幕張西スポーツ広場の整備	119
河川を活用したまちづくり	34
学校教育における文化芸術にふれる機会の充実	91,114
学校施設の環境整備	94
学校適正規模・適正配置の推進	93
学校と地域の連携・協働体制の充実	93
学校における食育の推進	60,90
がん患者支援の充実	59
環境教育の推進	18
カーボンニュートラルちば理解促進	18
環境と調和した農業の推進	172
がん検診・特定健康診査の受診率向上につながる環境づくり	59
(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の整備	69
監視カメラによる不法投棄対策	23
感震ブレーカーの設置推進	51

き

企業の人材採用力の向上支援	165
企業の変革支援	163
企業立地の促進	161
危険ながけ地付近からの移転助成	38
危険盛土による災害防止	38
機能別消防団員制度の導入	48
キャッシュレス化の推進	149
キャリア教育の推進	89,166
救急医療体制の見直し	62
救急救命士の養成	50
急傾斜地崩壊対策の推進	38
救助実施市の指定	45
狭あい道路の拡幅	155

教育・保育人材の確保及び質の向上	84
業種・業態転換や事業創出への支援	163
教職員の資質・指導力の向上	93
教職員の働き方改革	92
郷土博物館の展示の充実	117,136
橋梁の耐震化・架替	41,146
緊急輸送道路沿道建築物の耐震助成	42

く

区役所を中心とした地域支援プラットフォームの構築...	106
-----------------------------	-----

け

下水道施設の再構築	157
下水道施設の耐震化	41,159
下水道ストックマネジメントの推進	158
下水道の資源・エネルギー利用の推進	17,159
下水道未普及地域の解消（汚水管渠の整備）	158
検見川・稲毛土地区画整理	127
健康危機管理体制の強化	63
健康づくりの取組み支援	59
建設工事等におけるデジタル活用の推進	149

こ

広域間輸送ネットワークの形成	140
広域ネットワークを構築する道路整備	141
公園トイレの快適化	30
公共交通のシームレス化の推進	138
公共施設の計画的保全	156
航空機騒音問題への対応	21
航空消防防災体制の充実	48
耕作放棄地の発生防止と利用促進	175
交差点の改良	141
交通安全施設の充実	54,146
交通安全に関する普及啓発	55
公民館の機能拡充	110
公民共創の推進	108,167
公用車への電動車導入の推進	16
公立夜間中学の運営	93
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	59,67
高齢者の身近な移動手段の確保	67
港湾・物流機能の強化の促進	140
国際的・全国的な競技大会の開催・誘致	122

国際的・全国的な自転車競技大会の開催支援	122
国内向け観光プロモーションの推進	168
国家戦略特区制度の活用推進	131,152
固定的な性別役割分担意識の解消及び女性活躍の推進	103
子ども医療費助成の拡充	82
子ども家庭総合支援拠点の整備	87
こども基本条例の制定	85
子どもの居場所づくり	99
こどもの参画の推進	100
子どもの貧困対策の総合コーディネート	85
子どもルームの充実	98
ごみの発生抑制・再資源化の推進	22
コミュニティソーシャルワーク機能の強化	78

さ

斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備	63
災害画像伝送システムの更新	48
災害情報の発信強化	43
斎場のあり方	64
在宅医療・介護連携の推進	66
在宅子育て家庭への支援	84
桜木霊堂の更新	64
支え合い交通の実現	139
寒川第一土地区画整理	127
産業人材の育成	165
産業用地の整備	162
産婦健康診査費用の助成	61,81

し

CO2排出量可視化による脱炭素型ライフスタイルへの転換	18
市営住宅の改善	155
市営住宅の再整備	155
市営プールの更新	120
JR 稲毛駅東口駅前地区のまちづくり	131
JR 蘇我駅東口駅前地区のまちづくり	131
市街地復興の事前準備の推進	45
次期健康増進計画の策定	58
次期食育推進計画の策定	58
自殺対策の推進	77
地震被害想定調査の見直し（防災アセスメント調査）	44
次世代向け農育事業の推進	174
次世代を担うアーティストの育成支援	114

施設園芸における燃油使用量削減の実証実験の実施	172
時代の要請に応じた公共交通の展開	140
自転車を活用したまちづくりの推進	145
私道の整備助成	156
市内事業者の脱炭素化支援・エコパートナーの推進	16
市内ネットワークを構築する道路整備	141
市民参加による政策形成	107
市民主体の防犯活動促進	52
市民との対話の充実	108
市民の国際感覚醸成と国際理解促進	105
社会教育施設保全計画の策定	156
市役所への手続等のデジタル化の推進	148
若年世帯の流入による住宅団地の活性化	153
斜面緑地の保全	32
集会所建設等費用の助成	107
住居表示の整備	155
市有施設における電力のCO2フリー化	17
重層的・包括的支援体制の構築	79
住宅確保要配慮者への円滑な入居支援	154
住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化の推進	16
重度障害者グループホーム等の整備促進	74
就労・転職支援	165
受動喫煙対策の推進及び禁煙の支援	59
生涯現役応援センターの充実	65
障害者基幹相談支援センターの充実	74
障害者ケアラー等への支援	72
障害者雇用の促進	72
障害者への理解促進	71
小学校の新設（幕張新都心若葉住宅地区）	93
上水道配水管布設等の促進	20
少人数学級・少人数指導の推進	92
消費者教育の推進	56
消費生活相談の充実	56
消防救急デジタル無線機更新	48
消防教育訓練環境の整備	48
消防署・所の整備（花見川消防署畑出張所の建替え）	47
消防団活動体制の充実	49
縄文文化調査研究の推進	117
昭和の森の魅力向上	27
食のブランド「千」の推進	172
自立相談支援体制の強化	79
市立病院の医療機器の更新	62

人口減少抑制に向けた取組みの推進	125
新児童相談所の整備	87
新市民会館の整備	113,131
浸水対策の推進	38
新病院の整備	62

す

水質保全対策の推進	21
水道管路の整備	157
水道管路の耐震化	41,159
スクールソーシャルワーカーの拡充	96
スマートシティサービス実装促進	150
スマート農業の地域の農業者への展開	171
3R教育・学習の推進	22

せ

生活支援コーディネーターによる支援体制の強化	66
生活道路の整備	144
生活保護受給世帯等に対する学習・生活支援	79,86
精神障害者と住民がともに安心して暮らせる環境の整備	74
生物多様性の理解促進と普及啓発	20
先端技術を活用したモビリティサービスの実現	140,152
先端技術を用いた災害時の情報共有強化	45
千の葉の芸術祭の定期開催	113

そ

創業支援	162
ZOZO マリンスタジアムのあり方検討	122,133

た

大学との連携	167
大気保全対策の推進	21
大規模土砂風水害・震災を見据えた消防力の強化	39
体験学習等を通じた非認知能力の向上	90
耐震診断・耐震改修の促進	42
脱炭素化推進に向けた谷津田の森林整備の推進	17
多様性を活かしたまちづくりの推進	102
多様な主体の連携による市民主体のまちづくり推進	107
多様な需要に対応した保育の充実	83
だれもが遊べる広場づくり	30,103
男性の子育て支援	82,104
男性保育士の活躍推進	84,104

ち

地域安全に関する講座等の実施	53
地域運営委員会の設置促進及び活動支援	107
地域資源の活用などによる郷土教育の充実.....	90,135
地域森林の保全管理を行う組織への支援	176
地域ポイント制度の導入	108
CHAINS の整備	150
地産地消の推進	173
千城台南小跡施設の活用（千城台公民館・若葉図書館の再整備）	110
地籍調査の推進	45
千葉氏に関する企画展の実施及び調査研究の推進...	117,135
千葉駅周辺における官民連携まちづくり（ウォークアブル推進）	129
千葉駅周辺における官民連携まちづくり（リノベーションまちづくり）	130
千葉駅東エリア（西銀座周辺）の再開発	130
千葉駅東西西銀座 B 地区優良建築物等整備事業.....	130
千葉開府 900 年記念に向けた実施体制の構築	134
ちば共創都市圏における広域連携.....	137
千葉公園の再整備	24,130
「千葉市史史料編近現代」の刊行.....	117
千葉市蘇我スポーツ公園の充実	25,132
ちばし地域づくり大学校の運営	108
ちば消防共同指令センター指令システムの更新	48
千葉中央港地区まちづくりの推進.....	34
千葉中央コミュニティセンターの再整備	155
ちばレポ（My City Report）による市民協働の推進	108,151
地方卸売市場の再整備.....	164
地方公共団体情報システムの標準化	149
中央区若い世代からの生活習慣病予防.....	60
中央公園・通町公園の連結強化	129
町内自治会のデジタル化推進.....	107,151

て

適切な施設管理（水道施設の更新）	157
適切な土地利用を誘導するための基礎調査.....	127
デジタルデバイス対策.....	150
デジタルを活用した平和啓発の推進	103
電動ごみ収集車の導入.....	16

と

動物愛護の推進	63
動物公園の環境負荷低減の推進	17,30
動物公園の施設改修	28

動物公園リスタート構想の推進	28
道路管理システムの高度化	45
道路施設の長寿命化.....	40,144
道路防災力の充実強化	45
特殊車両通行許可の迅速化	149
特別支援教育の充実.....	75,95
特別史跡加曾利貝塚新博物館の整備.....	117,136
特別史跡加曾利貝塚の魅力向上（史跡の整備）	116,135
特別史跡加曾利貝塚の魅力向上（集客力の向上） ..	116,136
特別養護老人ホームの整備	69
都市アイデンティティの確立	134
都市型再生可能エネルギーの導入	17
都市計画マスタープラン等の見直し.....	126
都市施設の見直し	142
都市デザイン調整の推進.....	126
都市における樹林地の保全と活用	32
土砂災害の予防.....	37
土地区画整理事業未施行地区の見直し	127
トップスポーツチームとの連携によるスポーツに親しむ機会の充実..	122
ドローン宅配等の実用化の推進.....	131,152

な

内部事務（財務会計、庶務事務、人事給与等）のデジタル化の推進..	150
----------------------------------	-----

に

ニーズに応じた保育の受け皿の確保.....	83
乳幼児健康診査の拡充	61,82
認知症の人や家族への支援	68

の

農業技師による技術指導の強化.....	172
農業者や食品関連事業者の経営力向上支援	173
農業集落排水施設の再編整備	158
農業法人等の新たな誘致戦略	174
農業労働力確保支援.....	173
農政センターのリニューアル（コミュニケーションエリアの活用検討及び改修他）..	176
農と住の調和したまちづくりの推進.....	30
農福連携の推進.....	72,177

は

廃棄物処理施設の整備推進	23
排水施設の改築.....	158

排水設備工事等におけるデジタル活用の推進	150
バス停車帯の整備	55,145
発達障害への支援の推進	75,88
花島公園の魅力向上	26
花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進	154
花見川糖尿0プロジェクト（花見川けんこうウォーキング等の開催）	60,120
花見川の利活用	34
パラスポーツ交流を通じた地域活性化	73,121
パラスポーツの推進	73,121
バリアフリー化の推進及び促進	143
繁華街客引き対策	53
犯罪被害者等支援	53

ひ

東幕張土地区画整理	127
ひきこもり相談支援体制の拡充	77
美術作品のデジタル化推進	114,151
避難行動要支援者の支援体制強化	46
避難先の確保	44
避難所の環境整備	44

ふ

不登校対策の推進	96
不妊症に対する支援	82
踏切道の改良	54,146
フレイル改善	59,67
文化芸術交流による緑区の魅力発信	114
文化芸術と連携したまちづくりの推進	114
文化財の保存・活用の推進（文化財保存活用地域計画の策定）	117
分譲マンションの管理適正化等の支援	154

へ

平和公園の拡張・整備	64
------------	----

ほ

保育施設の建替え・改修	83
保育園等の園外活動時の安全対策	55
防災備蓄倉庫の整備及び更新	44
防災備蓄品の更新体制構築	44
防犯対策の強化	52
舗装・側溝の新設・改良	41,145
歩道の改良	143

歩道の整備	54,145
ボランティアに関する情報ネットワークの充実	107

ま

MaaS導入に向けた交通事業者への支援	139,151
マイクロプラスチック実態調査の実施	23
MICEの推進	170
幕張海浜公園の活性化	27,33,132
幕張新都心まちづくり連携促進	130

み

身近な公園における新たな滞在環境の創出	29
身近な公園のエリアリノバージョン	29
身近な公園の整備	29
身近な公園のリフレッシュ推進	29
水(水辺)の特性を活かした公園の魅力向上	30,34
緑区災害対応合同訓練	46
緑と花を楽しめるまちづくり	32
緑農住区開発土地基盤整備の推進	176
みなと公園の再整備	28
美浜区の魅力創出・発信（各種イベントの企画・実施）	109
美浜ベジ・アクティブ宣言（若い世代からの野菜摂取等の促進）	60
都川水の里公園の整備	26

む

無電柱化の推進	41,146
---------	--------

も

モノレール施設の設備更新	139
モノレール施設の脱炭素化及びグリーンインフラの推進	19,139
モビリティ・マネジメントの推進	139

や

谷津田の保全と活用の推進	20
屋根耐風診断・耐風改修助成事業	39
ヤングケアラー支援体制の強化	85

ゆ

有害鳥獣対策の推進	177
ユース脱炭素参画プロジェクトの実施	18
有料公園施設の改修	28
ゆるスポーツの推進	121

よ

養護・軽費老人ホーム大規模修繕への助成.....	69
養護教育センターの整備	95
幼児教育の推進	97

り

流域治水の推進	39
良好な都市景観の形成.....	126

わ

若葉区の魅力創出・発信（市民参加型体験イベント等の実施） ...	135
若葉住宅地区における住宅整備促進	131